

# SC-S70650 SC-S50650 SC-S30650

# ユーザーズガイド

本製品の基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などを説明しています。

#### 商標

[EPSON]、[EPSON EXCEED YOUR VISION]、

「EXCEED YOUR VISION」は、セイコーエプソン株式会社 の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS X、Bonjour および ColorSync は米国 およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。 Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft

Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated (アド ビシステムズ社)の登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、米国 YouTube 社 (YouTube,LLC)の商標または登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

#### ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負い かねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当 に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によっ て修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責 任は負いかねますのでご了承ください。

#### インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のイ ンクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外 のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪 影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合が あります。純正品以外の品質や信頼性について保証できませ ん。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障につい ては、保証期間内であっても有償修理となります。

# もくじ

ご使用の前に5
マニュアルの種類と使い方
各部の名称と働き
特長
使用・保管時のご注意22 設置スペース 22 使用時のご注意 22 使用しないときのご注意 22 インクカートリッジ取り扱い上のご注意 23 メディア取り扱い上のご注意 24
特色インク使用時のご注意(SC-S70650、SC- S50650)
基本の操作 29

メディアのセットと交換 ...... 29 メディアセット前のご注意 .... 29 加圧ローラーとメディアのセット位置(SC-S70650、 SC-S50650 の場合) .... 30

メディアのセット方法(SC-S70650、SC-S50650 の場 合) 32
メディアのセット方法(SC-S30650 の場合) 45 メディアの確認と設定変更 57 メディアの交換・取り外し 58
自動巻取りユニットの使い方
自動巻取りユニット使用時のご注意 61 紙管の取り付け方 61 外巻きでの巻き取り方 63 内巻きでの巻き取り方 69 巻き取ったメディアの取り外し 74
印刷前の確認
使用するメディアの設定を保存する
基本の設定フロー 77 設定を行うときのご注意 77 設定方法(通常時) 77 メディア調整 79 印刷途中に設定を変更する 82
印刷可能領域 84
SC-S70650、SC-S50650 の場合 84 SC-S30650 の場合 87
メンテナンス 89
<b>メンテナンス 89</b> メンテナンスの種類と実施時期 89
<b>メンテナンス</b>
<b>メンテナンス</b>
メンテナンス
メンテナンスの種類と実施時期       89         清掃       89         清掃       89         消耗品の交換       90         その他のメンテナンス       91         準備と留意点       92         準備するもの       92         準備するもの       92         プリントヘッドの移動       93         インククリーナーの使い方       93         清掃       94
メンテナンス
メンテナンス
メンテナンス

消耗品の交換 109
インクカートリッジのかくはんと交換 109 廃インク処理 110 ワイパークリーナーとワイパーの交換 111 フラッシング用吸収材の交換 113 メディア押さえ板の交換 115 使用済み消耗品の処分 117 消耗品交換チェックシート 118
その他のメンテナンス119
ノズルの目詰まりチェック 119 ヘッドクリーニング 120 ヘッド洗浄 121 インクリフレッシュ 122 長期間保管するとき(事前メンテナンス) 123
カラーモード切り替え(SC-S70650 のみ) 124 キャリッジ副軸用グリスの注油 125
製品寿命と定期交換部品 127

### 操作パネルのメニューの使い方 ...... 128

メニューの操作	128
設定メニュー一覧	129
設定メニューの説明	134
メディア管理メニュー 134 プリンター設定メニュー 138 メンテナンスメニュー 140 インク残量表示メニュー 142 印刷履歴メニュー 142 プリンターステータスメニュー 142 ネットワーク設定メニュー 143 環境設定メニュー 143 全設定の初期化メニュー 144	

### 困ったときは ...... 145

メッセージが表示されたとき145	5
メンテナンスコール/サービスコールが発生したとき	Ē
は	7
トラブルシューティング148	3
印刷できない(プリンターが動かない) 148 プリンターは動くが印刷されない 148 印刷品質/印刷結果のトラブル 149 メディアのトラブル 155 その他 157	
お問い合わせいただく前に152	7

エプソンのホームページの Q&A .... 157 ファームウェアのバージョンアップ .... 157 トラブルが解消されないときは .... 157

### 付録 ...... 158

消耗品とオプション 1	58
使用可能なメディア 1	60
移動と輸送 1	60
移動の方法 160 輸送の方法 161	
主なメディアの推奨設定1	62
マイクロウィーブ(M/W)設定値とバンディング 関連表1	<sup>ず</sup> の 163
システム条件 1	65
仕様一覧 1	65
サービス・サポートのご案内1	67
各種サービス・サポートについて 167 保守サービスのご案内 167	
お問い合わせ先 1	69
製品に関する諸注意と適合規格 1	170

# ご使用の前に

# マニュアルの種類と使い方

### マニュアルの構成

本製品には以下のマニュアルが付属しています。 PDF マニュアルは、本製品付属のソフトウェアディスク に収録されています。PDF マニュアルは、Adobe Reader やプレビュー(Mac OS X)などでご覧ください。 Epson Video Manuals(動画)は、YouTube のエプソン動 画マニュアル公式チャンネルにアップロードされていま す。Web ブラウザでご覧ください。

セットアップガイド (冊子)	本機を箱から取り出した以降から、本 機を使用可能にするまでの作業を説明 しています。作業を安全に行うため に、必ずご覧ください。
ユーザーズガイド (本書)	本機の基本的な操作方法や日常お使い いただく上で必要な事項、メンテナン ス作業、困ったときの対処方法などを 説明しています。
ネットワークガイド (PDF)	ネットワークプリンターとして使用す るための情報を記載しています。
Epson Video Manuals(動画)	メディアのセット方法や、基本的なメ ンテナンス作業などを動画でご覧いた だけます。
オレンジインクをお 使 い の 方 へ * (PDF)	SC-S70650 で使用可能な 2 種類のオ レンジインクについて説明していま す。オレンジインクの種類を変更する ときは、必ずご覧ください。

\* SC-S70650 のみ

製品マニュアルの最新版 PDF データをダウンロードでき るサービスを提供しています。 http://www.epson.jp/support/

### マークの意味

### 安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への 損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱 いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上 で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う可 能性が想定される内容を示していま す。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いを すると、人が傷害を負う可能性および 財産の損害の可能性が想定される内容 を示しています。

### 一般情報に関する表示

上重要	必ず守っていただきたい内容を記載し ています。この内容を無視して誤った 取り扱いをすると、製品の故障や、動 作不良の原因になる可能性がありま す。
参考	補足説明や参考情報を記載していま す。
Ē	関連する内容の参照先を示していま す。参照先が青字で記載されていると きは、青字の部分をクリックすると該 当の参照ページや YouTube の動画再 生リストが表示されます。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に 表示される文字列は[]で囲んで示し ます。
【ОК】ボタン	操作パネルのボタン名称を示していま す。

### 揭載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。
   また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限 り Windows 7 の画面を使用しています。

### 掲載イラスト

本書に掲載するイラストは、特に指定がない限り SC-S30650を使用しています。

### **OS** の表記

#### Windows の表記

Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP operating system 日本語版 Microsoft<sup>®</sup> Windows Vista<sup>®</sup> operating system 日本語版 Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 7 operating system 日本語版 本書では、上記の OS(オペレーティングシステム)をそ れぞれ「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」 と表記しています。またこれらの総称として「Windows」 を使用しています。

### PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作 を Adobe Reader9 で表示したときを例に説明します。



- PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- 2 クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分 をクリックすると該当のページが表示されます。 元のページに戻るときは、以下のように行います。 Windowsの場合

【Alt】キーを押したまま【←】キーを押します。 Mac OS X の場合

[表示] メニュー- [移動] - [前の画面] の順でク リックします。

6 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

⑤ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ● をクリックすると拡大します。 ● をクリックすると縮小します。 イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。 Windowsの場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示さ れたメニューで[マーキーズーム]を選択します。 ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇 所を範囲指定します。

#### Mac OS X の場合

【Command】キーを押したまま【スペース】キーを 押すとポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま 虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定し ます。

前ページ/次ページを表示します。

### 動画マニュアルについて

以下の青字の部分をクリックすると、YouTube に登録されたお使いのモデルの動画再生リストが表示されます。 リストから視聴する動画を選択して、ご覧ください。

SC-S70650 Phttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9M3XJ7ytYW5QkJDXITlbJOj SC-S50650 Phttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9OWBIEifb1tAruevhTX-\_f9 SC-S30650 Phttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9P6FW3ylGgUd98QUDyAFEGr

なお、動画を再生しても字幕が表示されないときは、字 幕アイコン(下図の囲み部)をクリックしてください。





### 各部の名称と働き

### 正面(SC-S70650、SC-S50650)

SC-S50650 のイラストで説明します。



#### ● メンテナンスカバー(左)

プリントヘッドを清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。 ∠ア「プリントヘッド周辺の清掃(毎日)」94ページ

#### ❷ 外付け乾燥ファンユニット

印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。SC-S70650 ではオプションです。 *C* 『外付け乾燥ファンユニットセットアップガイド』(冊子)

#### 8 アフターヒーター

印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。 △3 「ヒーター/乾燥設定」79ページ

#### ④ 紙管ホルダー

メディア巻き取り用の紙管を装着します。左右両側にあります。 *△*予「自動巻取りユニットの使い方」61 ページ

#### ⑤ テンショナーメディアガイド

自動巻取りユニット使用時に、巻き取ったメディアが斜行するのを防ぎます。自動巻取りユニットを使用しないときは、テンショナーの両端に寄せて退避させてください。 ∠3 「自動巻取りユニットの使い方」61 ページ

#### 6 テンショナー

メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

#### ● 紙管ホルダー固定ネジ

紙管を紙管ホルダーに装着後、このネジで紙管ホルダーを固定します。左右両側にあります。

🚯 ロールサポート

巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

🥑 Auto スイッチ

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Offにすると巻き取りません。

🛈 Manual スイッチ

手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

① キャスター

左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は前面のキャスターを常にロックした状態でお使いください。

12 通風口

内部に空気を取り込みます。通風口を塞がないでください。

#### 

廃インクボトルをここに設置します。

1 固定具

本機を固定するときに使います。本機を設置後は、確実に固定した状態でお使いください。

⑥ 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。

廃インクがボトルのラインの付近までたまったら、新しい廃インクボトルと交換してください。

⑥ 廃インクチューブ

このチューブから廃インクが排出されます。チューブの先を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

#### 🛈 インクカートリッジ

インクカートリッジは、全スロットに装着してください。選択したカラーモードによっては、代替カートリッジや クリーニングカートリッジを装着します。

#### 18 ロックレバー

インクカートリッジを取り外すときは、ロックレバーを上げてロックを解除します。インクカートリッジ装着後は、 ロックレバーを下げてロックします。

#### 📵 カートリッジチェックランプ

インクカートリッジにエラーが発生すると点灯します。

点灯 エラーが生じています。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

#### ② 電源コネクター#1/電源コネクター#2

電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

🗿 LAN ポート

∠∽ 「LAN ポート」 16 ページ

🙆 USB ポート

USB ケーブルを接続します。

#### 🐵 メンテナンスカバー(右)

定期メンテナンスをするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。 ∠⑦「清掃」94ページ

#### ② メディアセットレバー

メディアをセット後に、メディアセットレバーを下げてメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディ アセットレバーを上げてメディアを解放します。

#### ❷ 大型アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。点灯/点滅はエラーの内容によって異なります。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

#### 29 操作パネル

∠∽ 「操作パネル」 17 ページ

#### ② 前面カバー

メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。



#### ● メンテナンスカバー(左)

プリントヘッドを清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。 ∠示「プリントヘッド周辺の清掃(毎日)」94ページ

#### 2 アフターヒーター

印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。 *C* 「ヒーター/乾燥設定」79ページ

#### ❸ 紙管ホルダー

メディア巻き取り用の紙管を装着します。左右両側にあります。 *C* 「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

#### ① テンショナーメディアガイド

自動巻取りユニット使用時に、巻き取ったメディアが斜行するのを防ぎます。自動巻取りユニットを使用しないとき は、テンショナーの両端に寄せて退避させてください。 *C* 「自動巻取りユニットの使い方」61 ページ

#### 5 テンショナー

メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

#### ⑥ 紙管ホルダー固定ネジ

紙管を紙管ホルダーに装着後、このネジで紙管ホルダーを固定します。左右両側にあります。

#### 🖸 ロールサポート

巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

#### 8 Auto スイッチ

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Off にすると巻き取りません。

#### Manual スイッチ

手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

#### 🛈 キャスター

左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は前面のキャスターを常にロックした状態でお使いください。

#### ① 通風口

内部に空気を取り込みます。通風口を塞がないでください。

#### ⑫ 廃インクボトルホルダー

廃インクボトルをここに設置します。

13 固定具

本機を固定するときに使います。本機を設置後は、確実に固定した状態でお使いください。

#### 🕼 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。

廃インクがボトルのラインの付近までたまったら、新しい廃インクボトルと交換してください。

#### ⑥ 廃インクチューブ

このチューブから廃インクが排出されます。チューブの先を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

#### 16 インクカートリッジ

インクカートリッジは、全スロットに装着してください。

#### 1 ロックレバー

インクカートリッジを取り外すときは、ロックレバーを上げてロックを解除します。インクカートリッジ装着後は、 ロックレバーを下げてロックします。

#### 10 カートリッジチェックランプ

インクカートリッジにエラーが発生すると点灯します。

点灯 エラーが生じています。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

#### ① 電源コネクター#1/電源コネクター#2

電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

- ② LAN ポート
  ∠☞ [LAN ポート] 16 ページ
- ② USB ポート

USB ケーブルを接続します。

#### 22 メンテナンスカバー(右)

定期メンテナンスをするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。 *△*ア「清掃」94ページ

#### ③ メディアセットレバー

メディアをセット後に、メディアセットレバーを下げてメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディ アセットレバーを上げてメディアを解放します。

#### ② 大型アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。点灯/点滅はエラーの内容によって異なります。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

#### 29 操作パネル

\_중 「操作パネル」 17 ページ

#### 29 前面カバー

メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

### 内部(SC-S70650、SC-S50650)

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧になり、定期的に清掃や交換をしてください。SC-S70650のイラストで説明します。



#### 0 プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。左側が Head1、右側が Head2 になります。毎日の業務終了時に 清掃することをお勧めします。

∠ ア「プリントヘッド周辺の清掃(毎日)」94ページ

#### ❷ メディア押さえ板

メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。メディアの左右端に取り 付けて印刷します。スライド式のものとはめ込み式のものがあります。 *C* 「メディアのセット方法(SC-S70650、SC-S50650 の場合)」32 ページ

#### ❸ カッター溝

メディアをカットするとき、この溝に沿って市販のカッターの刃を移動してカットします。

#### ❹ 加圧ローラー(強)

10 個あるローラーの内、両端の2つになります。透明または乳白色のフィルムセット時、レイヤー印刷時にメディアの両端を上から押さえます。

△ ア「加圧ローラーとメディアのセット位置(SC-S70650、SC-S50650の場合)] 30ページ

△ 「内部の清掃(1週間から1ヵ月に1度)」103ページ

#### ⑤ 加圧ローラー(弱)

10 個あるローラーの内、両端の2つを除いたローラーになります。通常の印刷時(透明または乳白色のフィルム以 外のメディアをセットするとき、レイヤー印刷時以外)にメディアを上から押さえます。メディアの幅により使用 する個数が異なります。

△ ⑦ 「加圧ローラーとメディアのセット位置(SC-S70650、SC-S50650の場合)」 30 ページ

△ 「内部の清掃(1週間から1ヵ月に1度)」103ページ

#### 6 プラテンヒーター

- インクの定着を安定させます。
- \_중 「ヒーター/乾燥設定」 79 ページ
- △ ⑦ 「内部の清掃(1週間から1ヵ月に1度)」103ページ

#### 0 ワイパークリーナー

ワイパーに付いたインクを拭き取ります。ワイパークリーナーは消耗品です。3ヵ月に1度を目安に交換してください。

\_☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111ページ

#### 8 キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。毎日の業務終了時に清掃することをお勧めします。

\_중「キャップ周辺の清掃(毎日)」97ページ

#### **9** ワイパー

プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。毎日の業務終了時に清掃することをお勧めします。ワイ パーは消耗品です。3ヵ月に1度を目安に交換してください。

- \_중「キャップ周辺の清掃(毎日)」97ページ
- ∠☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111ページ

#### ● フラッシング用吸収材

フラッシング時にインクがここに排出されます。フラッシング用吸収材は消耗品です。3ヵ月に1度を目安に交換してください。

∠중「フラッシング用吸収材の交換」113ページ

### 内部 (SC-S30650)

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧になり、定期的に清掃や交換をしてください。



#### 0 プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。毎日の業務終了時に清掃することをお勧めします。 ∠☞「プリントヘッド周辺の清掃(毎日)」94ページ

#### ❷ メディア押さえ板

メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。メディアの左右端に取り 付けて印刷します。スライド式のものとはめ込み式のものがあります。 *C* 「メディアのセット方法(SC-S30650 の場合)」45 ページ

#### ❸ カッター溝

メディアをカットするとき、この溝に沿って市販のカッターの刃を移動してカットします。

#### ❹ 加圧ローラー

印刷時にメディアを上から押さえます。 ∠⑦「内部の清掃(1週間から1ヵ月に1度)」103ページ

#### ⑤ プラテンヒーター

インクの定着を安定させます。 ♪ 「ヒーター/乾燥設定」79ページ ♪ 「内部の清掃(1週間から1ヵ月に1度)」103ページ

#### G ワイパークリーナー

ワイパーに付いたインクを拭き取ります。ワイパークリーナーは消耗品です。3ヵ月に1度を目安に交換してください。

∠중「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111 ページ

#### 🖸 キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。毎日の業務終了時に清掃することをお勧めします。

∠⑦「キャップ周辺の清掃(毎日)」97ページ

#### ⑧ ワイパー

プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。毎日の業務終了時に清掃することをお勧めします。ワイ パーは消耗品です。3ヵ月に1度を目安に交換してください。 ∠☞「キャップ周辺の清掃(毎日)」97ページ ∠☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111ページ

#### ● フラッシング用吸収材

フラッシング時にインクがここに排出されます。フラッシング用吸収材は消耗品です。3ヵ月に1度を目安に交換してください。

∠중「フラッシング用吸収材の交換」113ページ



#### ● 駆動スイッチ

メディアセット時にメディアを送ったり、メディア交換時に巻き戻したりできます。

2 ロールホルダー

メディアを装着します。左右両側にあります。

❸ ロールホルダー固定ネジ

メディアをロールホルダーに装着後、このネジでロールホルダーを固定します。左右両側にあります。

**0** リフトレバー

メディアをロールホルダーに装着する際に重いと感じるときは、このレバーを使うと負担なくメディアをロールホ ルダーの位置まで持ち上げられます。左右両側にあります。

6 プリヒーター

印刷前にメディアを予熱して、印刷部が急激に温度変化しないようにします。

⑥ ロールサポート

メディアをロールホルダーに装着するとき、一旦ここに置いてから装着作業をします。左右両側にあります。

🖸 ハンドル

メディアを右側のロールホルダーに装着後、ハンドルを回すとロールホルダーが押し込まれメディアの紙管に加圧します。

### LAN ポート



#### ● RJ-45 コネクター

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル(カテゴリー 5 以上)を使用してください。

#### 2 データランプ

接続状態またはデータの受信状態を示します。

#### ❸ ステータスランプ (緑/赤)

ネットワークの速度を示します。

データランプ	ステータスランプ(緑/赤)	状態
点灯	緑点灯	1000Base-T で接続されている状態
点滅		1000Base-T でデータ受信中
点灯	赤点灯	100Base-TX で接続されている状態
点滅		100Base-TX でデータ受信



- 【
  じ
  】 ボタン(電源ボタン)
   本機の電源を入れたり、切ったりします。
- ❷ ○ランプ(電源ランプ)

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

- 点灯 : 電源が入っています。
- 点滅 : データ受信中または本機の電源を切る、ヘッ ドクリーニングなどの処理中です。
- 消灯 : 電源が入っていません。

#### 

画面にメディア管理メニューが表示され、[メディア 残量管理]や[メディア選択]、[メディア設定変 更]、[設定内容の印刷]が行えます。印刷中に押し たときは、動作しません。 ∠☞「メディア管理メニュー」134ページ

#### 4 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。∠☞「画面の見方」18ページ

- ⑤ 【Menu】ボタン 画面に設定メニューが表示されます。∠3 「操作パネ ルのメニューの使い方」128 ページ
- ③ 【3】ボタン(戻るボタン)

設定メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに 押します。 </>
。 </>
プ
「メニューの操作」 128 ページ

- ②【▲】/【▶】ボタン(左右ボタン) 設定メニューで[設定名の登録]や[IP アドレス] などを任意に設定する際、入力する文字の位置を指 定するときに押します。
- ⑧ 【▲】/【▼】ボタン(上下ボタン)

押すと巻き戻しが再開します。

・メディアセットレバーを下げた状態では、セットしているメディアの巻き仕様に関係なく【▼】ボタンを押すとメディアが送られ、【▲】ボタンを押すと巻き戻ります。印刷可能状態、各種調整・チェックパターン印刷後の画面、メディア送り画面で【▼】ボタンを押し続けるとメディアを最大103cmまで送れます。【▲】ボタンを押し続けるとメディアを最大25cmまで戻せます。なお、【▲】ボタンでメディアを巻き戻したとき、メディアの先端が印刷開始位置に達すると巻き戻しが停止します。一旦ボタンから指を離して再度

・メディアセットレバーを上げた状態では、セットしているメディアの巻き仕様に応じてメディアを巻き戻すボタンが異なります。
 印刷面外巻き:【▲】ボタンを押します。
 印刷面内巻き:【▼】ボタンを押します。
 ボタンを押し続けるとメディアを最大 25cm まで巻き戻せます。

#### ③ 【OK】ボタン

- 設定メニューでメニュー項目を選択した状態で押すと、そのメニューのひとつ下の階層に進みます。
- 設定メニューで設定値を選択した状態で押すと、
   その設定値が有効に設定されるか、あるいは実行 されます。
- ・
   警告ブザーが鳴っているときに押すと、
   さが止ま
   ります。

- ① 【□1】ボタン(メンテナンスボタン) 画面にメンテナンスメニューが表示され、「ノズル チェック]や[クリーニング]、[インク循環]、[イ ンクリフレッシュ]、[ヘッドメンテナンス]、[廃イ ンクカウンタークリア]、[ヘッド洗浄]、[長期保管 前メンテナンス] が行えます。印刷中に押したとき は、動作しません。 △ ア「メンテナンスメニュー」140ページ
- **12** 【II·fin】ボタン(ポーズ/キャンセルボタン) •印刷中に押すと、一時停止(ポーズ)状態になり ます。ポーズ状態を解除するには、再度【**I**.····】ボ タンを押すか、画面の [ポーズ解除] を選択して 【OK】ボタンを押します。画面で「ジョブキャン セル]を選択して【OK】ボタンを押すと処理中の 印刷をキャンセルできます。
  - 設定メニューを表示中に押すと、メニューを終了 し印刷可能状態に戻ります。

#### 🚯 【 🖵 】 ボタン(メディア送りボタン)

- •印刷可能状態でこのボタンを押し、次に【OK】ボ タンを押すと、印刷後のメディアがカット位置ま で送られます。 △ ア「メディアのカット」 58 ページ
- •印刷中に押すと、印刷中のメディアのメディア送 り調整ができます。 △ ア「メディア送り調整」83ページ

### 画面の見方

SC-S50650の画面で説明します。



0 メッセージ

本機の状態や操作、エラーメッセージが表示されま す。

△ ア「メッセージが表示されたとき」145ページ

#### 2 ヒーター温度

左からプリヒーター、プラテンヒーター、アフター ヒーターの設定している温度の値が表示されます。 温度計アイコンは、現在のヒーター温度の目安を以 下のように表しています。

とーターの温度が設定温度に達しています。 : ヒーターの温度が設定温度に達していませ  $h_{\circ}$ 

#### 日本のメディア送り調整情報

印刷の途中で調整値を設定したときに表示されます。 △ ア「メディア送り調整」83ページ

#### ❹ メディア情報

- 左から、選択しているメディア設定、プラテン ギャップ、メディア幅、メディア残量が表示され ます。
- 印刷メディアの選択で、本機に登録されているメ ディア設定番号を選択したときは、1~30の該当す る番号が表示されます。[RIP 設定]を選択したと きは、0 が表示されます。
- プラテンギャップの設定値により、アイコンが以 下のように変わります。



PG≛- : 2.0

PG⊧<sup>▲</sup> 2.5

 メディア残量は [メディア残量管理] で [残量管 理設定]を[OFF]に設定しているときは表示され ません。

△ ア「メディア残量管理」134ページ

#### G インクカートリッジの状態

インク残量の日安や状態が表示されます。この表示 は、インクが残り少なくなったときやエラーが生じ ると以下のように変わります。



#### 1 状態表示

インクカートリッジの状態が次のように示されま す。



: 印刷できます。インジケーターの高さ はカートリッジ内のインクの量に応じ て変わります。



- インクが残り少ないため、新しいイン クカートリッジの準備が必要です。
- インク残量が限界値以下です。 SC-S30650使用時、または特色インク 未使用時は、新しいインクカートリッジと交換してください。 特色インク使用時は、速やかに新しい インクカートリッジと交換してください。この状態のまま放置すると、プリントヘッド等が故障するおそれがあり ます。



- :インクカートリッジがロックされてい ません。ロックレバーを下げてロック してください。
- インクカートリッジが未装着です。インクカートリッジを装着し、ロックレバーを下げてロックしてください。
- エラーが生じています。画面のメッセー ジを確認し、エラーを解除してください。
  - クリーニングカートリッジが装着され ています。インジケーターの高さはカー トリッジ内の洗浄液の量に応じて変わ ります。

```
(参考)
```

インク残量は、設定メニューのインク残量表示メニューで も確認できます。 ∠3 「インク残量表示メニュー」142 ページ

#### 2 インク色の略号

#### SC-S70650

- MS : メタリックシルバー
- GY : グレー
- BK :ブラック
- C : シアン
- M : マゼンタ
- Y : イエロー
- OR :オレンジ
- OR+ : オレンジプラス
- LC : ライトシアン
- LM : ライトマゼンタ
- WH : ホワイト

SC-S50650

- WH : ホワイト
  BK : ブラック
  Y : イエロー
  M : マゼンタ
  C : シアン
  SC-S30650
- BK : ブラック
- Y : 1ID-
- M : マゼンタ
- C : シアン

#### ⑥ 廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安や状態が表示されま す。この表示は、空き容量が残り少なくなったときや エラーが生じると以下のように変わります。



#### 1 状態表示

廃インクボトルの状態が次のように示されます。



問題ありません。インジケーターの高さは空き容量に応じて変わります。



: 廃インクボトルがもう少しでいっぱい になります。新しい廃インクボトルの 準備が必要です。



: 廃インクボトルが満杯です。新しい廃 インクボトルと交換してください。

#### ● メディア浮き検出の状態

SC-S50650 のみ表示されます。



: 印刷中にメディアが浮いていないかを 検出します。



: 印刷中にメディアが浮いていないかを 検出しません。

### \_중「メンテナンスメニュー」140 ページ

③ 外付け乾燥ファンユニットの状態 オプションの外付け乾燥ファンユニット(SC-S50650

は標準)の設定が表示されます。

表示なし : 未接続、あるいは正しく接続されてい ません。

SS ON : 乾燥ファンが機能します。



ジャンが機能しません。設定メ ニューの [乾燥ファン設定]を [ON] に切り替えると乾燥ファンが働きま す。

\_중 「ヒーター/乾燥設定」82ページ



本機は、1626mm(64 インチ)のロールメディアに対応 した大判インクジェットカラープリンターです。本機の 主な特長は以下の通りです。

### 高生産性を実現

#### 3 つのヒーターを搭載

以下の3つのヒーターが印刷品質と生産性の向上をサポートします。 プリヒーター:印刷部が急激に温度変化しないように印刷前のメディアを予熱します。 プラテンヒーター:インクの定着を安定させます。 アフターヒーター:インクをすばやく乾かすことができます。

大容量ロールが装着できるメディア搬送ユニット 標準装備のメディア搬送ユニットには、外径 250mm、重

量 40kg までの大容量メディアを装着できます。これにより、メディアの交換の頻度が軽減されます。 オプションの重量メディアユニットを使うと、さらに大容量の外径 300mm 重量 80kg までのメディアを装着で

容量の外径 300mm、重量 80kg までのメディアを装着で きます。

#### 自動巻取りユニットを標準装備

印刷後のメディアをきれいに、しわなく自動的に巻き取 ることができます。バナー印刷や大量印刷、夜間の連続 印刷に役立ちます。

#### 大容量インクカートリッジ

高い生産性を実現するため、700ml(ホワイトは 600ml、 メタリックシルバーは 350ml)の大容量インクカートリッ ジを提供しています。インクカートリッジ交換のわずら わしさが軽減されます。

#### 高速印刷の実現

SC-S50650 は 2 ヘッドスタッガー配列により高速印刷を 実現しています。また高速印刷に対応するため、各色 2 本ずつインクカートリッジをセットできます。

#### 外付け乾燥ファンユニットをご用意

オプションの外付け乾燥ファンユニット(SC-S50650 は 標準)を用いることでさらに乾燥性が高められ、より生 産性が向上します。SC-S70650 の 10 色モードは、ホワイ ト、メタリックシルバーインクが乾きにくいため、使用 をお勧めします。

### 高画質印刷

#### 滑らかな階調性、高い色再現性の実現

SC-S70650 はライト系インク(グレー、ライトシアン、 ライトマゼンタ)の搭載による粒状感の低減、滑らかな 階調性の実現と、オレンジインクの搭載により広い色域 を持つことで、高い色再現性を実現しています。そのた め近接の屋内掲示板やファインアート、カーラッピング などに必要な高画質印刷が可能です。

#### ホワイト、メタリックシルバーインクを搭載

SC-S70650 はホワイトとメタリックシルバーインク、 SC-S50650 はホワイトインクの搭載により、様々な表現 が可能です。ホワイトインクは高い遮蔽性を実現してい るため、透明なメディアへの透けない表現(ウィンドウ グラフィック)が可能です。またホワイト、メタリック シルバーインクの上にカラーインクを重ねること(レイ ヤー印刷)で、カラーインクの透けない表現や、様々な メタリックカラーの表現が可能です。

S50650)」24 ページ

### 優れた使いやすさ

#### メディアのセット・巻き取りが簡単

ロールホルダー、紙管ホルダーともスピンドルの無い構 造のため、セット前にメディアをスピンドルにセットす る必要がありません。メディアを運んで来てそのまま直 接本機にセットできます。作業スペースが狭くても、長 いスピンドルを取り回さずに簡単にセットできます。 さらにロールサポートにメディアを仮置きできるほか、 リフトレバーを使って重たいメディアも負担なくロール ホルダーの位置まで持ち上げられます。

#### 匂いの少ないエコソルベントインク

溶剤インク特有の臭いを低減したエコソルベントインク です。印刷時の作業環境が改善されるばかりでなく、屋 内の展示物も掲示場所を選ばず展示できます。

#### メディアの浮き上りを検出

SC-S50650は、印刷中のメディアの浮き上りを検出する 機能を搭載しています。印刷中にメディアが浮くと、プ リントヘッドとのこすれを防ぐため印刷を停止します。 停止することで印刷の失敗を防ぎ、インクやメディアの 無駄な消費を抑えます。

#### メンテナンスの容易さ

印刷品質を維持するためには、日々のメンテナンスが欠かせません。本機は、メンテナンススペースが広く設計 されており、メンテナンス作業が容易に行えます。

#### メール通知機能でエラー/ワーニング状態を通知

本機のネットワークインターフェイスに内蔵の EpsonNet Config(Web 版)にはメール通知機能が装備されていま す。メール通知設定を行うと、本機にエラーやワーニン グ発生時に、設定したアドレスにメールで状態が通知さ れます。これにより、夜間無人運転時なども安心して本 機から離れることができます。 EpsonNet Config(Web 版)の起動方法 *C*デ『ネットワー

Epsonnet Config (Web 版)の起動方法 29 「ネットワー クガイド』(PDF)

#### 大型アラートランプとブザーでエラーを通知

エラーが生じたときは、ブザー音と大型アラートランプ が点灯してお知らせします。大型アラートランプは視認 性が良いので、離れた位置からも確認できます。 同時にブザーでもお知らせしますので、エラーで印刷が 止まっているのに気付かずにいたという時間の無駄使い を防止できます。

#### High-Speed USB/ギガビットイーサネット

High-Speed USB と 100Base-TX/1000Base-T 対応のネット ワークインターフェイスを標準搭載しています。

使用・保管時のご注意

本書では、ホワイトインクとメタリックシルバーインク の総称として、「特色インク」と表記します。

### 設置スペース

排紙や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。 本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。 ∠☞「仕様一覧」165ページ



### 使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。 特色インク使用時は、以下も合わせてご覧ください。 プ「特色インク使用時のご注意(SC-S70650、SC-S50650)」24ページ

「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。
 △ア「仕様一覧」165ページ

ただし、上記の条件を満たしていても使用するメディア の環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないこ とがあります。必ずメディアの環境条件も満たした場所 で使用してください。詳しくは、メディアのマニュアル をご覧ください。

また、乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直 射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して 条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

- ・送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。
- 廃インクチューブを曲げたり、引っ張ったりしないでく ださい。インクが本機の内部や周辺に漏れることがあり ます。

- ・使用頻度や推奨する時期に清掃や交換などのメンテナンスが必要です。メンテナンスを怠ると印刷品質劣化の原因となります。適切なメンテナンスをせずに使い続けると、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。
   △ア「メンテナンスの種類と実施時期」89ページ
- メディアが詰まったときやエラーが起こったまま電源を 切るとキャッピングされない(プリントヘッドが右端に 位置しない)ことがあります。キャッピングとは、プリ ントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッド にキャップ(蓋)をする機能です。この場合は、再度電 源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行 われます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 印刷後一定時間が経つとプリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にヘッドクリーニングが行われます。

そのため、本機の電源が入っている状態では必ず廃イン クボトルを装着してください。

 プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外に もヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインク が消費されます。

### 使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管して ください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正し く印刷できないことがあります。

特色インク使用時は、以下も合わせてご覧ください。 *△*⑦「特色インク使用時のご注意(SC-S70650、SC-S50650)」24 ページ

- 本機を長期間使用しない(電源を切る)ときは、別売の クリーニングカートリッジを使って、長期保管前メンテ ナンスを実施してください。そのまま放置すると、ヘッ ドの目詰まりが解消できなくなります。
   詳細は以下をご覧ください。
   プ「長期間保管するとき(事前メンテナンス)」123
   ページ
- 長期間保管メンテナンスを行わずに長期間使用しないときは、7日に1度は電源を入れてください。
   印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。電源を入れると起動後、自動でヘッドクリーニングが行われます。
   ヘッドクリーニングを行うことで、プリントヘッドの目

詰まりを防ぎ印刷品質を維持できます。ヘッドクリーニ ングが終了するまで電源を切らないでください。

- 本機を長期間使用しなかったときは、印刷を再開する前に必ずプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。プリントヘッドに目詰まりが確認されたときは、ヘッドクリーニングを行ってください。
   「チェックパターンの印刷方法」119ページ
- プリントヘッドがキャッピングされている(プリント ヘッドが右端に位置している)ことを確認してから本機 を保管してください。キャッピングせずに長時間放置す ると、印刷不良の原因となります。

#### 参考

キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、再度 切ってください。

- 全てのカバーを閉めて保管してください。また、長期間 使用しないときは、ホコリが入らないよう、静電気の発 生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めし ます。プリンターのノズルは大変小さいものです。その ため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付 着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあり ます。
- 本機を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な 状態で保管してください。

### インクカートリッジ取り扱い上 のご注意

インクカートリッジは、良好な印刷品質を保つために、 以下の点に注意して取り扱ってください。 特色インク使用時は、以下も合わせてご覧ください。 ご 「特色インク使用時のご注意(SC-S70650、SC-S50650)」24ページ

- 購入直後のインク初回充填では、プリントヘッドノズルの先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。交換用のインクカートリッジをお早めにご準備ください。
- インクカートリッジは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早いほうの期日までに使い切ってください。

- インクカートリッジ個装箱に印刷された推奨使用 期限
- •インクカートリッジの袋を開封した日から6ヵ月
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移したときは、4時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジの IC チップには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- •8色(固定)モードまたは4色モードを選択したときは 代替カートリッジも使用して、全スロットにカートリッ ジを装着してください。8色(切替可能)モードまたは 9色モードを選択したときはクリーニングカートリッジ を使用して、全スロットにカートリッジを装着してくだ さい。全スロットに装着していないと印刷できません。
- インクカートリッジを取り外した状態で本機を放置しないでください。本機内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本機を使用しないときも、インクカートリッジおよび代替カートリッジは全スロット装着した状態にしてください。
- インクカートリッジは IC チップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジは、付属のメンテナンスキットのクリーニング棒を使用してインク供給乳部に付着しているインクを拭き取ってください。供給乳部のインクが乾燥すると、再装着して使用するときにインク漏れの原因となります。



また、インク供給孔部にホコリが付かないように保管し てください。インク供給孔内には弁があるため、蓋や栓 をする必要はありません。

- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にイン クが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インク が完全になくなる前に動作を停止するように設計されて おり、使用済みインクカートリッジ内にインクが残りま す。

- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えない でください。カートリッジからインクが漏れることがあ ります。
- 本機に装着した特色インク以外のインクカートリッジは
   3週間に1度、取り出してよく振ってください。
   振り方 ∠3 「かくはんの方法」109 ページ
- ・代替カートリッジは印刷中に抜き差ししないでください。

#### \_\_\_\_\_ メディア取り扱い上のご注意

メディアの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意く ださい。メディアの状態が悪いと、良好な印刷結果が得 られません。

必ず各メディアのマニュアルも併せてご覧ください。

### 取り扱い上のご注意

- •メディアを折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- メディアの印刷面には触れないでください。手の皮脂や 水分が印刷品質に影響します。
- メディアの端を持って取り扱ってください。また綿製の 手袋を着用することをお勧めします。
- メディアを濡らさないでください。
- 個装箱や個装袋は、メディアの保管時に使用しますの で、捨てないでください。
- •高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないメディアは、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、メディア品質が低下するおそれがあります。

### 印刷後メディア取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下 の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こ すったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあ ります。
- 印刷物の表面は触らないでください。インクが剥がれる ことがあります。

- 印刷後のメディアは、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねると、重なった部分の色が変わる(重なった部分に跡が残る)ことがあります。この跡はすぐにメディアを剥がして乾燥させればなくなりますが、そのまま放置すると跡が消えなくなります。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐためにメディアのマニュアルの指示に従って展示/保存してください。

### 特色インク使用時のご注意 ( SC-S70650 、 SC-S50650)

特色インクはインクの特性上、沈降(成分が液の底に沈 んでたまること)することがあります。沈降すると、印 刷結果に濃淡ムラが出たりノズルが目詰まりしやすくなっ たりします。

特色インクを使用する前に、以下の注意事項をご覧くだ さい。

- 本機は、プリントヘッドやチューブ内のインクを定期的 に自動で循環してインクの沈降を防ぐ機能(自動インク 循環)を搭載しています。
  - 本機の電源は切らずに使用することをお勧めします。電源を切ると、適切なタイミングで自動インク循環が行われません。これにより、解消できない沈降が生じ、故障の原因となります。本機を長期間使用しないときは、以下をご覧ください。
     「長期間保管するとき(事前メンテナンス)」
     123 ページ
  - ・操作パネルの画面に「インク循環中」と表示されているときに【II・⑪】ボタンを押すと、自動インク循環をキャンセルできます。ただし、インク循環が不可欠なタイミングではキャンセルできません。また、自動インク循環をキャンセルして、特色を使用した印刷を行うと印刷結果に濃淡ムラが出ることがあります。
     自動インク循環による作業の中断を回避したいときは、印刷開始前に「インク循環」を実行することをお勧めします。

△ 「メンテナンスメニュー」140ページ

・特色インクカートリッジは装着後、24 時間に1度、取り出してよく振ってください。
 振り方 △ア「かくはんの方法」109 ページ

- 特色インクカートリッジは、平置き(平らに寝かせた状態)で保管してください。縦長方向に立てた状態で保管すると、使用前にかくはんをしても成分の沈降を解消できないことがあります。
- ・印刷結果に濃淡ムラが見られるときは、操作パネルのメニューで[インクリフレッシュ]を実施してください。
   △ア「インクリフレッシュ」122ページ
- レイヤー印刷時は以下の注意が必要です。
  - データで設定した長さの2%以上の長さを足した
     メディアが必要です。
  - 自動巻取りユニットを使用すると、巻き取りが正 常にできなかったり、印刷品質が低下したりする ことがあります。
  - メディアによっては、レイヤー印刷に対応していないことがあります。メディアに付属のマニュアルをご覧になるか、メーカーに詳細をお問い合わせください。

# 添付ソフトウェアの使い方

# ソフトウェアディスクの内容

付属のソフトウェアディスクには、以下のソフトウェアが収録されています。必要に応じてインストールしてください。 各ソフトウェアの詳細は『ネットワークガイド』(PDF)、または各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

#### 参考

- ・付属のソフトウェアディスクにはプリンタードライバーは収録されていません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。エ プソンのホームページでは、付属のソフトウェアディスクに収録されていないソフトウェア(本機対応のソフトウェア RIP、プラ グインソフトウェアなど)を紹介しています。
   http://www.epson.jp
- 最新版のアプリケーションソフトはエプソンのホームページからダウンロードしてください。 http://www.epson.jp

#### Windows の場合

ソフトウェア名称	概要
LFP リモートパネル 2	LFP リモートパネル 2 はコンピューターから本機の設定メニューで設定したメディア設定のコピーや ファームウェアのアップデートを行うソフトウェアです。 ⊿ 「LFP リモートパネル 2 の起動方法」27 ページ ⊿ 「LFP リモートパネル 2 の終了方法」27 ページ
ドライバーとユーティリ ティー	Epson 通信ドライバー(EPSON SC-S70600 Series Comm Driver、EPSON SC-S50600 Series Comm Driver、EPSON SC-S30600 Series Comm Driver)がインストールされます。 Epson 通信ドライバーは、LFP リモートパネル 2 でメディア設定のコピーを行うのに必要な通信用の ドライバーです。印刷用のプリンタードライバーではありません。また、コンピューターと本機を USB 接続して使用するときは、Epson 通信ドライバーがインストールされていないとソフトウェア RIP 上 で本機のステータス表示をできないことがあります。ステータス表示機能の有無については、ソフト ウェア RIP のマニュアルでご確認ください。
ネットワークユーティリ ティー	インストールを実行すると、ウィザード形式でネットワークに接続するためのアドレスの設定が簡単 にできます。
EpsonNet Config	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを 使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

#### Mac OS X の場合

ソフトウェア名称	概要
LFP リモートパネル 2	LFP リモートパネル 2 はコンピューターから本機の設定メニューで設定したメディア設定のコピーや ファームウェアのアップデートを行うソフトウェアです。 ②「LFP リモートパネル 2 の起動方法」27 ページ ③「LFP リモートパネル 2 の終了方法」27 ページ
ネットワークユーティリ ティー	インストールを実行すると、ウィザード形式でネットワークに接続するためのアドレスの設定が簡単 にできます。
EpsonNet Config	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを 使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

### **LFP** リモートパネル **2** の起動方 法

LFP リモートパネル2は、本機の画面に[印刷可能]と表示されていることを確認してから起動してください。

#### Windows

#### 次のどちらかの方法で起動します。

- デスクトップの [LFP リモートパネル 2] アイコンをダブルクリックします。[LFP リモートパネル2] アイコンは、本ソフトウェアをインストールすると作成されます。
- [スタート] [すべてのプログラム](または [プ ログラム])- [LFP リモートパネル 2] - [LFP リ モートパネル 2] の順にクリックします。

2 LFP リモートパネル 2 のメイン画面で実行する項 目をクリックします。

詳細は、LFP リモートパネル 2 のヘルプをご覧ください。

#### Mac OS X

[アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON LFP Remote Panel 2] -LFP リモートパネル 2 アイコンの順に ダブルクリックすると、LFP リモートパネル 2 のメイン画 面が表示されます。

### 

LFP リモートパネル 2 のメイン画面で [終了] をクリック します。

# ソフトウェアの削除

#### !重要

- 「コンピューターの管理者」アカウント(管理者権限のあるユーザー)でログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パス ワードを入力して操作を続行してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了 してください。

#### Windows

LFP リモートパネル 2、Epson 通信ドライバーを例に削除 方法を説明します。

- 1 本機の電源を切り、インターフェイスケーブルを 外します。
- 2 [コントロールパネル]の[プログラム]-[プ ログラムのアンインストール]をクリックしま す。

Windows XP の場合は、[コントロールパネル]の [プログラムの追加と削除]をクリックします。



3 削除するソフトウェアを選択して [アンインス トールと変更](または [変更と削除])をクリッ クします。

以下を選択すると、Epson 通信ドライバーを削除できます。

- EPSON SC-S70600 Series Comm Driver プリン ターアンインストール
- EPSON SC-S50600 Series Comm Driver プリン ターアンインストール
- EPSON SC-S30600 Series Comm Driver プリン ターアンインストール

LFP リモートパネル 2 を選択すると、LFP リモート パネル 2 を削除できます。

4 本機のアイコンをクリックして、[**OK**] をクリッ クします。 5 この後は、画面の指示に従ってください。

削除を確認するメッセージが表示されたら [はい] をクリックします。

Epson 通信ドライバーを再インストールするときは、コン ピューターを再起動してください。

#### Mac OS X

LFP リモートパネル 2 の削除方法を説明します。

1

LFP リモートパネル 2 を終了します。

2 [アプリケーション] - [Epson Software] フォ ルダ内の [EPSON LFP Remote Panel 2] フォ ルダごと、[ゴミ箱] にドラッグ&ドロップして 削除します。

その他のソフトウェアの削除は「Uninstaller」を使いま す。再インストールやバージョンアップをするときは、 対象のソフトウェアを削除してから行います。

#### 入手方法

「Uninstaller」を弊社のホームページからダウンロードし てください。 アドレス http://www.epson.jp/

#### 操作手順

「Uninstaller」を入手時に手順も確認いただき、その手順 に従ってください。

# 基本の操作

## メディアのセットと交換

お使いの製品や装着しているメディア搬送ユニットにより、セット方法が異なります。お使いの状況にあったセット方法をご覧ください。

#### SC-S70650、SC-S50650 使用時

印刷の種類やメディア幅により、加圧ローラーをセット する位置が異なります。メディアセット時に、加圧ロー ラーをセットする位置を考慮してセットしますので、事 前に加圧ローラーのセット位置を確認してください。 加圧ローラーのセット位置 (SC-S70650、 SC-S50650の場合)」30ページ メディアのセット方法 (SC-S70650、SC-S50650の 場合)」32ページ

#### SC-S30650 使用時

*△*⑦「メディアのセット方法(SC-S30650 の場合)」45 ページ

### メディアセット前のご注意

メディアのセットは、必ず以下の注意事項を確認してか ら実施してください。

本機で使用できるメディアの詳細は、以下をご覧くださ い。

∠ ⑦ 「使用可能なメディア」160 ページ

#### <u>∧</u>注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意 してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。
- •メディアは重いので、1人で運ばないでください。

#### メディアは印刷直前にセットする

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加 圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディア が波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリン トヘッドのこすれの原因となります。

#### メディア取り扱い時は以下の点を守る

以下の点を守らずにメディアを取り扱うと、メディア表 面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、印刷結果にインクの ボタ落ちが生じる原因となります。

- むき出しのままで直接メディアを床に置かない。
   メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
- ・衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。
   本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



#### 左右端が不ぞろいなメディアはセットしない

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、 メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原 因となります。端がそろうように巻き直してから使用す るか、問題のないロールを使用してください。



### 加圧ローラーとメディアのセット位置(**SC-S70650、SC-S50650** の場合)

加圧ローラーを正しい位置にセットしないと、良好な印刷結果が得られません。

### メディアのセット位置

本機背面には、加圧ローラーセット位置を示す四角い穴が開いています。 加圧ローラーを各メディア幅に応じて適切にセットできるように、以下の点に留意してメディアをセットします。

●メディア左端が必ず ① の範囲内を通ること。

●メディア右端がメディア幅に応じて 2~3の四角の範囲内を通ること。



\*透明または乳白色のフィルム以外のメディアセット時、またはレイヤー印刷をしない時のみ使用可能

### 加圧ローラーの種類

加圧ローラーには2種類あり、以下の通り印刷の種類で使用する加圧ローラーが異なります。



#### 通常の印刷時

#### 透明または乳白色のフィルムセット時、レイヤー印刷時

加圧ローラー (強)を使用します。

#### 参考

• 透明または乳白色のフィルムセット時に加圧ローラー(弱)を使うと、印刷範囲にローラーの跡が付くことがあります。

• レイヤー印刷時に加圧ローラー(弱)を使うと、正しくレイヤー印刷されません。

### メ デ ィ ア の セ ッ ト 方 法 (**SC-S70650、SC-S50650** の 場合)

標準メディア搬送ユニット装着時は、次項をご覧ください。

重量メディア搬送ユニット装着時 ∠3 「重量メディア搬送 ユニット装着時(オプション)」38 ページ

### 標準メディア搬送ユニット装着時

本機に標準メディア搬送ユニットが装着されているとき のメディアのセット方法を SC-S70650 のイラストで説明 します。

手順は動画でもご覧いただけます。

SC-S70650 Thtps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9M3XJ7ytYW5QkJDXITlbJOj SC-S50650 Thtps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9OWBIEifb1tAruevhTX-\_f9

メディアをセットする前に、必ず以下をお読みください。 ∠3 「メディアセット前のご注意」 29 ページ

【 ()】ボタンを押して、画面に [メディアをセットしてください。]と表示されるまで待ちます。

#### !重要

特色インク装着時は、本機未使用時の内部でのインク 詰まりを防止するため、自動的に循環をしています。 電源を切ると自動循環ができずに故障する可能性があ りますので、電源を切らずに使用することを推奨しま す。

前面カバーを開けて、メディア押さえ板を退避さ せます。

#### !重要

メディア押さえ板を退避させないと、メディアをセットする際にメディアを挿入できなかったり、メディアの先端が傷ついたりします。

#### スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら プラテンの左右両端へ移動します。



#### はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま す。





ロールホルダー固定ネジを左右両側とも十分に緩 め、ロールホルダーをロールメディアの幅よりも 外側に移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、 均等になるように移動します。





33



34

#### !重要

ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロー ルホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷 品質低下の原因となります。



11 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド ルを回します。



#### !重要

Aの部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないで ください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損す るおそれがあります。

ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れ ないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロール ホルダー固定ネジを緩めて、手順9からやり直してく ださい。



13 メディアを挿入口から 30cm ほど挿入し、メディ アセットレバーを下げます。



メディアの端が手順5で合わせた、四角の範囲内 14 を通っていることを確認します。

#### 64 インチ幅のメディアセット時の例



#### !重要

メディアの端が四角い穴からはみ出しているときは、 必ず手順13から逆順で手順5まで戻ってセットし直し てください。メディアをセットした状態で、ロールホ ルダーの位置を動かさないでください。



16 メディアをアフターヒーターの中央付近までまっ すぐに引き出します。



- メディアを両手で引き出さないでください。メディ アが斜行・蛇行する原因となります。
- アフターヒーター上のラベルは、メディアセット
   時には使いません。無理に合わせるとメディアの
   蛇行やたるみの原因となります。



17 加圧ローラーの両端を持ち、押し下げながら移動 してセットします。

#### 参考

ローラー上部の軸(図のグレーの部分)に触れないよ うにしてください。グリスが付着して汚れるおそれが あります。



#### 通常印刷時

- 加圧ローラー(弱)を使います。
   加圧ローラー(強)は、突き当たるまで右また
   は左に移動します。
- メディアの両端にセットする加圧ローラー(弱)
   は、メディア端から 5mm 内側にセットすること
   をお勧めします。
- 残りの加圧ローラー(弱)は、黒い四角のラベルの箇所にセットします。メディア幅によっては、加圧ローラー(弱)が余ります。余った加圧ローラー(弱)は、黒い四角のラベルのない箇所にセットます。


#### 透明または乳白色のフィルムセット時、レイ ヤー印刷時

- 加圧ローラー(強)だけを使います。
- 左右それぞれのメディア端から 10mm 内側に位 置するようにセットすることをお勧めします。
- 加圧ローラー(弱)は、黒い四角のラベルのない箇所にセットします。



18 メディアセットレバーを下げると、黒い四角の箇 所にセットした加圧ローラーがメディアを固定し ます。



19 メディアの両端にメディア押さえ板をセットしま す。

### スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、メディア端の上まで移動します。メディア押さ え板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように 合わせてください。



#### はめ込み式のメディア押さえ板

メディアの上から、メディア押さえ板の丸穴の中央 にメディアの端が位置するように合わせます。

- メディア押さえ板の白線とプラテンの白線を合わせます。
- 板が浮かないようパチッと音がするまで押し込みます。



#### !重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア 押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ 板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破 損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメ ディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してく ださい。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、 破れたりするときはメディア押さえ板を使用しない でください。



Ø

自動巻取りユニットを使用するときは、以下をご覧くだ さい。

∠∽「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

自動巻取りユニットを使用しないときは、メディアの確認と設定変更に進んでください。 ⊿ア「メディアの確認と設定変更」57ページ

# 重量メディア搬送ユニット装着時(オ プション)

本機背面に、オプションの重量メディア搬送ユニットを 装着しているときのメディアのセット方法を SC-S70650 のイラストで説明します。

#### <u>//</u>注意

メディアは重いので、1 人で運ばないでください。40kg 以上 のメディアは、リフターの使用をお勧めします。

以降の、セット方法はリフターを使って行う方法を説明 します。

以下の作業で使用可能なリフターは、次の通りです。

•フォークや台の厚み:28mm 以下

・フォークや台の面が床から約 190mm まで下げられる。
 メディアをセットする前に、必ず以下をお読みください。
 △ア「メディアセット前のご注意」 29 ページ

## 1 【<sup>(</sup>)】ボタンを押して、画面に [メディアをセッ トしてください。]と表示されるまで待ちます。

#### !重要

特色インク装着時は、本機未使用時の内部でのインク 詰まりを防止するため、自動的に循環をしています。 電源を切ると自動循環ができずに故障する可能性があ りますので、電源を切らずに使用することを推奨しま す。



#### !重要

メディア押さえ板を退避させないと、メディアをセッ トする際にメディアを挿入できなかったり、メディア の先端が傷ついたりします。

# スライド式のメディア押さえ板 !重要 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら 右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていない プラテンの左右両端へ移動します。 ときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回しま す。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正し く取り付けられません。 J. Z メディアの巻き仕様に応じて、以下の向きでメ 4 はめ込み式のメディア押さえ板 ディアをリフターに仮置きします。 メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま 印刷面外巻き す。 0 印刷面内巻き Ø 0 Q 3 ロールホルダー固定ネジを左右両側とも十分に緩 め、ロールホルダーをメディアの幅よりも広げま す。 Ta 2 1



1)

64inch 60inch 50inch 40inch 54inch 44inch 16inch 36inch 20inch 14inch

参考

黒四角が描かれたラベルを貼っていないときは、別冊の『セットアップガイド』をご覧になり貼り付けてください。 ∠☞『セットアップガイド』(冊子)

300mm

=2

6 メディアとロールホルダーの位置を合わせます。

メディアの紙管とロールホルダーが水平になるよう にリフターの高さを調整します。



7 左側のロールホルダーをしっかりと差し込みます。続いて、ロールホルダー固定ネジを回らなくなるまで、きつく締めて、ロールホルダーが動かないように固定します。



8 <sup>右側</sup> す。

右側のロールホルダーをしっかりと差し込みます。



9 ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、 ロールホルダー側面の中央部をロール側に2回押 し付けます。



#### !重要

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、 ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア 送りが正しく行えません。 このため、印刷結果にバンディングが生じることがあ ります。

10 ロールホルダー固定ネジを回らなくなるまで、き つく締めて、ロールホルダーが動かないように固 定します。



#### !重要

ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロー ルホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷 品質低下の原因となります。



**11** リフターを抜きます。



12 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド ルを回します。



#### !重要

Aの部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないで ください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損す るおそれがあります。

ハンドルが回らなくなるまで回してもAの部分が隠れ ないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロール ホルダー固定ネジを緩めて、手順8からやり直してく ださい。



14 メディアを挿入口から 30cm ほど挿入し、メディ アセットレバーを下げます。



15 メディアの端が手順 5 で合わせた、四角の範囲内 を通っていることを確認します。

#### 64 インチ幅のメディアセット時の例



#### !重要

メディアの端が四角い穴からはみ出しているときは、 必ず手順14から逆順で手順5まで戻ってセットし直し てください。メディアをセットした状態で、ロールホ ルダーの位置を動かさないでください。



16 メディアの中央を持ってメディアセットレバーを

上げます。

17 メディアをアフターヒーターの中央付近までまっ すぐに引き出します。



- メディアを両手で引き出さないでください。メディ アが斜行・蛇行する原因となります。
- アフターヒーター上のラベルは、メディアセット
   時には使いません。無理に合わせるとメディアの
   蛇行やたるみの原因となります。



18 加圧ローラーの両端を持ち、押し下げながら移動 してセットします。

#### (参考)

ローラー上部の軸(図のグレーの部分)に触れないようにしてください。グリスが付着して汚れるおそれが あります。



#### 通常印刷時

- 加圧ローラー(弱)を使います。
   加圧ローラー(強)は、突き当たるまで右また
   は左に移動します。
- メディアの両端にセットする加圧ローラー(弱)
   は、メディア端から 5mm 内側にセットすること
   をお勧めします。
- 残りの加圧ローラー(弱)は、黒い四角のラベルの箇所にセットします。メディア幅によっては、加圧ローラー(弱)が余ります。余った加圧ローラー(弱)は、黒い四角のラベルのない箇所にセットます。



#### 透明または乳白色のフィルムセット時、レイ ヤー印刷時

- 加圧ローラー(強)だけを使います。
- 左右それぞれのメディア端から 10mm 内側に位 置するようにセットすることをお勧めします。
- 加圧ローラー(弱)は、黒い四角のラベルのない箇所にセットします。



19 メディアセットレバーを下げると、黒い四角の箇 所にセットした加圧ローラーがメディアを固定し ます。



20 メディアの両端にメディア押さえ板をセットします。

## スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、メディア端の上まで移動します。メディア押さ え板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように 合わせてください。



#### はめ込み式のメディア押さえ板

メディアの上から、メディア押さえ板の丸穴の中央 にメディアの端が位置するように合わせます。

- メディア押さえ板の白線とプラテンの白線を合わせます。
- 板が浮かないようパチッと音がするまで押し込みます。



#### !重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア 押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ 板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破 損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメ ディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してく ださい。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、 破れたりするときはメディア押さえ板を使用しない でください。





自動巻取りユニットを使用するときは、以下をご覧くだ さい。

∠∽「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

自動巻取りユニットを使用しないときは、メディアの確認と設定変更に進んでください。 ∠☞「メディアの確認と設定変更」57 ページ

# メ デ ィ ア の セ ッ ト 方 法 (**SC-S30650**の場合)

標準メディア搬送ユニット装着時は、次項をご覧くださ い。 重量メディア搬送ユニット装着時 *△*3<sup>-</sup>「重量メディア搬送

ユニット装着時(オプション)」51 ページ

# 標準メディア搬送ユニット装着時

本機に標準メディア搬送ユニットが装着されているとき のメディアのセット方法を説明します。 手順は動画でもご覧いただけます。 *C* https://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9P6FW3ylGgUd98QUDyAFEGr

メディアをセットする前に、必ず以下をお読みください。 ∠ኇ「メディアセット前のご注意」29 ページ

1 [

【り】ボタンを押して、画面に [メディアをセットしてください。] と表示されるまで待ちます。

2 前面カバーを開けて、メディア押さえ板を退避さ せます。

#### !重要

メディア押さえ板を退避させないと、メディアをセッ トする際にメディアを挿入できなかったり、メディア の先端が傷ついたりします。

# スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら プラテンの左右両端へ移動します。



#### はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま す。



3 ロールホルダー固定ネジを左右両側とも十分に緩 め、ロールホルダーをロールメディアの幅よりも 外側に移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、 均等になるように移動します。



# 1 重要 右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていない ときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回しま す。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正し く取り付けられません。



メディアをロールサポートに仮置きします。



### 参考

メディアの巻き仕様により、ロールメディアの置き方 が以下のように異なります。

## 印刷面外巻き





7 ロールホルダー固定ネジを回らなくなるまで、き つく締めて、ロールホルダーが動かないように固 定します。



右側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上 げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。



(参考) ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットすると きは、手で抱え上げてロールホルダーにセットします。



!重要

メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出してい

躍

るときは、必ず手順13から逆順で手順5まで戻って (2)セットし直してください。メディアをセットした状態 で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。 15 メディアの中央を持ってメディアセットレバーを 上げます。 \_\_\_\_\_ (1)0 メディアの左端が、プリヒーター上のラベルの四 14 角の範囲内を通っていることを確認します。 16 メディアをアフターヒーターの中央付近までまっ すぐに引き出します。 h •メディアを両手で引き出さないでください。メディ アが斜行・蛇行する原因となります。 ΟΚ

13 メディアを挿入口から 30cm ほど挿入し、メディ

アセットレバーを下げます。

アフターヒーター上のラベルは、メディアセット時には使いません。無理に合わせるとメディアの蛇行やたるみの原因となります。



17 メディアセットレバーを下げてメディアを固定し ます。



18 メディアの両端にメディア押さえ板をセットしま す。

### スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、メディア端の上まで移動します。メディア押さ え板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように 合わせてください。



### はめ込み式のメディア押さえ板

メディアの上から、メディア押さえ板の丸穴の中央 にメディアの端が位置するように合わせます。

- メディア押さえ板の白線とプラテンの白線を合わせます。
- 板が浮かないようパチッと音がするまで押し込みます。



#### !重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア 押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ 板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破 損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメ ディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してく ださい。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、 破れたりするときはメディア押さえ板を使用しない でください。





自動巻取りユニットを使用するときは、以下をご覧くだ さい。

∠∽「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

自動巻取りユニットを使用しないときは、メディアの確認と設定変更に進んでください。 ⊿ア「メディアの確認と設定変更」57 ページ

# 重量メディア搬送ユニット装着時(オ プション)

本機背面に、オプションの重量メディア搬送ユニットを 装着しているときのメディアのセット方法を説明します。

#### <u>∕</u>注意

メディアは重いので、1 人で運ばないでください。40kg 以上 のメディアは、リフターの使用をお勧めします。

以降の、セット方法はリフターを使って行う方法を説明 します。

以下の作業で使用可能なリフターは、次の通りです。

•フォークや台の厚み:28mm 以下

フォークや台の面が床から約 190mm まで下げられる。
 メディアをセットする前に、必ず以下をお読みください。
 △ア「メディアセット前のご注意」 29 ページ

- 【 り】ボタンを押して、画面に[メディアをセッ トしてください。]と表示されるまで待ちます。
- 2 前面カバーを開けて、メディア押さえ板を退避さ せます。

#### !重要

メディア押さえ板を退避させないと、メディアをセッ トする際にメディアを挿入できなかったり、メディア の先端が傷ついたりします。

#### スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら プラテンの左右両端へ移動します。



#### はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま す。



3 ロールホルダー固定ネジを左右両側とも十分に緩め、ロールホルダーをメディアの幅よりも広げます。



# !重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていない ときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回しま す。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正し く取り付けられません。



4 メディアの巻き仕様に応じて、以下の向きでメ ディアをリフターに載せます。

#### 印刷面外巻き



#### 印刷面内巻き



メディアの左端がラベル上のセット位置と合うよう にリフターを移動してください。



#### 参考

ラベルにセット位置合わせの印が付いていないときは、 別冊の『セットアップガイド』をご覧になり印を付け てください。 *△*ア『セットアップガイド』(冊子) 5 メディアとロールホルダーの位置を合わせます。 メディアの紙管とロールホルダーが水平になるよう にリフターの高さを調整します。



6 左側のロールホルダーをしっかりと差し込みま す。続いて、ロールホルダー固定ネジを回らなく なるまで、きつく締めて、ロールホルダーが動か ないように固定します。



- 7 右側のロールホルダーをしっかりと差し込みます。
- 8 ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、 ロールホルダー側面の中央部をロール側に 2 回押 し付けます。



### !重要

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、 ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア 送りが正しく行えません。 このため、印刷結果にバンディングが生じることがあ ります。



ロールホルダー固定ネジを回らなくなるまで、き

#### !重要

ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロー ルホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷 品質低下の原因となります。

**10** リフターを抜きます。

以下の図のAの部分が完全に入り込むまでハンド 11 ルを回します。



#### !重要

Aの部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないで ください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損す るおそれがあります。 ハンドルが回らなくなるまで回してもAの部分が隠れ ないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロール ホルダー固定ネジを緩めて、手順7からやり直してく ださい。





13 メディアを挿入口から 30cm ほど挿入し、メディ アセットレバーを下げます。



14 メディアの左端が、プリヒーター上のラベルの四 角の範囲内を通っていることを確認します。



#### !重要

メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出してい るときは、必ず手順13から逆順で手順4まで戻って セットし直してください。メディアをセットした状態 で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

15 メディアの中央を持ってメディアセットレバーを 上げます。



16 メディアをアフターヒーターの中央付近までまっ すぐに引き出します。



- •メディアを両手で引き出さないでください。メディ アが斜行・蛇行する原因となります。
- アフターヒーター上のラベルは、メディアセット 時には使いません。無理に合わせるとメディアの 蛇行やたるみの原因となります。





メディアセットレバーを下げてメディアを固定し ます。

17



#### スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、メディア端の上まで移動します。メディア押さ え板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように 合わせてください。



#### はめ込み式のメディア押さえ板

メディアの上から、メディア押さえ板の丸穴の中央 にメディアの端が位置するように合わせます。

- メディア押さえ板の白線とプラテンの白線を合わせます。
- 板が浮かないようパチッと音がするまで押し込みます。



#### !重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア 押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ 板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破 損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメ ディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してく ださい。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、 破れたりするときはメディア押さえ板を使用しない でください。



自動巻取りユニットを使用するときは、以下をご覧くだ さい。

∠∽「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

自動巻取りユニットを使用しないときは、メディアの確認と設定変更に進んでください。

∠ ア「メディアの確認と設定変更」57ページ

# メディアの確認と設定変更

メディアのセットが終了すると、操作パネルの画面が以下の表示になります。



この画面では、セットしたメディアに対して、以下の2 点の確認と設定変更ができます。

#### • 残量管理設定

[ON]:メディアの残量管理を行います。

[OFF]:メディアの残量管理は行いません。

[残量管理設定]を [ON] にしていると、設定したメ ディアの長さと印刷で使用した量からおおよそのメディ ア残量が割り出され、操作パネルの画面に残量値が表示 されます。印刷前に画面でおおよそのメディア残量が確 認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなりま す。

また、設定した値にメディアの残量が達すると警告メッ セージが表示されます。 ●選択メディア

メディア設定が何に基づいて行われるかが、以下のよう に表示されます。

[RIP 設定]: RIP での設定に基づき印刷します。

メディア設定の詳細 *△* ? 「設定方法(通常時)」77 ページ

以下の設定で使用するボタン



任意の項目を選択して実行します。

#### 表示されている内容で印刷するとき

【▼】/【▲】ボタンを押して[上記設定で決定する]を選択し、【OK】ボタンを押します。 このあとは、手順6に進みます。

#### 設定を変更するとき

【▼】/【▲】ボタンを押して[設定を変更する] を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 2 変更する項目を選択して【OK】ボタンを押しま す。
- **3** 設定値を選択して【OK】ボタンを押します。
- 4 【3】ボタンを押すと、手順2の画面に戻りますので、再度【3】ボタンを押します。
- 5 設定内容が変わったことを確認して、【▼】/ 【▲】ボタンを押して[上記設定で決定する]を 選択し、【OK】ボタンを押します。

6 ロール巻き仕様の選択画面が表示されます。

【▼】/【▲】ボタンを押して、セットしたロール に応じた巻き仕様を選択し、【OK】ボタンを押しま す。

7 [残量管理設定]を[ON]にしているときは、
 セットしたメディアの長さを入力する画面が表示されます。
 【▼】/【▲】ボタンを押してメディアの全長を
 1.0~999.5mの範囲で設定し、【OK】ボタンを
 押します。設定は 0.5m 単位で行えます。

しばらくして画面に[印刷可能]と表示されたら、印刷 ができます。コンピューターから印刷するデータを送信 してください。

メディアの交換・取り外し

印刷終了後に、メディアを交換したり取り外したりする ときは、メディア残量を印刷後にメディアをカットして メディアロールを取り外します。

# メディア残量の印刷

本機では、セットしているメディアの残量値や残量警告 メッセージが操作パネルの画面に表示されます。これに より、印刷前にメディア交換が必要かどうかが把握しや すくなります。

このメディア残量管理をするため、メディアのセット時 にメディア長さの入力が必要です。

メディアを交換する前に、取り外すメディアの先端にメ ディア残量を印刷できますので、次回のメディアセット 時にこの印刷を見てメディアの長さを入力すれば、正確 な残量管理に役立ちます。



メディア残量を印刷する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認します。
- 2 【 𝗨 】ボタンを押し、画面に表示されたメニュー で [メディア残量管理]を選択し、【 OK 】ボタン を押します。
- 3 [メディア残量印刷]を選択し、【OK】ボタンを 押します。
- **4** 【OK】ボタンを押すと、メディア残量が印刷されます。

# メディアのカット

印刷終了後にメディアをカットするときは、市販のカッ ターを使ってカットします。市販のカッターでメディア をカットする方法を説明します。

#### <u>//</u>注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアを切る際は、カッターなどの刃物で手や指を切らないように注意してください。

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能な状態か確認後、【↓】ボタンを押し、 【OK】ボタンを押します。
- 2 メディアの印刷終端がカッター溝の位置まで送られたことを確認して、前面カバーを開けます。

メディア残量の印刷をしたときは、残量の印刷が取 り外すロール側に残るように、【▲】ボタンを押し てカッター溝より向こう側に戻します。



自動巻取りユニットを使用しているときは、テン ショナーを起こしてください。



3 前面カバーを開けて、メディア押さえ板を退避さ せます。

### スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら プラテンの左右両端へ移動します。



## はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま す。



4

市販のカッターで切り取ります。

カッターの刃をカッター溝に沿って移動してカット します。



自動巻取りユニットを使用しているときは、引き続 き手順 5 へ進みます。

それ以外は、手順7へ進みます。

5 Auto スイッチを OFF にします。メディアの巻き 取り仕様に応じて Manual スイッチを操作して、 切り離したメディアを最後まで巻き取ります。



6 巻き取ったメディアを取り外します。 ∠☞「巻き取ったメディアの取り外し」74ページ

#### 7 メディアのロールをセットしたときと逆の手順で 取り外します。

∠☞「メディアのセット方法(SC-S30650の場合)」
 45 ページ

#### !重要

SC-S70650、SC-S50650 で作業を終了するときは、メ ディアセットレバーを上げた状態にしてください。加 圧ローラーが変形します。

# 自動巻取りユニットの使い 方

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを 自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運 転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で 巻き取ることができます。



外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。 内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。

以降の手順をご覧になり、自動巻取りユニットに紙管を 取り付けてから、ロールの巻き仕様に合わせて紙管にメ ディアを取り付けてください。

手順は、標準装備の自動巻取りユニットのイラストを用 いて説明していますが、オプションの重量メディア対応 の自動巻取りユニットをお使いのときも特に記載のない 限り、同様の手順となります。

△ 「紙管の取り付け方」 61 ページ

- ∠중「外巻きでの巻き取り方」63ページ
- ∠☞「内巻きでの巻き取り方」69ページ

# 自動巻取りユニット使用時のご 注意

## <u>∧</u>注意

- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧になり、正しく作業してください。
   メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。
- メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
   けがをするおそれがあります。

### メディア幅よりも長い紙管を使用する。

メディアが紙管からはみ出さずに正しく巻き取ることが できます。

#### 紙管にメディアを取り付けるときは、付属の紙 テープを使用する。

紙テープを使用すると、巻き取りズレの発生を低減する ことができます。付属品が終了したときは、幅 20~25mm の市販の紙テープ(伸びにくく切れにくいもの)をお買 い求めください。紙テープが手に入らないときは、メディ アを幅 20~25mm、長さ 60cm にカットしたものでも代 用できます。

#### レイヤー印刷時は、自動巻取りユニットを使用し ない。(SC-S70650、SC-S50650 のみ)

巻き取りが正常にできなかったり、印刷品質が低下した りすることがあります。

# 紙管の取り付け方

手順は動画でもご覧いただけます。 SC-S70650 / Phttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9M3XJ7ytYW5QkJDXITlbJOj SC-S50650 / Phttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9OWBIEifb1tAruevhTX-\_f9 SC-S30650 / Phttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9P6FW3ylGgUd98QUDyAFEGr

作業を開始する前に、必ず以下をお読みください。 ∠3 「自動巻取りユニット使用時のご注意」61 ページ

#### !重要

オプションの重量メディアユニットをお使いのときは、作業 を開始する前に左側ユニットのハンドルの軸が見えているこ とを確認してください。軸が見えていないときは、それ以上 回らなくなるまで下図の方向にハンドルを回してください。



メディアが正しくセットされていることを確認し、メディアの先端が紙管ホルダーに届くまで、
 【▼】ボタンを押し続けます。



#### !重要

2

メディアは、必ず【▼】ボタンを押して紙管ホルダー の位置まで送り出してください。手で引き出すと、巻 き取り時にメディアがねじれる原因となります。

紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、左側 の紙管ホルダーを移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、 均等になるように移動します。



3 右側の紙管ホルダーをメディア右端に合わせて移 動し、固定ネジを締めて固定します。



4 下図のようにメディアの左右の角をカットしま す。

カットすると、巻き取り開始時にメディア左右の角 が折れて巻き込まれ、均等に巻き取れなくなる不具 合を防げます。







以降の手順は、装着しているメディアユニットの種 類によって異なります。 標準メディアユニットのとき:手順6へ進みます。 重量標準メディアユニット(オプション)のとき: 手順7へ進みます。



図の A の部分が完全に入り込むまで押しつけて、 固定ネジを締めます。



### !重要

A の部分が隠れたら、それ以上は押し込まないでください。押し込みすぎると、正しく巻き取れないことがあります。

続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧くださ い。

外巻きで巻き取るとき ∠☞「外巻きでの巻き取り方」 63 ページ

内巻きで巻き取るとき *△*ア「内巻きでの巻き取り方」 69 ページ 7 紙管ホルダーを両手でしっかりと紙管に押し込み、固定ネジを閉めます。続いて図のAの部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。



### !重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないで ください。押し込みすぎると、紙管ホルダーが破損す るおそれがあります。ハンドルが回らなくなるまで回 しても A の部分が隠れないときは、ハンドルを巻き戻 します。続いて、左側の紙管ホルダー固定ネジを緩め て紙管を取り付け直してください。

続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧ください。 外巻きで巻き取るとき ∠☞「外巻きでの巻き取り方」63 ページ

内巻きで巻き取るとき ∠雺「内巻きでの巻き取り方」69 ページ

外巻きでの巻き取り方

紙テープを長さ約 60cm にカットして、メディア の中央に市販の接着用テープで貼り付けます。



「二」ボタンを押し続けます。	
3 紙テープを紙管の表側から裏側に回して、市販の 接着用テープで貼り付けます。	
<image/> <section-header></section-header>	The set of the set

2 紙テープの先端がパイプの中央に来るまで、【▲】 4 Auto スイッチを (↓ にセットします。 ボタンを押し続けます。



6 メディアの両端が紙管まで届き 1~2 周巻き取ら れるまで、【▼】ボタンを押し続けます。



左右のテンショナーメディアガイドをメディアの 左右端に軽く当たる程度に寄せます。 7



8 ターポリン装着時は、テンショナーの両端にカウンターウェイトを3個ずつ取り付けます。





紙テープがないとき

1 メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りなが ら、市販のテープで巻き取り紙管に貼り付けま す。



▶重要 メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付 けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取 り時にメディアが蛇行する原因となります。

操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取 り紙管1周分程度メディアを送り出します。





Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチ

3

5 テンショナーがメディアに軽く触れるまで倒しま す。



6 メディアが歪みなく取り付けられたか確認しま す。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張り が異なっていると、正しく巻き取れません。どちら かがたるんでいるときは、手順1からやり直してく ださい。







7 メディアが 1~2 周巻き取られるまで、【▼】ボ タンを押し続けます。



8 左右のテンショナーメディアガイドをメディアの 左右端に軽く当たる程度に寄せます。



9 ターポリン装着時は、テンショナーの両端にカウ ンターウェイトを3個ずつ取り付けます。





# 内巻きでの巻き取り方



2 紙テープの先端がパイプの中央に来るまで、【▲】 ボタンを押し続けます。



3 紙テープを紙管の裏側から表側に回して、市販の 接着用テープで貼り付けます。



# !重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。





### !重要

• 必ず、左右3個ずつ取り付けてください。片側のみや左右 で個数が異なると、正しく巻き取れません。



トヘッドがこすれる原因となります。 取り外すときは、取り付け時と同様にカウンターウェイト を広げて取り外してください。

- 紙テープがないとき メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りなが 1 ら、市販のテープで巻き取り紙管に貼り付けま す。 !重要 メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付 けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取 り時にメディアが蛇行する原因となります。 Δ 2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取 り紙管1周分程度メディアを送り出します。 ▲ < | OK | 7
  - 3 Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチ を ここ 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻 き取らせます。






6 メディアが歪みなく取り付けられたか確認しま す。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張り が異なっていると、正しく巻き取れません。どちら かがたるんでいるときは、手順1からやり直してく ださい。





7 メディアの両端が紙管まで届き 1~2 周巻き取られるまで、【▼】ボタンを押し続けます。



8 左右のテンショナーメディアガイドをメディアの 左右端に軽く当たる程度に寄せます。





### !重要

• 必ず、左右3個ずつ取り付けてください。片側のみや左右 で個数が異なると、正しく巻き取れません。



# 巻き取ったメディアの取り外し

を広げて取り外してください。

装着している自動巻取りユニットが、標準装備のものか オプションの重量メディア対応のものかによって、メディ アの取り外し方が異なります。

標準自動巻取りユニット装着時は、次項をご覧ください。 重量自動巻取りユニット装着時 ∠☞「重量自動巻取りユ ニット装着時(オプション)」75 ページ

### 標準自動巻取りユニット装着時

巻き取り終わったメディアの取り外し方を説明します。

(1)



75



巻き取ったメディアを支えるために、リフターを メディアと自動巻取りユニットの間に入れ高さを 調整します。



3 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホ ルダーを引き抜きます。



4 右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホ ルダーを引き抜きます。



# 印刷前の確認

印刷品質を維持するために日常、印刷業務をスタートす るに当たり、以下の点検を行うことをお勧めします。

インク残量の確認

印刷途中でインクが限界値以下になったときは、対象の インクカートリッジを交換すれば印刷を続行できます。 ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色 味が異なって見えることがあります。あらかじめ、大量 に印刷することがわかっているときは事前に残量が残り 少ないインクカートリッジを新品に交換しておくことを お勧めします。取り出したインクカートリッジは再装着 して使用できます。

インク残量は画面のアイコンで確認できます。 <br/>
二字 「画<br/>
面の見方」18 ページ

インクカートリッジの交換 △3 「交換方法」109 ページ

#### 特色インクのかくはん

特色インクは 24 時間に 1 度、取り出して振る必要があ ります。前回の取り出しから 24 時間後にパネルメッ セージでお知らせしますが、印刷業務スタート前に取り 出して振ることをお勧めします。 振り方 ∠3 「かくはんの方法」 109 ページ

• チェックパターン印刷

チェックパターン印刷を行うと、ノズルの目詰まりを チェックができます。

チェックパターンにかすれや欠けがあるときは、ヘッド クリーニングを行ってください。

チェックパターンの印刷 ∠☞「チェックパターンの印刷 方法」119 ページ

ヘッドクリーニング *△*ア「ヘッドクリーニング」120 ページ

# 使用するメディアの設定を 保存する

### 基本の設定フロー

新しいメディアを使用するときは、メディアの特性に合わせて事前にメディア設定を行います。メディア設定では、以下の設定が行えます。

- 設定名の登録
- プラテンギャップ設定
- 自動メディア調整
- •メディア調整
- ヒーター/乾燥設定
- •高度な設定(吸着力、メディアテンションなど)

通常は、以下のフローで設定を行います。ただし、メディ アによっては、②で[メディア調整]の手動設定を行っ たり、[高度な設定]の変更が必要になったりすることが あります。詳細は以下をご覧ください。 対象メディア 29 「主なメディアの推奨設定」162 ページ 高度な設定の内容 29 「メディア設定変更」134 ページ

### ①設定名の登録



②自動メディア調整 一度の操作で[メディア送り調整]と[ギャップ調整]を自動で調整できます。



#### ③ヒーター/乾燥設定

メディアに適した温度に設定してください。

メディア設定を保存した後で印刷条件を変更したときは、 メディア設定を再設定してください。再設定は、[メディ ア調整]で個別に [メディア送り調整]または [ギャッ プ調整]のどちらかを行うだけなので短時間で済みます。 詳細は、以下をご覧ください。 ∠3 「メディア調整」79ページ

# 設定を行うときのご注意

- カールやしわ、波打ち、折れ、曲がりが見られるメディアを使用すると、正しく調整できないことがあります。 カールやしわ、波打ち、折れ曲がった部分をカットして取り除き、印刷する直前にセットしてください。 メディアのカット方法 CF 「メディアのカット」58 ページ
- 同じメディア種類でも、メディアの幅が異なるときは同じメディア設定は使えません。メディア幅ごとにメディア設定を保存してください。
- 同じメディア種類でもロットが異なるものを使用すると
   きは、再びメディア設定を行うことをお勧めします。
- SC-S70650、SC-S50650をお使いのときは、メディアを 一度送ってから戻した部分は調整に使用しないでください。送り戻ししたメディアは、ローラーの跡が付くなど しており、正しく調整できないことがあります。

### 設定方法(通常時)

本機には、30 個までメディア設定を保存できます。メディ ア設定を保存する手順は、以下の通りです。

### 参考

本機に保存したメディア設定は、LFP リモートパネル 2 で設 定内容を変更することができます。 詳細は、LFP リモートパネル 2 のヘルプをご覧ください。

#### 以下の設定で使用するボタン



### メディア設定の保存先の指定

印刷可能状態であることを確認し、【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

2 [メディア管理] を選択し、【OK】ボタンを押し ます。

3 【▼】/【▲】ボタンを押して【メディア設定変 更】を選択し、【OK】ボタンを押します。

【▼】/【▲】ボタンを押して設定を保存するメ ディア番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定 内容が上書きされます。

### 設定名の登録

保存するメディア設定に名前を付けられます。区別しや すい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。

1 [設定名の登録]を選択し、【OK】ボタンを押し ます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押すと、英数字・記号が 順次表示されます。目的の英数字・記号が表示されたら【▶】ボタンを押して次の入力エリアに カーソルを移動させます。

間違えて入力したときは【◀】ボタンを押すと、1 つ前の文字が消去され再入力できます。



### 自動メディア調整

本メニューを実行すると、本機が自動でパターンを印刷 しながらセンサーで読み取り、[メディア送り調整] と [ギャップ調整]を連続して行います。 以下項目の設定値を変更するときは、本メニューを実行

する前に行ってください。

•[プラテンギャップ設定]

[高度な設定]

∠☞「メディア設定変更」134 ページ

#### !重要

- ・以下の場合は、[自動メディア調整]が実行できないこと があります。対処を行って再度実行してください。
  - 直射日光が当たるなど外乱光を受けているとき。
     遮光してください。
  - ノズルが目詰まりしているとき。
     [ヘッドクリーニング]を行い、目詰まりを解消してください。
- ・以下の場合は、[自動メディア調整]が行えません。[メ ディア調整]で項目ごとに手動メニューを実行してください。
- 透明や色の付いたメディアをセットしているとき。
- [プラテンギャップ設定]を [2.5] に設定したとき。
- [自動メディア調整] を行っても、バンディングや粒状感 が見られるとき。
- ∠☞「メディア調整」79 ページ

パターンの印刷に使用する最大メディア長の目安は、以 下の通りです。メディア使用量は、お使いの機種や装着 しているメディアユニットにより異なります。

#### SC-S70650、SC-S50650

標準メディアユニット装着時	約 987mm
重量メディアユニット装着時	約 1116mm

#### SC-S30650

標準メディアユニット装着時	約 1061mm
重量メディアユニット装着時	約 1190mm

### 設定手順



使用状態が異なると、調整の結果も異なります。

自動巻取りユニットを使用するとき メディアを本機にセットして、自動巻取りユニット に取り付けてください。 △ア「メディアのセットと交換」29ページ △ア「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

自動巻取りユニットを使用しないとき メディアをアフターヒーターの上側のラベルを超え るまで引き出します。 ∠ア「メディアのセットと交換」29ページ



パターンの印刷と調整が自動で行われます。 操作パネルの画面に[印刷可能]と表示されたら調 整は終了です。

### ヒーター/乾燥設定

各ヒーターの温度設定やオプションの外付け乾燥ファン ユニット(SC-S50650 は標準)の ON/OFF などの設定が できます。現在のヒーターの状態は、操作パネルの画面 で確認できます。 ∠37「画面の見方」18 ページ

#### 設定手順



【▼】/【▲】ボタンを押して[ヒーター/乾燥 設定]を選択し、【OK】ボタンを押します。

【▼】/【▲】ボタンを押して設定を変更する項 目を選択し、【OK】ボタンを押します。

設定値を変更します。

#### [ヒーター温度設定] 選択時

プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒー ターそれぞれに対して温度設定ができます。

#### (参考)

- ヒーター温度の設定値の目安は、以下の通りです。
- メディアに付属のマニュアルに推奨温度が記載されているときは、それに従ってください。
- 印刷がにじんで汚れたり、インクがだまになったり するときは、ヒーターの温度を上げます。ただし、 温度を高くしすぎると、メディアが縮んでしわが 寄ったり、変質したりします。
- 室温などにより、設定したヒーター温度になるまで に時間がかかることがあります。
- 【▶】/【◀】ボタンを押してヒーターの種類を 選択します。表示の左からプリヒーター、プラ テンヒーター、アフターヒーターです。
- ② 目的のヒーターを選択後、【▼】/【▲】ボタン を押すと、温度が変わります。
- ③ 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

### [乾燥ファン設定] 選択時

### (参考)

- 本メニューはオプションの外付け乾燥ファンユニット(SC-S50650は標準)を装着しているときのみ表示されます。
- メーカー設定値は[ON]に設定されており、印刷が 始まると自動的に乾燥ファンが稼動します。
- 【▼】/【▲】ボタンを押して[ON] または [OFF] を選択します。
- 【OK】ボタンを押します。
- 4 【3】ボタンを2回押すと、メディア設定の画面 に戻ります。

### メディア調整

本メニューは、[自動メディア調整]ができないメディア の調整やメディア設定を保存後に印刷条件を変更したた めに再設定するときに実行します。本メニューでは、[メ ディア送り調整] と[ギャップ調整]を個別に行います。

#### [自動メディア調整] ができないメディアの調整

[自動メディア調整]ができないメディアの調整や[自動メディア調整]を行っても印刷結果にバンディングや 粒状感が見られるときは、[メディア送り調整]-[手動] と[ギャップ調整]-[標準(手動)]を行ってください。

### メディア設定を保存後に印刷条件を変更したとき

メディア設定を保存後に、以下を変更したときは、本メ ニューで [メディア送り調整] - [自動] を行ってくださ い。

- [高度な設定] で [メディアテンション]、[吸着力] の 設定を変更したとき。
- カウンターウェイトをテンショナーに着脱したとき。
- 標準メディアユニットと重量メディアユニット(オプ ション)を付け替えたとき。
- 使用する加圧ローラーを変更したとき(SC-S70650、 SC-S50650)。

[プラテンギャップ設定]を変更したときは、本メニュー で[ギャップ調整] - [標準(自動)]を行ってください。 ただし、設定値を[2.5]に設定したときは自動調整がで きませんので、[標準(手動)]を行います。 以下項目の設定値の変更は、本メニューを実行する前に

- •[プラテンギャップ設定]
- [高度な設定]

行ってください。

∠⑦「メディア設定変更」134ページ

### メディア送り調整

印刷結果にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡 ムラ、スジ)が発生するときに行います。 本メニューには[自動]と[手動]があります。

### 自動

本機が調整パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、 自動的に調整を行います。

### 手動

印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を設定します。自動を行っても粒状感やズレが解消 できないときに行ってください。

パターンの印刷に使用する最大メディア長の目安は、以 下の通りです。メディア使用量は、お使いの機種や装着 しているメディアユニットにより異なります。

### SC-S70650、SC-S50650

	[自動]	[手動]
標準メディアユニット装着時	約 987mm	約 1170mm
重量メディアユニット装着時	約 1116mm	約 1170mm

#### SC-S30650

	[自動]	[手動]
標準メディアユニット装着時	約 1061mm	約 1170mm
重量メディアユニット装着時	約 1190mm	約 1170mm

調整を行うときは、以下の注意点を守ってください。 ∠37「設定を行うときのご注意」77ページ

### 設定手順



印刷可能状態であることを確認し、実際に使用す る状態に合わせてメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを 自動巻取りユニットに取り付けてください。 ∠3 「メディアのセットと交換」29 ページ

△ 「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

[Menu] ボタンを押し、設定メニューを表示し ます。

- 3 【▼】/【▲】ボタンを押して【メディア管理】 を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 4 【▼】/【▲】ボタンを押して〔メディア設定変 更〕を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 5 【▼】/【▲】ボタンを押して調整を行うメディ ア番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定 内容が上書きされます。

- 6 【▼】/【▲】ボタンを押して【メディア調整】 を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 7 【▼】/【▲】ボタンを押して[メディア送り調 整]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 8 【▼】/【▲】ボタンを押して以下のどちらかを 選択し、【OK】ボタンを押します。

### [自動]

パターンの印刷と調整が自動で行われます。 操作パネルの画面に [印刷可能] と表示されたら調 整は終了です。

#### [手動]

規で測ります。

調整パターン選択画面が表示されます。印刷する調 整パターンを選択して【OK】ボタンを2回押して 手順9に進みます。パターンの長さが長いほど、精 密に補正できます。

印刷された調整パターンの+記号の間の距離を定

10 操作パネルの画面に調整パターンの長さが表示されています。

【▶】/【◀】 ボタンを押して数字を手順9で測った値に変更して、【OK】ボタンを押します。 設定が終了すると[印刷可能]状態に戻ります。

### ギャップ調整

本メニューでは、以下の3種類の調整が行えます。

### 標準(自動)

本機が調整パターンを印刷しながらセンサーで読み取り、 自動的に調整を行います。

### 標準(手動)

印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調 整値を設定します。標準(自動)を行っても粒状感やズ レが解消できないときに行ってください。

### ブロックパターン

印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を設定します。標準(手動)を行っても印刷結果に 粒状感が見られるときに行います。 手動(Uni-D)、手動(Bi-D)を順に行ってください。 SC-S70650、SC-S50650は、続けて手動(ヘッド間調整) も行ってください。

それぞれの調整を行うときは、以下の注意点を守ってください。 ∠3 「設定を行うときのご注意」77ページ

### 設定手順

印刷可能状態であることを確認し、実際に使用す る状態に合わせてメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを 自動巻取りユニットに取り付けてください。 ∠☞「メディアのセットと交換」29ページ ∠☞「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

【Menu】ボタンを押し、設定メニューを表示し ます。

【▼】/【▲】ボタンを押して[メディア管理] を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 4 【▼】/【▲】ボタンを押して【メディア設定変 更】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 5 【▼】/【▲】ボタンを押して調整を行うメディ ア番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定 内容が上書きされます。

- 6 【▼】/【▲】ボタンを押して【メディア調整】 を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 7 【▼】/【▲】ボタンを押して[ギャップ調整] を選択し、【OK】ボタンを押します。

[RIP 設定]を選択しているときは、使用するメディ アの厚さを入力してから【OK】ボタンを押してく ださい。

8 【▼】/【▲】ボタンを押して以下のどれかを選 択し、【OK】ボタンを押します。

### [標準(自動)]

パターンの印刷と調整が自動で行われます。 操作パネルの画面に [印刷可能] と表示されたら調 整は終了です。

【標準(手動)】 【OK】ボタンを押して手順9に進みます。

【ブロックパターン】 調整メニュー選択画面が表示されます。任意のメ ニューを選択して【OK】ボタンを2回押して手順 9に進みます。

9 印刷された調整パターンを確認します。 以下の場合は、「2」を選びます。



### メディア送り調整

以下の設定で使用するボタン





印刷の途中で【↓】ボタンを押します。

現在の調整値が表示されます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して値を変更します。 メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディン グ(濃い色のスジ)が発生しますので+方向に調整 します。

逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディ ング(白または薄い色のスジ)が発生しますので-方向に調整します。

3 印刷結果を確認し、完全に改善されないと感じる ときは、さらに【▼】/【▲】ボタンを押して値 を変更します。

現在選択しているメディア設定の[メディア送り調 整]の設定値が更新されます。 4 【OK】ボタンを押すとメニューが終了します。

#### 参考

設定を変更すると、操作パネルの画面に下図のアイコ ンが表示されます。アイコンは、以下の操作を行うと 消えます。

- [自動メディア調整]や[メディア送り調整]をやり 直す。
- [設定初期化]を実行する。



# 印刷可能領域

### SC-S70650、SC-S50650の場合

メディアのセット時に、加圧ローラー(弱)と加圧ローラー(強)のどちらを使用しているかにより印刷可能領域が異なります。

### 加圧ローラー(弱)使用時(通常の印刷時)

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。Aは、メディアに加圧ローラーを正しくセットしたときの両端の加圧ローラーを示しています。

#### 本機が認識するメディア左端・右端は、メディア幅検出の設定により以下の通り異なります。

[OFF] : A から 5mm 外側をメディア端と認識します。 加圧ローラーのセット位置が正しくないと、メディアの左右にはみ出して印刷されることがあります。 メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。 \_☞ 「加圧ローラーとメディアのセット位置(SC-S70650、SC-S50650 の場合)」30ページ



### ●~④ は、四辺の余白を示しています。詳細は、下表の通りです。

余白位置	説明	設定有効範囲
❶ 後端 <sup>∗1</sup>	RIP で設定可能です。メディアの搬送精度を保つため、設定値が 5mm 以下のときは 5mm に、設定値が 17mm 以上のときは 17mm になります。	5~17mm

余白位置	説明	設定有効範囲
② 先端 <sup>*1</sup>	RIP で設定可能です。メディアセット時は、メディアを引き出した長さにより異なります。 連続印刷時は、RIP で設定した余白が付加されますが、メディアの搬送精度を保つため、設 定値が 5mm 以下のときは 5mm になります。	5 mm以上
❸ 左端 <sup>*2、*3</sup>	本機の設定メニューのサイドマージン(左)で設定した値です。メーカー設定値は 5mm で す。	3~25mm
❹ 右端* <sup>2、*3</sup>	本機の設定メニューの印刷開始位置とサイドマージン(右)で設定した値の合計値です。 メーカー設定値は印刷開始位置が 0mm、サイドマージン(右)が 5mm です。	3~825mm

- \*1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- \*2 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- \*3 余白を設定する際は、以下の点を守ってください。
  - •メディア押さえ板を取り付けるときは、余白を 10mm 以上に設定してください。それ以下に設定すると、メディ ア押さえ板の上に印刷されることがあります。
  - •印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。

### 加圧ローラー(強)使用時(透明または乳白色のフィルムセット時、レイヤー 印刷時)

印刷可能領域は、加圧ローラーのセット位置から設定しているマージンを除いた領域(下図のグレーの部分)です。イラ スト内の矢印は、排出方向を示しています。A は、加圧ローラー(強)の位置を示しています。



### ●~④ は、四辺の余白を示しています。詳細は、下表の通りです。

余白位置	説明	設定有効範囲
<b>●</b> 後端 <sup>*1</sup>	RIP で設定可能です。メディアの搬送精度を保つため、設定値が 5mm 以下のときは 5mm に、設定値が 17mm 以上のときは 17mm になります。	5~17mm
② 先端*1	RIP で設定可能です。メディアセット時は、メディアを引き出した長さにより異なります。 連続印刷時は、RIP で設定した余白が付加されますが、メディアの搬送精度を保つため、設 定値が 5mm 以下のときは 5mm になります。	5 mm以上
❸ 左端 <sup>*2、*3</sup>	本機の設定メニューのサイドマージン(左)で設定した値です。メーカー設定値は 5mm で す。	3~25mm
❹ 右端* <sup>2、*3</sup>	本機の設定メニューの印刷開始位置とサイドマージン(右)で設定した値の合計値です。 メーカー設定値は印刷開始位置が 0mm、サイドマージン(右)が 5mm です。	3~825mm

\*1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

\*2 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

\*3 余白を設定する際は、以下の点を守ってください。

•メディア幅検出の設定に関わらず、余白の起点は A の内側(破線の位置)になります。

•印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。

### SC-S30650 の場合

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。

### 本機が認識するメディア左端・右端は、メディア幅検出の設定により以下の通り異なります。

- [ON] : セットしたメディアの左右端を本機が自動検出します。
   メディア押さえ板を取り付けたときは、メディアの左右両端から 5mm 内側をメディア端と認識します。
   メディア押さえ板を正しく装着していないと、メディア端が正しく検出されません。
   ☆ 「標準メディア搬送ユニット装着時」45 ページ
   ☆ 「重量メディア搬送ユニット装着時(オプション)」51 ページ
- [OFF] アフターヒーター上のラベル(下図)の最も長い目盛りをメディア右端基準位置と認識します。メディ ア左端は、セットしているメディアの幅にかかわらず右端基準位置から 1626mm(64 インチ)の位置と 認識します。





\* メディア幅検出の設定が [OFF] のときは、セットしているメディアの幅にかかわらず 1626mm (64 インチ)

### ●~④ は、四辺の余白を示しています。詳細は、下表の通りです。

余白位置	説明	設定有効範囲
<b>①</b> 後端*1	RIP で設定可能です。メディアの搬送精度を保つため、設定値が 5mm 以下のときは 5mm に、設定値が 17mm 以上のときは 17mm になります。	5~17mm

余白位置	説明	設定有効範囲
② 先端 <sup>*1</sup>	RIP で設定可能です。メディアセット時は、メディアを引き出した長さにより異なります。 連続印刷時は、RIP で設定した余白が付加されますが、メディアの搬送精度を保つため、設 定値が 5mm 以下のときは 5mm になります。	5 mm以上
❸ 左端 <sup>*2、*3</sup>	本機の設定メニューのサイドマージン(左)で設定した値です。メーカー設定値は 5mm で す。	3~25mm
❹ 右端* <sup>2、*3</sup>	本機の設定メニューの印刷開始位置とサイドマージン(右)で設定した値の合計値です。 メーカー設定値は印刷開始位置が 0mm、サイドマージン(右)が 5mm です。	3~825mm

- \*1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- \*2 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- \*3 余白を設定する際は、以下の点を守ってください。
  - •メディア押さえ板を取り付けるときは、余白を 10mm 以上に設定してください。それ以下に設定すると、メディ ア押さえ板の上に印刷されることがあります。
  - •印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。

### 参考

メディア幅検出を [OFF] に設定しているときは、以下の点を守らないと、メディアの左右にはみ出して印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

- •印刷データ幅がセットしたメディア幅を超えないようにしてください。
- ・メディアを右端基準位置より左側にセットするときは、〔印刷開始位置〕の設定をメディアをセットした位置に合わせてください。
   △ア「プリンター設定メニュー」138 ページ

メンテナンス

# メンテナンスの種類と実施時期

良好な印刷品質を保つために、適切な時期に正しいメンテナンス作業を行うことが必要です。適切なメンテナンスを怠る と製品が早期に寿命にいたる原因となります。以降をお読みになり、適切にメンテナンスを行ってください。 本書には、メンテナンスをいつ行ったのかを一目で管理できるようにチェックシートを掲載しています。チェックシート のページを印刷して、メンテナンスの管理にお役立てください。

∠⑦「清掃チェックシート」108 ページ
 ∠⑦「消耗品交換チェックシート」118 ページ

### 清掃

下表の頻度で清掃を行ってください。清掃を怠って、インクが固着したり毛羽ゴミやホコリが付着したまま使い続ける と、以下のようなトラブルが発生することがあります。

• プリントヘッドのノズル面に付着した毛羽ゴミをつたって、インクのボタ落ちが生じる。



- •印刷中のノズルの目詰まり。
- ヘッドクリーニングを繰り返してもノズルの目詰まりが解消されない。
- プリントヘッドの故障。

実施時期	清掃箇所
毎日(業務終了時) 時間を置くと、インクが固着して取れにくく なります。	<ul> <li>・プリントヘッド周辺</li> <li>∠☞「プリントヘッド周辺の清掃(毎日)」94ページ</li> <li>・キャップ周辺(ワイパー(ゴム部分)、キャップ、ワイパークリーナー)</li> </ul>
	Iist=PLD67cTLxxk9M3XJ7ytYW5QkJDXITlbJ0j SC-S506502 <sup>®</sup> https://www.youtube.com/playlist? Iist=PLD67cTLxxk90WBIEifb1tAruevhTXf9 SC-S306502 <sup>®</sup> https://www.youtube.com/playlist?
	IIST=PLD67C1LXXK9P6FW3yIGgUd98QUDyAFEGr

実施時期	清掃箇所
2 週間に1度	ワイパー(全体)と装着部、ワイパーレール ♪ 「ワイパー(全体)と装着部の清掃(2週間に1度)」101ページ ♪ 「ワイパーレールの清掃(2週間に1度)」103ページ
	手順は動画でもご覧いただけます。 SC-S70650/プhttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9M3XJ7ytYW5QkJDXITlbJOj SC-S50650/プhttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9OWBIEifb1tAruevhTXf9 SC-S30650/プhttps://www.youtube.com/playlist? list=PLD67cTLxxk9P6FW3ylGgUd98QUDyAFEGr
1週間から1ヵ月に1度(汚れ具合による)	内部(プラテンヒーター、加圧ローラー、メディア押さえ板、左側メンテナンスカ バー内部) ⊿☞「内部の清掃(1 週間から 1 ヵ月に 1 度)」103 ページ
インクの固着、毛羽ゴミやホコリなどが付着 して汚れているとき	フラッシング用吸収材 _③「フラッシング用吸収材の清掃(汚れているとき)」106 ページ

# 消耗品の交換

実施時期	交換箇所
操作パネルの画面にインクの残量警告が表示 されたら、できるだけ早く	インクカートリッジ ⊿ኇ「交換方法」109 ページ
操作パネルの画面に準備や交換を促すメッ セージが表示されたとき	廃インクボトル ∠☞「廃インク処理」110 ページ
3 ヵ月に 1 度	<ul> <li>ワイパー、ワイパークリーナー</li> <li>ワイパーとワイパークリーナーは、必ず同時に交換してください。</li> <li>ワイパークリーナー裏面の吸収材にインクが固着しているとき、ワイパー部分が 磨耗・劣化しているときも交換してください。</li> <li>ピア「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111ページ</li> <li>フラッシング用吸収材</li> <li>清掃しても毛羽ゴミやホコリが取り除けないとき、メディアがインクで汚れると きも交換してください。</li> <li>ピア「フラッシング用吸収材の交換」113ページ</li> </ul>
変形したり破損したりしたとき	メディア押さえ板 ∠☞「メディア押さえ板の交換」115 ページ

# その他のメンテナンス

実施時期	種類
操作パネルの画面に以下のメッセージが表示 されたとき(24 時間に1度表示されます)	インクカートリッジのかくはん(特色) ∠☞「かくはんの方法」109 ページ
(MS/)WH カートリッジを取り出して振っ てください。	
3 週間に 1 度(メッセージは表示されません)	インクカートリッジのかくはん(特色以外) _☞「かくはんの方法」109 ページ
<ul> <li>ノズルが目詰まりしているか確認したいとき</li> </ul>	チェックパターンを印刷してノズル抜けしている色を確認します。 ∠͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡
<ul> <li>目詰まりしている色を確認したいとき</li> <li>水平方向のスジ/濃淡ムラ (バンディング) が見られるとき</li> </ul>	ノズル抜けしている色がないときは、「困ったときは」の「水平方向のスジ/濃淡ムラ (バンディング)」の対処をご覧ください。 ∠☞「水平方向のスジ/濃淡ムラ(バンディング)」152 ページ
ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まり が確認されたとき	ヘッドクリーニング ∠͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡ːː//////
ヘッドクリーニングやプリントヘッド周辺、 キャップ周辺が汚れているときの清掃を行っ てもノズルの目詰まりが解消されないとき	ヘッド洗浄 ∠중「ヘッド洗浄」121 ページ
印刷結果に濃淡ムラ(濃さが不均一な部分) が見られるとき	インクリフレッシュ ☞「インクリフレッシュ」122 ページ
本機を長期間使用しない(電源を切る)とき	事前メンテナンス(長期保管前メンテナンス実施) 使用しない期間の目安はお使いの製品によって異なります。 ∠☞「長期間保管するとき(事前メンテナンス)」123 ページ
<ul> <li>特色インクを使用する印刷を一定期間以上 行わないとき</li> <li>特色インクを使用する印刷を再開するとき</li> </ul>	カラーモード切り替え(SC-S70650 のみ) 特色インクを使用する印刷を行わない期間の目安はお使いのカラーモードによって 異なります。 ⊿☞「カラーモード切り替え(SC-S70650 のみ)」124 ページ
操作パネルの画面に以下のメッセージが表示 されたとき	キャリッジ副軸用グリスの注油 ∠☞「キャリッジ副軸用グリスの注油」125 ページ
注油時期です。マニュアルを参照し専用グリ スを注油してください	

# 準備と留意点

### 準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

### 保護メガネ(市販品)

インクやインククリーナーが目に入らないように保護し ます。

### マスク(市販品)

インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保 護します。

### メンテナンスキット(本製品付属)

清掃全般で使用します。 以下の部品がセットで入っています。





0	手袋	2枚
2	クリーニングワイパー	1個
3	クリーニング棒	50本
4	クリーンルーム用ワイパー	100枚
6	ピンセット	1個
6	ワイパー*	2 個または 1 個
0	ワイパークリーナー*	
8	フラッシング用吸収材*	

\* SC-S70650・SC-S50650 は各アイテム 2 個、 SC-S30650 は各 アイテム 1 個付属しています。

### インククリーナー(本製品付属)

インク汚れを拭き取るときに使います。 使い方 <br />
/>
使い方 」 93 ページ

### 金属トレイ(本製品付属)



清掃用具や取り外した消耗品、付属の容器に移したイン ククリーナーを置くのに使います。

#### !重要

使用済みのクリーニング棒などを本機の上に直接置くとイン ククリーナーの性質上、変形のおそれがあります。

### 柔らかい布、ブラシ(市販品)

本機内部の清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静 電気が発生しにくいものをお勧めします。

### 注油キット(本製品付属)

キャリッジ副軸にグリスを塗布する際に使用します。 以下の部品がセットで入っています。



0	手袋	10枚
2	グリス注油ツール	1個
3	クリーニング棒	5本
4	パッド	5 個
5	キャリッジ副軸用グリス (以降グリス)	1個

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。 ∠3 「消耗品とオプション」158 ページ

### 作業時のご注意

メンテナンスは、以下の注意点を守って作業を行ってく ださい。また、インクカートリッジ、クリーニングカー トリッジ、インククリーナー、キャリッジ副軸用グリス、 廃インクを取り扱う前には、製品安全データシートをお 読みください。 製品安全データシートは、エプソンのホームページ (http://www.epson.jp)からダウンロードできます。

### <u>∧</u>注意

- インクカートリッジ、クリーニングカートリッジ、インク クリーナー、キャリッジ副軸用グリス、廃インクは、子ど もの手の届かない場所に保管してください。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マス クなどを着用してください。
   インクや廃インク、インククリーナー、キャリッジ副軸用 グリスが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以 下の処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相 談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管 に入ることがあり危険です。
- ・廃インクボトルの交換やインククリーナーを使った作業の 後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。
- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に 触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因 となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽ゴミの出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度 使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する 原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が 付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- ノズル面やキャップ、ワイパーなどに水やアルコールを 付着させないでください。インクと水、アルコールが混 ざると固まります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃 がしてください。

# プリントヘッドの移動

!重要

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってください。 プリントヘッドを手で移動すると故障の原因となります。

#### 以下の設定で使用するボタン



1 電源が入っていることを確認し、【 ☞ 】 ボタンを 押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して [ヘッドメンテナ ンス]を選択し、【OK】ボタンを押します。

#### (参考)

プリントヘッド移動後、10 分経過するとブザーが鳴ります (メーカー設定値)。【OK 】ボタンを押して清掃を継続して ください。更に 10 分経過すると、再びブザーが鳴ります。

① ご確認
メンテナンス作業開始から
10分経過しました。
作業終了後にクリーニングを
行ってください。
0K  閉じる

# インククリーナーの使い方

インククリーナーは、プリントヘッド周辺、キャップ周辺、フラッシング用吸収材などの清掃に限り使用してください。部品が傷つくため、他の部品にはインククリーナーを使わないでください。

プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠☞「作業時のご注意」92ページ



インククリーナーに付属の容器を金属トレイに載 せてインククリーナーを約 10ml 注ぎます。





クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが 垂れないように注意してください。



クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを染 み込ませるときも、容器に注いだインククリーナー を使用してください。

### !重要

- 一度清掃に使ったインククリーナーを使わないでく ださい。汚れたインククリーナーを使うと、かえっ て汚れが付着します。
- ・使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーは、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。
   ∠了「使用済み消耗品の処分」117ページ
- インククリーナーは、直射日光を避けて常温で保管 してください。
- インククリーナー使用後は、必ず内蓋をしてから外 蓋を閉めてください。確実に蓋をしないとインクク リーナーが漏れたり、揮発したりするおそれがあり ます。

# 清掃

# プリントヘッド周辺の清掃(毎 日)

プリントヘッドの周囲を確認し、インクの固まりが付い ていたり毛羽ゴミ、ホコリが付いているときは、以下の 手順で清掃をしてください。

SC-S70650、SC-S50650 はプリントヘッドが 2 つありま す。両方のプリントヘッドを清掃してください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠3 「作業時のご注意」92 ページ

1 プリントヘッドをメンテナンス位置まで移動させ ます。

∠중「プリントヘッドの移動」93ページ

2 プリントヘッドが左側に移動したことを確認し て、左側のメンテナンスカバーを開けます。



3 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使いください。

∠중「インククリーナーの使い方」93ページ

#### !重要

- クリーニング棒は、1手順ごとにインククリーナーで すすいでください。
- クリーニング棒でインクの固まりを取り除いたとき は、クリーンルーム用ワイパーで拭き取ってくださ い。

4 図の──部分の固着したインクや毛羽ゴミ、ホコ リを拭き取ります。	SC-S70650/SC-S50650 の左側のプリント ヘッド
FURE 下図の囲み部分は、触らないでください。印刷品質低 たの原因となります。	矢印で示した部分は、インクが固着しやすいので確 実に拭き取ってください。
SC-530050、SC-530050 の 右側のプリントヘッド	5 固着したインクを溶かすために、矢印で示した部 クにインククリーナーを塗ります。           11更更           インククリーナーを塗るときは、ノズル(図の)(※)部 分)を強く触らないでください。また、クリーニング 棒は往復させずに一方向に動かしてください。

- 6
  - インククリーナーを染み込ませたクリーンルーム 用ワイパー(新品)でヘラ部分の表面、裏面、側 面のホコリや汚れを拭き取ります。



クリーニングワイパーを奥側から手前側に 1 回動 7 かして、プリントヘッド表面のインク汚れなどを 拭き取ります。



### !重要



清掃前



### 清掃後

乾燥して固まったインクや毛羽ゴミ、ホコリがきれ いに取り除かれた状態。



固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリが残っていると きは、手順6~7を繰り返します。

#### !重要

プリントヘッド表面が乾燥した状態で汚れを拭き取る と、破損するおそれがあります。表面が乾燥したら、 手順5に戻ってインククリーナーを塗ってください。

8 クリーニングワイパーの汚れをよく拭き取り、直 射日光の当たらない場所で保管します。



左側のメンテナンスカバーを閉めます。

続いて、キャップ周辺の清掃を行ってください。

# キャップ周辺の清掃(毎日)

必ず、ワイパー(ゴム部分)を最初に清掃してください。 お使いの製品により、清掃部の数が下表のとおり異なり ます。

	SC-S70650 SC-S50650	SC-S30650
ワイパー	2個	1個
キャップ	10 個	4個
ワイパークリーナー	2個	1個

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠☞「作業時のご注意」92 ページ

### ワイパー(ゴム部分)の清掃(毎日)

2 週間に 1 度は、この作業に代わってワイパー(全体)と 装着部を清掃してください。 ∠☞「ワイパー(全体)と装着部の清掃(2 週間に 1 度)」

101 ページ

1

右側のメンテナンスカバーを開けます。





∠☞「インククリーナーの使い方」93ページ

3 ワイパーのゴム部分の表裏をクリーニング棒で拭き取ります。SC-S70650、SC-S50650は、もう一方のワイパーも同様に清掃してください。





### キャップの清掃(毎日)

SC-S70650、SC-S50650 は、両方のキャップを清掃してく ださい。

### !重要

ピンセットやクリーニング棒でキャップのフチや周囲を強く 押さえたり、内側に触れたりしないでください。部品が変形 して、正常にキャッピングできなくなるおそれがあります。



クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませ ます。

∠☞「インククリーナーの使い方」93ページ

2 クリーニング棒を平らにして、全てのキャップの フチを拭き取ります。



3 クリーニング棒を縦にして、全てのキャップの外 周を拭き取ります。



### キャップ周辺の清掃(汚れていると き)

汚れの状態に応じて、以降の作業を行います。作業が終 了したら、ワイパークリーナーの清掃へ進んでください。 ∠☞「ワイパークリーナーの清掃(毎日)」100ページ



**ガイト部にインクが膜のように付いているとき** 固着したインクが膜のようになってクリーニング棒で取 りきれないときは、ピンセットで取り除きます。



キャップ内に毛羽ゴミ、ホコリが付いているとき

クリーニング棒の先端やピンセットで取り除いてください。



ワイパークリーナーの清掃(毎日)

1

操作パネルの【OK】ボタンを押して、ワイパー が奥側に移動することを確認します。

2 ワイパークリーナーを図のようにつまんで引き上 げます。



3 ワイパークリーナーを裏返して、毛羽ゴミやホコ リが付着していないか確認します。

付着していないときは、手順5へ進みます。

インクは付着していても問題ありませんが、写真の 囲み部周辺にインクが固着して膜が張ったように なっているときは新品への交換をお勧めします。 △ア「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111 ページ



4 ワイパークリーナーの裏面に付着した毛羽ゴミや ホコリをピンセットで取ります。



2週間に1度は、続いてワイパーレールを清掃します。

5

2週間に満たないときは、手順6に進みます。

∠중「ワイパーレールの清掃(2週間に1度)」103 ページ



取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込 みます。





SC-S70650、SC-S50650は、もう一方のワイパーク リーナーも同様に清掃します。

清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを 閉めて、【OK】ボタンを押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終 了します。 続けて印刷するときは、[ノズルチェック]を行ってくだ さい。 ∠중 「チェックパターンの印刷方法」 119 ページ 使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリー ンルーム用ワイパーの廃棄 29 「使用済み消耗品の処分」 117 ページ

# ワイパー(全体)と装着部の清 掃(2週間に1度)

ワイパー(ゴム部分)の清掃に代わって以下の清掃を行 います。

△ 「ワイパー(ゴム部分)の清掃(毎日)」 97 ページ

ワイパーの底面や装着部分にインクの固まりが付いたま ま使い続けると、インクの固着がキャップの周囲まで広 がり、ヘッドクリーニングを繰り返してもノズルの目詰 まりが解消できなくなります。



右側のメンテナンスカバーを開けます。



2 ワイパー装着部分をつまんだまま、左側に傾けて 取り外します。



クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを 3 染み込ませます。

∠중 「インククリーナーの使い方」 93 ページ

ワイパーのゴム部分の表裏をクリーンルーム用ワ クリーニング棒でワイパーの底面の固まったイン 4 6 イパーに押しつけて、インクの固まりや毛羽ゴ クを拭き取ります。 ミ、ホコリを拭き取ります。 7 クリーニング棒でワイパー取り付け部分の固まっ たインクを拭き取ります。 ワイパー部分が裂けたり、欠けたりしているとき は、新品への交換をお勧めします。 △ 「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111 ページ 8 清掃が終わったら、ワイパーを取り付け部に載せ て、パチッと音がするまで押し込みます。 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませ 5 ます。 ∠☞「インククリーナーの使い方」93ページ

> SC-S70650、SC-S50650 は手順 3 に戻り、もう一方 のワイパーも同様に清掃してください。

続いて、キャップの清掃に進みます。 ∠☞「キャップの清掃(毎日)」98 ページ

# ワイパーレールの清掃(2週間に1度)

ワイパークリーナーの清掃の手順4に続けて行います。 ∠☞「ワイパークリーナーの清掃(毎日)」100 ページ

ワイパーレールにインクが固着すると、ワイパーが動か なくなりプリントヘッドのノズルに付いたインクが拭き 取れません。その結果、ヘッドクリーニングを繰り返し てもノズルの目詰まりが解消できなくなります。

#### !重要

2週間に1度より頻繁に清掃を行うと、本機が故障するおそれがあります。

クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませ ます。

∠☞「インククリーナーの使い方」93ページ

2 ワイパーレールの天面と左右両方の側面に付着し たインクを拭き取ります。

天面





SC-S70650、SC-S50650 は、もう一方のワイパー レールも同様に清掃してください。

続いて、ワイパークリーナーの清掃の手順 6 を行います。 ∠͡プ「ワイパークリーナーの清掃(毎日)」100 ページ

# 内部の清掃(1週間から1ヵ月 に1度)

プラテンヒーター上や加圧ローラー、メディア押さえ板 は、毛羽ゴミやホコリ、インクの付着で汚れます。イン クが付いているとメディアが汚れます。また、左側のメ ンテナンスカバー内に毛羽ゴミやホコリがたまった状態 で放置すると、プリントヘッド周辺に付着するおそれが あります。

### <u>∧</u>注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意 してください。けがをするおそれがあります。

### !重要

内部の清掃には、インククリーナーを使用しないでください。 部品が傷つくおそれがあります。

1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認 してから電源プラグをコンセントから抜きます。

電源プラグを抜いたあと1分程放置します。



メディアセットレバーを上げます。

5 乾いた柔らかい布で加圧ローラーに付着している 汚れを拭き取ります。

### SC-S70650、SC-S50650の場合

ローラー部分を1つずつ回転させながら拭き取りま す。

### !重要

拭き取る際は、ローラー上部の軸(図のグレーの部分) に布が触れないようにしてください。布にグリスが付 きます。その布がローラーに触れると、ローラーがグ リスで汚れます。



### SC-S30650 の場合

加圧ローラーとプラテンの間と加圧ローラー上部 を、乾いた布で滑らせるように拭き取ります。

!重要

拭き取る際は、ローラーを強く押さえないでください。 強く押さえるとローラーが外れることがあります。



6 水に浸してよく絞った柔らかい布やブラシで、プ ラテンヒーターに付着したインクや毛羽ゴミ、ホ コリを拭き取ります。

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれ いに取り除いてください。





水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押 さえ板を拭きます。

### !重要

のり付きメディアを使用したときは、薄めた中性洗剤 を使用して拭き取ってください。裏面にのり付きメディ アののりが固着したまま使用し続けると、ヘッドこす れの原因になることがあります。

### スライド式のメディア押さえ板

通常は、本機から取り外さずに表面に付着した毛羽 ゴミやホコリを拭き取ります。

のり付きメディアを使用したときや、メディア押さ え板の表面にインクが付着したときは、取り外し て、表裏両面の汚れを拭き取ります。

汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてくだ さい。

メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方 *△*ア「メ ディア押さえ板の交換」115 ページ



### はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板を取り外して、表裏両面の汚れを 拭き取ります。



8 左側メンテナンスカバーを開けて、内部を掃除し ます。

水に浸してよく絞った柔らかい布やブラシで毛羽ゴ ミやホコリを拭き取ります。





清掃が終了したら、前面カバーと左側のメンテナ ンスカバーを閉めてください。

# フラッシング用吸収材の清掃(汚 れているとき)

フラッシング用吸収材の表面に毛羽ゴミやホコリが付着 していると、プリントヘッドに接触してノズルの目詰ま りを起こすことがあります。以下の手順で清掃を行って ください。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠☞「作業時のご注意」92 ページ



∠☞「プリントヘッドの移動」93ページ

2 プリントヘッドが左側に移動したことを確認し て、右側のメンテナンスカバーを開けます。



3 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませ ます。

クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使 いください。

\_중「インククリーナーの使い方」93ページ

フラッシング用吸収材の表面を掃除します。

毛羽ゴミやホコリをクリーニング棒の先端で取り除 きます。

### !重要

4

表面の金具を変形させないようにしてください。変形 すると、プリントヘッドを傷つけるおそれがあります。



インクが固まって毛羽ゴミやホコリが取れないとき は、新品への交換をお勧めします。 ∠☞「フラッシング用吸収材の交換」113 ページ

5 メンテナンスカバーを閉めて、【OK】ボタンを 2 回押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニュー が終了します。 使用済みのインククリーナーとクリーニング棒の廃 棄 ∠37「使用済み消耗品の処分」117ページ

# 自動巻取りユニット側面の清掃 (汚れているとき)

自動巻取りユニットのテンショナーと側面の板金がこす れて、白い粉がふいたような汚れが付くことがあります。 そのまま放っておくと、テンショナーの動作不良につな がり、きれいに巻き取ることができなくなるおそれがあ ります。汚れが見られるときは、清掃を行ってください。



2

下図の破線部に付着した白い粉を乾いた柔らかい 布で拭き取ります。



# 清掃チェックシート

このページを印刷して、メンテナンスの管理にお使いください。



実施時期	清掃箇所	実施日				
毎日(業務終了時)	● プリントヘッド周辺 ◎ プリントヘッド周辺	/	/	/	/	/
時間を置くと、インクが固着して取れにくく	23   フリントヘット周辺の清掃(毎 日)」94ページ	/	/	/	/	/
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
	<b>⑤~① キ</b> ャップ周辺 ∠͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡ː (毎日)] 97 ページ	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
2週間に1度	週間に1度   ③ ワイパーレール   △ ⑦ 「ワイパーレールの清掃(2週間に1度)」103ページ	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
	<ul> <li>● ワイパー全体</li> <li>△ ⑦ 「ワイパー(全体)と装着部の清掃(2週間に1度)」101ページ</li> </ul>	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
1週間から1ヵ月に1度		/	/	/	/	/
	23   内部の清掃(1 週間から1 カ月 に1度)」103ページ	/	/	/	/	/
汚れているとき	<ul> <li>● フラッシング用吸収材</li> <li>△3 「フラッシング用吸収材の清掃 (汚れているとき)」106 ページ</li> </ul>	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
消耗品の交換

# インクカートリッジのかくはん と交換

### かくはんの方法

図のように水平方向に両側約 5cm の振り幅で、5 秒間に 15回程度、よく振ります。

特色インクとオレンジ、オレンジプラスインクは、交換 時に限り、15秒間に50回程度、よく振ります。 交換時は、新品を袋から取り出して振ります。

### !重要

本機のインクカートリッジは、インクの特性上、沈降(成分 が液の底に沈んでたまること)しやすくなっています。新品 に交換するとき、および本機に装着後も定期的に取り外して インクカートリッジをかくはんしてください。

### 交換方法

インクの残量警告が表示されたら、できるだけ早くイン クカートリッジを交換してください。1 色でもインク残量 が限界値以下になると、印刷はできません。

### !重要

特色インク使用時は、 [3]インク量 限界値以下] と表示され たら、速やかに新しいインクカートリッジと交換してくださ い。インクの残量警告が表示された状態のまま放置すると、 プリントヘッド等が故障するおそれがあります。

印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そ のインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。 ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色 味が異なって見えることがあります。

インクカートリッジとクリーニングカートリッジの交換 は、以降の手順で行います。

### !重要

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のイ ンクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以 外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質 に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない 場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証で きません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故 障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- - 本機の電源が入っていることを確認します。
  - 交換するインクカートリッジのロックレバーを引 き上げます。



インクカートリッジ上部のくぼみに指をかけて、 3 まっすぐに引き抜きます。



### !重要

取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にイ ンクが付いていることがありますので、周囲を汚さな いようにご注意ください。

4 水平方向に両側約 5cm の振り幅で、5 秒間に 15 回程度、よく振ります。 特色インクとオレンジ、オレンジプラスインク は、15 秒間に 50 回程度、よく振ります。



↓ インクカートリッジと本機に貼付のラベルの色を
↓ 合わせて、奥まで差し込みます。





ロックレバーを下げてロックします。



別の色のインクカートリッジも交換するときは、手順 2~手順 6 を行います。

### !重要

カートリッジは、全スロットに装着してください。全 スロットに装着していないと印刷できません。

廃棄 ∠중「純正カートリッジの回収」117 ページ

#### \_\_\_\_\_ 廃インク処理

操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されたら、 必ず直ちに新しい廃インクボトルと交換してください。

- •空の廃インクボトルを準備してください。
- 空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと 廃棄してください。

### !重要

印刷中や本機が以下の動作を実行中は、画面の指示がない限 り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃イ ンクが漏れることがあります。

- ヘッドクリーニング
- ヘッド洗浄
- インクリフレッシュ
- 長期保管前メンテナンス
- カラーモード切り替え

### 廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウント し、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせしま す。メッセージに従って新しい廃インクボトルに交換す ると、廃インクカウンターは自動的にクリアされます。 メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換した ときは、交換後にメンテナンスメニューで廃インクカウ ンタークリアを実行してください。

⊿중 「メンテナンスメニュー」140 ページ

### !重要

メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したとき は、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回か ら、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくな ります。

3

### 廃インクボトルの交換

以降の手順に従って、交換作業を行います。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 △37「作業時のご注意」92 ページ



2 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに 差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置 します。

使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

### !重要

新しい廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄すると きに必要となります。捨てずに保管しておいてくださ い。

- 【OK】ボタンを押します。
- 4 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されて いることを確認します。【OK】ボタンを押すと、 廃インクカウンターがクリアされます。

### !重要

必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれて いることを確認してください。廃インクチューブがボ トルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。

使用済み廃インクボトルの廃棄 △⑦ 「廃棄」 117 ページ

# 

以降の手順に従って、交換作業を行います。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠了「作業時のご注意」92 ページ

### !重要

取り外した使用済のワイパークリーナーやワイパーは、廃棄 するまで金属トレイに載せておいてください。本機の上など に直接置くとインクの性質上、除去が困難な汚れが付くこと があります。

】 プリントヘッドをメンテナンス位置まで移動させ ます。

∠중「プリントヘッドの移動」93ページ

2 プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、右側のメンテナンスカバーを開けます。





4 新品のワイパークリーナーを取り付けます。

取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込みます。







ワイパー装着部分をつまんだまま、左側に傾けて取 り外します。



新品のワイパーを取り付けます。 6

> 取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込 みます。



SC-S70650、SC-S50650は手順2に戻り、もう一方 のワイパーも交換します。

#### メンテナンスカバーを閉めて、設定メニューを終 7 了させます。

一度【OK】ボタンを押すと、ワイパーが奥側に移 動します。再度【OK】ボタンを押すと、プリント ヘッドが通常位置に戻り、設定メニューが終了しま す。

使用済みワイパーとワイパークリーナーの廃棄 ∠∽「廃棄」117ページ

# フラッシング用吸収材の交換

以降の手順に従って、交換作業を行います。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠중「作業時のご注意」92ページ



∠중「プリントヘッドの移動」93ページ



プリントヘッドが左側に移動したことを確認し て、右側のメンテナンスカバーを開けます。



フラッシング用吸収材を取り外します。 3

図のようにつまみの部分を持って、引き上げます。



フラッシング用吸収材の裏面からインクが垂れなく

### !重要

取り外した使用済のフラッシング用吸収材は、廃棄す るまで金属トレイに載せておいてください。本機の上 などに直接置くとインクの性質上、除去が困難な汚れ が付くことがあります。 4 新品のフラッシング用吸収材を取り付けます。

図のようにフラッシング用吸収材の2本のツメを穴 に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで 押し込みます。



5 メンテナンスカバーを閉めて、設定メニューを終 了させます。

ー度【OK】ボタンを押すと、ワイパーが奥側に移動します。再度【OK】ボタンを押すと、プリント ヘッドが通常位置に戻り、設定メニューが終了しま す。

使用済みフラッシング用吸収材の廃棄 29 「廃棄」 117ページ

# メディア押さえ板の交換

付属品のメディア押さえ板が変形したり破損したりした ときは、必ず新品と交換してください。 交換用のメディア押さえ板については、お買い求めの販 売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合 わせください。交換用のメディア押さえ板は、全てスラ イド式です。

∠☞「お問い合わせ先」169 ページ

### !重要

- 変形したり破損したりしたメディア押さえ板を使い続ける と、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。
- はめ込み式のメディア押さえ板を交換する際は、左右両方 をスライド式に交換してください。

### 交換方法



∠중「メディアの交換・取り外し」58ページ

2 左側のメンテナンスカバーと前面カバーを開けま す。





スライド式のメディア押さえ板は、以下の手順で取 り外します。

 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえた ままプラテンの左端に移動します。

#### !重要

メディア押さえ板は、必ずプラテンの左端から取り外してください。右端から取り外すと、メディア押さえ板が本機の内部に落下して不具合の原因となります。



② 左側のメディア押さえ板を取り外し、次に右側のメディア押さえ板を取り外します。





│ プラテンの左端から新品のメディア押さえ板を挿 │ 入します。

#### !重要

メディア押さえ板を右端から挿入すると、メディア押 さえ板が本機の内部に落下して不具合の原因となりま す。

挿入する際は、以下の2点を確認しながら行いま す。

① プラテン上の白線とメディア押さえ板の白線が

一直線になるように位置を合わせます。

② 金属板の先端をプラテンに押し当てながら、プ ラテン手前の角にツメを引っ掛けます。



116

### !重要

両方のツメが正しく引っ掛かっていないときは、手順3 に戻って取り付け直してください。そのまま使用する と、ヘッドが破損するおそれがあります。

### 6 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、プラテンの左端と右端へ移動します。

ツマミを放すと、メディア押さえ板が固定されま す。



7 左側のメンテナンスカバーと前面カバーを閉めま す。

# 使用済み消耗品の処分

### 純正カートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジ、クリーニ ングカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教 育助成活動を推進しています。 回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧 ください。 http://www.epson.jp/recycle/

### 廃棄

使用済みのクリーニング棒や汚れたインククリーナー、 廃インクボトル、ワイパー、ワイパークリーナー、フラッ シング用吸収材、印刷後のメディアなどのインク付着物 は、産業廃棄物です。

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令 に従って廃棄してください。委託時には、製品安全デー タシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。 製品安全データシートは、エプソンのホームページ (http://www.epson.jp)からダウンロードできます。

# 消耗品交換チェックシート

このページを印刷して、メンテナンスの管理にお使いください。



実施時期	交換箇所			実施日		
操作パネルの画面に交換メッセージが表示さ	2 廃インクボトル	/	/	/	/	/
11/22さ	29  廃イノク処理」110 ペーシ	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
	④インクカートリッジ	/	/	/	/	/
			/	/		
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/
3 ヵ月に 1 度 ワイパーとワイパークリーナーは、必ず同時 に交換してください。	<ul> <li>● ワイパー</li> <li>● ワイパークリーナー</li> <li>△ 「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111 ページ</li> </ul>	/	/	/	/	/
	<ul> <li>         ・プラッシング用吸収材</li></ul>	/	/	/	/	/
変形したり破損したりしたとき	<ul> <li>●メディア押さえ板</li> <li>△ア「メディア押さえ板の交換」115</li> <li>ページ</li> </ul>	/	/	/	/	/

その他のメンテナンス

# ノズルの目詰まりチェック

良好な印刷品質を維持するために、ノズルの目詰まりを チェックしてから印刷することをお勧めします。

### 目詰まりチェックの種類

ノズルの目詰まりをチェックするには、以下の 3 通りの 方法があります。

自動ノズルチェック

設定されたページごとに、チェックパターンを印刷しな がらセンサーで読み取り、自動的にノズルの目詰まり チェックをします。目詰まりが確認されると、メニュー の設定に従い[印刷停止]、[印刷続行]のいずれかが行 われます。

△ ア「プリンター設定メニュー」138 ページ

### 参考

- 以下のメディアや環境では自動ノズルチェックは実行できません。チェックパターンを印刷して、ノズルの目詰まりを確認してください。
  - SC-S70650の10色モード、SC-S50650の5色モード時のホワイトインク部分(その他の色は実行できます)
  - 透明や色の付いたメディアをセットしているとき。
  - 設定メニューの [プラテンギャップ設定] を [2.5] に設定しているとき。
- ・直射日光が当たるなど外乱光を受けていると、自動
   ノズルチェックが実行できないことがあります。遮
   光して再度実行してください。
- •ページ間ノズルチェック印刷

設定されたページごとに、通常の印刷の先頭にチェック パターンを印刷します。印刷終了後にチェックパターン を目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷 にかすれや欠けがないかを判断します。

[自動ノズルチェック] が正しく働かないメディアを使用しているときや、[自動ノズルチェック] は時間がかかると感じるときは、[ページ間ノズルチェック印刷] を行ってください。

∠☞「プリンター設定メニュー」138ページ

任意にチェックパターンを印刷する
 必要に応じてチェックパターンを印刷し、印刷された
 チェックパターンを目視で確認してノズルの目詰まりがあるか確認します。
 セットしているメディア幅によっては、一度パターン印刷した余白にパターンを並べて印刷してメディアの使用量を節約できます。

- 51 インチ以上~64 インチ未満のとき:右側、中央、左側の最大3回まで並べて印刷できます。
- •34 インチ以上~51 インチ未満のとき:右側と左 側に2回まで並べて印刷できます。

なお、メディア幅 34 インチ未満のときと [メディア幅 検出]を [OFF] に設定しているときは、並べて印刷は できません。

### チェックパターンの印刷方法

以下の設定で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認し、【 ☞ 】 ボタン を押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ノズルチェック]を選択し、任意の印刷位置を 選択して【OK】ボタンを押します。

チェックパターンが印刷されます。

3 必要に応じてメディアをカットして、印刷された チェックパターンを確認します。

#### 目詰まりしていないときの例

 <u> </u>	
 	<u> </u>

チェックパターンが欠けていません。

#### 目詰まりしているときの例

F	+	
		+
	+	
E		<u> </u>
	+	
	+=-	

チェックパターンが欠けているときは、ヘッドク リーニングを行ってください。

∠중「ヘッドクリーニング」120ページ

### !重要

必ず全色のノズルの目詰まりを解消してから使用を再 開してください。再開後の印刷で使用しない色でも目 詰まりしたまま使い続けると、目詰まりが解消できな くなります。



ヘッドクリーニング実行後のチェックパターン印刷 に、既にチェックパターンを印刷したメディアの余 白を使うときは、印刷開始位置が加圧ローラーの位 置にくるまで【▲】ボタンでメディアを巻き戻して ください。

# ヘッドクリーニング

印刷されたチェックパターンにかすれや欠けがあるとき は、ヘッドクリーニングを行うとノズルの目詰まりを解 決できることがあります。

印刷結果にかすれや色の問題がない限り、ヘッドクリー ニングを行う必要はありません。

また、印刷中に印刷を一時停止(ポーズ)して、ヘッド クリーニングを行うことができます。ただし、印刷再開 時に印刷物の色味が変わることがあります。

### ヘッドクリーニングのレベル

ヘッドクリーニングは、3 段階のレベルから選択して行えます。

最初は、[実行(弱)]を選択してください。ヘッドクリー ニングを1回実行しても、チェックパターンにかすれや 欠けがあるときは、[実行(中)]または[実行(強)]を 実行してください。

#### 自動メンテナンス機能

本機では、以下のように時期を指定して定期的にヘッド クリーニングをする、便利な自動メンテナンス機能を搭 載しています。 •定期クリーニング

1~240時間後の範囲で、設定した時間置きに自動的に
 ヘッドクリーニングが行われます。
 △ア「プリンター設定メニュー」
 138ページ

ページ間クリーニング
 1~10ページの範囲で、設定したページごとに自動的に
 ヘッドクリーニングが行われます。
 ∠ア「プリンター設定メニュー」138ページ

### ヘッドクリーニングの方法

以下の設定で使用するボタン



 印刷可能状態であることを確認し、【 ☞ 】 ボタン を押すと、メンテナンスメニューが表示されま す。

印刷を一時停止(ポーズ)中に【 日】ボタンを押 すと手順3に進みます。

- 2 【▼】/【▲】ボタンを押して【クリーニング】 を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3 ヘッドクリーニングするノズル列の指定方法を選 択します。

#### [全列クリーニング]

印刷されたチェックパターンを確認したとき、全てのパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。[全列クリーニング]を選択したときは、手順5に進みます。

### [クリーニングする列を選択]

印刷されたチェックパターンを確認したとき、特定の番号(ノズル列)のパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。ノズル列は複数選択できます。

# 4 ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。

- 【▼】/【▲】ボタンを押してチェックパターンで、かすれや欠けがあるパターンの番号が含まれているノズル列を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ヘッドクリーニングするノズル列を全て選んだ
   ら、[選択を決定し次へ]を選択して【OK】ボ
   タンを押します。
- 5 クリーニングのレベルを選択し、【OK】ボタンを 押します。
- 6 ヘッドクリーニングが行われます。

ヘッドクリーニング終了後、設定メニューが終了し ます。チェックパターンを印刷して目詰まりが解消 されたことを確認します。

### ∠중 「チェックパターンの印刷方法」119ページ

手順1で印刷を一時停止(ポーズ)してヘッドク リーニングをしたときは、ヘッドクリーニングが終 了すると印刷が再開されるので、印刷結果でノズル の目詰まりが解消されたことを確認します。

数回ヘッドクリーニングを行ってもノズルの目詰まりが 解消されないときは、プリントヘッド周辺が汚れている おそれがあります。以下をご覧になり、各部の清掃を行っ てください。

清掃を行ってもノズルの目詰まりが解消されないときは、 次項をご覧になり、メンテナンスメニューの[ヘッド洗 浄]を行ってください。

∠∽「ヘッド洗浄」121 ページ

### ヘッド洗浄

通常のヘッドクリーニングを数回行い、プリントヘッド 周辺の清掃を行ってもノズルの目詰まりが解消されない ときは、メンテナンスメニューの[ヘッド洗浄]を行い ます。

ノズルチェックパターンでかすれや欠けが見られる色を 確認して、以下のメニュー項目を使い分けてください。

#### SC-S70650/SC-S30650

項目	説明
XX/XX*	選択した色のみ洗浄を行います。 かすれや欠けが特定の色で見られ るときに選択します。
全列	全ての列を洗浄します。かすれや 欠けが全ての色で見られるときに 選択します。

\* XX はインク色の略号

### SC-S50650

項目	説明
Head1 XX/XX* Head2 XX/XX*	選択した色のみ洗浄を行います。 かすれや欠けが片方のプリント ヘッドの特定の色で見られるとき に選択します。
Head1 全列 Head2 全列	片方のプリントヘッドの全ての列 を洗浄します。かすれや欠けが片 方のプリントヘッドの全ての色で 見られるときに選択します。
全列	両方のプリントヘッドの全ての列 を洗浄します。かすれや欠けが両 方のプリントヘッドの全ての色で 見られるときに選択します。

\* XX はインク色の略号

[ヘッド洗浄] では、別売のクリーニングカートリッジ を使用します。クリーニングカートリッジの必要本数は、 以下の通りです。

•色を選択して洗浄するとき:2本

•全ての列を洗浄するとき:下表の通り。

製品名	カラーモード	本数
SC-S70650	10 色	10本
	9色	9本
	8 色(切替可能)	8本 <sup>*1</sup>
	8色(固定)	8本

製品名	カラーモード	本数
SC-S50650*2	5 色モード	10本(5本)
	4色モード	8本 (4本)
SC-S30650	-	4本

\*1 すでに装着済みの2本を除き、8本必要。

\* 2 カッコ内は、[Head1 全列] または [Head2 全列] 選択時の 本数。

### ヘッド洗浄の方法

### !重要

インクや洗浄液の残量が足りないと機能を実行できないこと があります。残量が残り少ないときは、念のためお手元に新 品のカートリッジをご用意ください。

#### 以下の設定で使用するボタン



印刷可能状態であることを確認し、【 ☞ 】 ボタン を押します。

メンテナンスメニューが表示されます。



【▼】/【▲】ボタンを押して[ヘッド洗浄]を 選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▼】/【▲】ボタンを押して任意のモードを選 択し、【OK】ボタンを押します。

以降は、画面の指示に従ってカートリッジの差し替えを 行ってください。画面に[印刷可能]と表示されたら洗 浄は終了です。チェックパターンを印刷して目詰まりが 解消されたことを確認してください。 ∠중 「チェックパターンの印刷方法」119ページ

### 参考

SC-S70650、SC-S50650 をお使いのときは、ヘッド洗浄を行っ てもノズルの目詰まりが解消されないプリントヘッドが片方 だけであれば、プリンター設定メニューの[ヘッドモード] の設定で、目詰まりしていないヘッドのみで印刷を継続する こともできます。 \_☞「プリンター設定メニュー」138 ページ

ノズルの目詰まりが解消されないときは、エプソンサー ビスコールセンターにご連絡ください。 ∠☞「お問い合わせ先」169 ページ

# インクリフレッシュ

印刷結果に濃淡ムラ(濃さが不均一な部分)が見られる ときは、[インクリフレッシュ]を実行してください。

以下の設定で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認し、【 ☞ 1】ボタン を押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【▼】/【▲】ボタンを押して[インクリフレッ シュ]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3 [インクリフレッシュ]を行うノズル列を選択し ます。

お使いの製品やカラーモードによって選択できるメ ニューが異なります。

### 9 色モード/10 色モード(SC-S70650)、5 色モード(SC-S50650)

濃淡ムラが見られる部分(印刷色)によってメニュー を使い分けてください。ムラが全体的に見られると きは、順に両方を行ってください。 特色の濃淡ムラ: [MS/WH] または [WH] 特色以外のカラーの濃淡ムラ: [全列(MS/WH 以外)] または [全列(WH 以外)]

### 8 色モード(SC-S70650)、4 色モード (SC-S50650)、SC-S30650

[全列]を行います。

インクリフレッシュが行われます。

# 長期間保管するとき(事前メン テナンス)

本機を長期間使用しない(電源を切る)ときは、必ずメ ンテナンスメニューの[長期保管前メンテナンス]を実 施してから保管してください。そのまま放置すると、プ リントヘッドの目詰まりが解消できなくなります。

[長期保管前メンテナンス]では、別売のクリーニング カートリッジを使います。

[長期保管前メンテナンス]の実施が必要な保管期間の 目安とクリーニングカートリッジの必要本数は、お使い のカラーモードによって下表のとおり異なります。

### SC-S70650(10 色モード)

期間の目安	本数	対象色
7~13日*	2本	MS/WH
2 週間以上	10本	全列(全色)

\* 保管期間が短いときは、特色インクに対してのみ [長期保管 前メンテナンス]を実施できます。

### SC-S70650(9 色モード)

期間の目安	本数	対象色
7~13日*	1本	WH
2週間以上	9本	全列(WH 以外の 全色)

\* 保管期間が短いときは、特色インクに対してのみ [長期保管 前メンテナンス] を実施できます。

### SC-S70650(8色モード)

期間の目安	本数	対象色
2週間以上	8本	全列(全色)

### SC-S50650(5色モード)

期間の目安	本数	対象色
7~20日*	2本	WH
3週間以上	10本	全列(全色)

\* 保管期間が短いときは、特色インクに対してのみ [長期保管 前メンテナンス] を実施できます。

### SC-S50650(4色モード)

期間の目安	本数	対象色
3週間以上	8本	全列(全色)

### SC-S30650

期間の目安	本数	対象色
1ヵ月以上	4本	全列(全色)

### !重要

特色インクに対してのみ [長期保管前メンテナンス] を実施 した後で、[全列] に変更するには、特色インクを充填する必 要があります。

### 保管前の操作

#### !重要

インクや洗浄液の残量が足りないと機能を実行できないこと があります。残量が残り少ないときは、念のためお手元に新 品のカートリッジをご用意ください。 以下の設定で使用するボタン



印刷可能状態であることを確認し、【 🖻 】ボタン を押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して、[長期保管前メン テナンス]を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 実行するメニューを選択し、【OK】ボタンを押し ます。

#### 特色インクを使用していないとき

[全列]を選択します。

#### 特色インク使用時

保管期間に応じて [MS/WH](SC-S70650 10 色モード)、[WH](SC-S70650 9 色モード、SC-S50650 5 色モード)、または [全列] を選択できます。

以降は、画面の指示に従ってカートリッジを差し替えま す。

本機、および取り外した使用途中のインクカートリッジ は、以下の注意点を守って保管してください。 *C* 「使用しないときのご注意」22 ページ

∠☞「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」23ページ

### 使用を再開するとき

### !重要

使用を再開するときは、本機にインクを充填します。取り外 したインクカートリッジを使用して充填するときは、念のた めお手元に新品のインクカートリッジをご用意ください。

電源を入れて、画面の指示に従ってください。 再開後、初めて印刷するときは、ノズルチェックを行っ て目詰まりがないことを確認してください。 ∠☞「チェックパターンの印刷方法」119ページ

### \_\_\_\_ カ ラ ー モ ー ド 切 り 替 え (**SC-S70650** のみ)

本機は、自動メンテナンスなどで定期的にインクを消費 しますが、特色インクを使った印刷を一定期間以上まっ たく行わないときは、カラーモード切り替え機能で特色 インクの代わりにクリーニングカートリッジを装着して、 特色インクの消費を節約できます。ただし、[8 色(固 定)] モードでお使いの方は本機能を使用できません。 特色インクを使用する印刷を再開したいときには、特色 を使用するカラーモードに戻します。

[カラーモード切り替え]は、操作パネルで行います。 所要時間は、お使いのカラーモードによって異なります が、完了するまで最大約1時間かかります。

[カラーモード切り替え]機能の内容と実行に必要なカートリッジの種類と本数は、以下の通りです。

#### !重要

特色インクを使用しない期間が、以降の推奨期間より短いと きは、モード切り替え時に消費するインク量の方が多くなる のでお勧めしません。

#### 10 色モードからの切り替え時

- メタリックシルバーだけを3ヵ月\*以上使用しないとき:
   [9 色]を選択します。
   クリーニングカートリッジが1本必要です。
- 特色を両方とも3ヵ月<sup>\*</sup>以上使用しないとき:
   [8 色(切替可能)]を選択します。
   クリーニングカートリッジが2本必要です。

#### 9 色モードからの切り替え時

・メタリックシルバーの使用を再開するとき:
 [10 色]を選択します。
 メタリックシルバーインクカートリッジが1本必要です。

 メタリックシルバーに加えて、ホワイトも1ヵ月<sup>\*</sup>以上 使用しなくなったとき: [8 色(切替可能)]を選択します。 クリーニングカートリッジが1本必要です。

### 8 色(切替可能) モードからの切り替え時

- ホワイトインクのみ使用を再開するとき: [9色] を選択します。 ホワイトインクカートリッジが1本必要です。
- 特色両方の使用を再開するとき: [10 色] を選択します。 ホワイトとメタリックシルバーのインクカートリッジが 各1本必要です。
- \* 期間は、以下の使用条件を想定したときの目安です。
  - 常時電源を入れたままで使用
  - 1ヵ月の稼働日:20日間

### カラーモード切り替えの方法

### !重要

インクや洗浄液の残量が足りないと機能を実行できないこと があります。

- •インクカートリッジの残量表示に1が表示されたら、ただ ちに作業を実施してください。 [23インク量 限界値以下] のエラー状態になると、機能を実行できません。
- 残量が残り少ないときは、念のためお手元に新品のカート リッジをご用意ください。

#### 以下の設定で使用するボタン



印刷可能状態であることを確認し、【□】ボタン を押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

- 【▼】/【▲】ボタンを押して [カラーモード切 2 り替え]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3
  - 【▼】/【▲】ボタンを押して任意のモードを選 択し、【OK】ボタンを押します

以降は、画面の指示に従ってカートリッジの差し替えを 行ってください。

取り外した使用途中のインクカートリッジは、以下の注 意点を守って保管してください。

△ 「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」23ページ

# キャリッジ副軸用グリスの注油

操作パネルの画面に [注油時期です。マニュアルを参照 し専用グリスを注油してください]と表示されたときは、 本機に添付の注油キットを使用して注油を行ってくださ い。

### 注油時のご注意

### キャリッジ副軸は、A軸です。

作業中は、グリス注油ツールなどで B 軸(キャリッジ主 軸) に触らないでください。B 軸表面のグリスを拭き取る と、プリンターが故障するおそれがあります。

### キャリッジ副軸用グリスは、A軸専用です。 B 軸には使えません。





### 保管時のご注意

- 使用後は、グリスに異物が入らないように必ず蓋をして ください。
- 蓋を上に向けた状態で、直射日光を避けて常温で保管してください。



# 製品寿命と定期交換部品

### 製品寿命

以下は定期交換部品を適切に交換したときの、耐久性能 の参考値です。印刷可能面積は印刷環境や印刷の仕方(メ ディア種類・電源の頻繁な入切など)によって変動し、 以下の数値より少なくなる事があります。

モデル名	寿命*
SC-S70650/ SC-S30650	67,500 ㎡または 5 年いずれか早い方
SC-S50650	135,000 ㎡または 5 年いずれか早い方

\*メディアサイズ「64 インチ」・解像度「720×720」・印 刷方向「双方向」の設定で印刷できる面積の目安。

### 定期交換部品

定期交換部品の種類は、以下の通りです。 (2014 年 11 月現在)

最新の情報は、エプソンのホームページ(http:// www.epson.jp)から「定期交換部品料金一覧」をご確認 いただくか、エプソンサービスコールセンターにお問い 合わせください。

エプソンサービスコールセンターの連絡先 *△* 「お問い 合わせ先」169 ページ

キャリッジエンコーダー:交換時期は使用状況により異なります。キャリッジエンコーダー交換時にキャリッジ スケールも同時に交換します。

交換時期が近づくと、操作パネルの画面にメンテナンス コールが表示されます。メンテナンスコールが表示され ても継続して印刷はできます。

∠☞「メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは」147ページ

定期交換部品の現在の経過状態は、設定メニューの [プリンターステータスの印刷] で印刷して確認できます。 ∠☞「プリンターステータスメニュー」142 ページ

# 操作パネルのメニューの使い方

# メニューの操作

メニューの操作は以下の通りです。



# 設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

### メディア管理

各項目の詳細 ∠중「メディア管理メニュー」134 ページ

設定項目や設定値の\*は、以下を示しています。

\*1:SC-S70650、SC-S50650のみ対応 \*2:SC-S50650のみ対応 \*3:SC-S30650のみ対応 \*4:SC-S70650のみ 対応

	設定項目	設定値
メディア残量管理		
	残量管理設定	ON, OFF
	メディア長さ設定	1.0~999.5m
	メディア残量警告	1~15m
	メディア残量印刷	印刷
×	ディア選択	RIP 設定、1~30(メディア設定番号)
×	ディア設定変更	
	現在の設定	
	RIP 設定	
	プラテンギャップ設定	1.5、2.0、2.5
	ギャップ調整	メディア厚を入力します。 0.1 ~ 1.0mm
	標準(自動)	印刷
	標準(手動)	印刷
	ブロックパターン	手動(Uni-D)、手動(Bi-D)、手動(ヘッド間調整)*1
	ロール巻き仕様設定	印刷面外巻き、印刷面内巻き
	テンション測定	定期、1ページごと、OFF
	メディアテンション	0~40
	設定初期化	はい、いいえ
1~30(メディア設定番号)		
	設定名の登録	22 文字以内(半角英数字・記号)
	プラテンギャップ設定	1.5、2.0、2.5
	自動メディア調整	印刷
	メディア調整	
	メディア送り調整	自動、手動
	ギャップ調整	標準(自動)、標準(手動)、ブロックパターン

設定項目		設定値
ヒーター/乾燥	<b>桑設定</b>	
ヒーター	温度設定	プリヒーター/プラテンヒーター∶30℃~50℃ アフターヒーター∶30℃~55℃
パスごと	の乾燥時間	0~10 秒
印刷後の	乾燥送り	モード1、モード2、OFF
乾燥ファ	ン設定	ON、OFF
高度な設定		
メディア	テンション	0~40
吸着力		0~10
ヘッド移	動量	データ幅、プリンター全幅
テンショ	ン測定	定期、1ページごと、OFF
重ね描き	回数	OFF、2~8回
印刷時の	メディア送り速度	自動、Lv1、Lv2
ロール巻	き仕様設定	印刷面外巻き、印刷面内巻き
設定初期化		はい、いいえ
設定内容の印刷		印刷

### プリンター設定

### 各項目の詳細 ∠☞ 「プリンター設定メニュー」138 ページ

設定項目や設定値の\*は、以下を示しています。

\*1:SC-S70650、SC-S50650 のみ対応 \*2:SC-S50650 のみ対応 \*3:SC-S30650 のみ対応 \*4:SC-S70650 のみ 対応

	設定項目	設定値
IJ	イドマージン(右)	3~25mm
IJ	イドマージン(左)	3~25mm
E[	刷開始位置	0~800mm
X	ディア幅検出	ON、 OFF
X	ディア終端検出	ON、 OFF
斜行エラー検出		ON、 OFF
メディア浮き検出*2		
	メディア浮き検出設定	ON、 OFF
	メディア浮き検出レベル設定	1~5
自動ノズルチェック		

	設定項目	設定値
	ノズルチェック頻度	OFF、1~10 ページごと
	目詰まり時の対応	印刷続行、印刷停止
~	ージ間ノズルチェック印刷	OFF、1~10 ページごと
定	期クリーニング	
	弱	OFF、1~240 時間後
	中	
	強	
	強力 <sup>*3</sup>	
~	ージ間クリーニング	OFF、1~10 ページごと
Ŀ	ーターオフタイマー	15~240分
^	ッドモード* <sup>1</sup>	2 ヘッドモード、Head1、Head2
プリンター設定初期化		はい、いいえ

### メンテナンス

### 各項目の詳細 🦙 「メンテナンスメニュー」140 ページ

設定項目や設定値の\*は、以下を示しています。

\*1:SC-S70650、SC-S50650のみ対応 \*2:SC-S50650のみ対応 \*3:SC-S30650のみ対応 \*4:SC-S70650のみ 対応

設定項目	設定値
ノズルチェック	
印刷位置(右)	(設定項目に表示されるメニューは、[メディア幅検出]の設定やセットしているメディア幅によって異なります。)
印刷位置(中央)	
印刷位置(左)	
クリーニング	

	全	列クリーニング	実行(弱)、実行(中)、実行(強)
		Head1/Head2* <sup>2</sup> 、Head1* <sup>2</sup> 、Head2* <sup>2</sup>	
	ク	リーニングする列を選択	実行(弱)、実行(中)、実行(強)
^	ッド	ジンテナンス	ヘッド移動
廃インクカウンタークリア		·クカウンタークリア	-
インク循環 <sup>*1</sup>		循環*1	実行
イ	ンク	リフレッシュ	全列、全列(MS/WH 以外)* <sup>4</sup> 、全列(WH 以外)* <sup>3</sup> 、MS/WH* <sup>4</sup> 、WH* <sup>1</sup> (表示されるメニューは、お使いの製品やカラーモードによって異なります。)
ヘッド洗浄		洗净	XX/XX <sup>*3 *4</sup> 、Head1 XX/XX <sup>*2</sup> 、Head2 XX/XX <sup>*2</sup> 、Head1 全列 <sup>*2</sup> 、Head2 全列 <sup>*</sup> <sup>2</sup> 、全列 (表示されるメニューは、お使いの製品やカラーモードによって異なります。XX にはインク色の略号が表示されます。)

設定項目	設定値
長期保管前メンテナンス	MS/WH <sup>*4</sup> 、WH <sup>*1</sup> (設定項目に表示されるメニューは、お使いのモードによって異なります。)
カラーモード切り替え <sup>*4</sup>	8 色(切替可能)、9 色、10 色 (設定項目に表示されるメニューは、お使いのモードによって異なります。)
オレンジインク切り替え <sup>*4</sup>	-

### インク残量表示

お使いの製品やカラーモードに応じてインク残量が表示されます。設定項目はありません。 メニューの詳細 *△* 「インク残量表示メニュー」142 ページ



### 印刷履歴

メニューの詳細 🦙 「印刷履歴メニュー」 142 ページ

設定項目	設定値
ジョブ履歴の印刷	印刷
総印刷面積表示	XXXXXXm <sup>2</sup>

### プリンターステータス

メニューの詳細 🦙 「プリンターステータスメニュー」 142 ページ

設定項目	設定値
プリンターステータスの印刷	白刷
EDM ステータス	未開始、無効、有効 最終送信時刻:(未送信)、YY/MM/DD HH:MM GMT
ファームウェアバージョン	XXXXXXX,X_XX,XXXX

### ネットワーク設定

### メニューの詳細 🦙 「ネットワーク設定メニュー」 143 ページ

	設定項目	設定値
IP	IP アドレス設定	
	自動	-
	パネル	IP:000.000.000 - 255.255.255 SM:000.000.000 - 255.255.255 DG:000.000.000 - 255.255.255.255
BC	DNJOUR	ON、 OFF
ネットワーク設定の印刷		白刷
ネットワーク設定初期化		はい、いいえ

### 環境設定

### メニューの詳細 🧷 「環境設定メニュー」143 ページ

設定項目	設定値
日時設定	年/月/日 時∶分
表示言語/Language	日本語, English, French, Italian, German, Portuguese, Spanish, Dutch, Russian, Korean, Chinese
長さ単位	m、ft/in
温度単位	°C、F
警告ブザー設定	ON、 OFF
アラートランプ設定	ON、 OFF

### 全設定の初期化

メニューの詳細 🧷 「全設定の初期化メニュー」144 ページ

	設定
はい、いいえ	

# 設定メニューの説明

# 

メディア管理メニューは、【印】ボタンを押して直接呼び出すことができます。

はメーカー設定値です。

### メディア残量管理

設定項目	設定値	説明
残量管理設定	ON	セットしたメディアの残量を表示・記録する([ON])/しない([OFF])を
	OFF	選択します。[ONJ にすると、[メティア長さ設定] と [メティア残量警告]、 [メディア残量印刷] が表示され設定できます。[メディア長さ設定] で設 定した値と印刷で使用したメディアの長さから、操作パネルの画面にメディ ア残量が表示されます。
メディア長さ設定	1.0~999.5m	セットしたメディアの全長を 1.0~999.5m の範囲で設定します。設定は 0.5m 単位で行えます。
メディア残量警告	1~15m	メディアの残量がどのくらいになったら、警告を表示するか、その値を 1~ 15m の範囲で設定します。設定は 0.5m 単位で行えます。
メディア残量印刷	印刷	セットされているメディアを別のメディアと交換するときは、[メディア残 量印刷]を行い交換するメディアに残量を印刷しておくと、次回そのメディ アをセットした際にメディア長さの設定が確実にできて便利です。

### メディア選択

設定値	説明
RIP 設定	印刷で使用するメディア設定を選択します。 「DID 設定」にすると、ハフトウェア DID で設定したメディア設定で印刷し
1~30(メディア設定番号)	[RIP 設定] にすると、ソフトウェア RIP と設定したメディア設定で印刷し ます。本機に登録したメディア設定で印刷しないときには、[RIP 設定] を選 択してください。 1~30 のいずれかにすると、設定した番号に保存されているメディア設定で 印刷します。 設定の新規登録や設定内容の変更は、[メディア設定変更] で行います。

### メディア設定変更

設定項目	説明
現在の設定	現在選択しているメディア設定の内容を変更するときは、[現在の設定]を 選択します。選択中のメディア設定が「DID 設定」か1~20(メディア設定
RIP 設定	番号)かにより変更できる設定項目が異なります。 新日におきを発見したり、発見でできる設定項目が異なります。
1~30(メディア設定番号)	利防に設定を豆転したり、豆転用の設定を変更したりするときは[RIP 設定] か1~30(メディア設定番号)を選択します。 各設定で設定・変更できる項目は、以降をご覧ください。

### RIP 設定

設定項目や設定値の\*は、以下を示しています。

\*1:SC-S70650、SC-S50650のみ対応 \*2:SC-S50650のみ対応 \*3:SC-S30650のみ対応 \*4:SC-S70650のみ 対応

設定項目		設定値	説明
プラテンギャップ設定		1.5	プラテンギャップ(プリントヘッドとメディアの間隔)を変更します。
		2.0	設定を変更すると、ソフトリエア RIP の設定値より本機の設定が優先されます。
		2.5	通常は、1.5 のまま使用します。印刷結果がこすれて汚れるときは、2.0 に変更します。2.5 は、2.0 に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設定します。むやみに設定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。
ギ	ャップ調整	メディア厚を入力します。 0.1~1.0mm	
	標準(自動)	印刷	印刷結果に粒状感やピントのズレが生じるときは、「ギャップ調整」を行い、
	標準(手動)	印刷	印刷時のフリフトペットのスレを調整します。 調整を実行する前に使用するメディアの厚さを 0.1~1.0mm の範囲で選択し
ブロックパターン     手動       手動( <sup>2</sup> 整)*	手動 (Uni-D)、 手動 (Bi-D)、手 動 (ヘッド間調 整) <sup>*1</sup>	ます。 調整の種類と実行手順 ∠̄͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡ːːːːːːːːːː	
ロール巻き仕様設定		印刷面外巻き	セットしたメディアのロール巻き仕様に応じて[印刷面外巻き]/[印刷面内
		印刷面内巻き	答さ」を選択します。
テンション測定		定期	本機が自動的にメディアのテンションを測定して、メディア搬送動作を適正
		1ページごと	に備止する(に定期)、[1ヘーシごと])/しない([OFF])を選択します。 通常は[定期]のまま使用します。
		OFF	[1 ヘーシごと] を選択すると、テンション測定の精度か向上して適切な補 正が行われますが、[定期] 選択時よりも印刷時間が長くなります。 メディアによって、補正機能がうまく働かずにテンションが弛むなどして正 しく印刷できないときには、[OFF] を選択してください。ただし、[OFF] を選択すると、ページ間の余白が通常より大きくなります。また、メディア が終了しても印刷が停止せずに機内が汚れるおそれがあるので、以下の点を 守ってください。
			• 印刷がロールの終端にかからない。
メディアテンション		0~40	印刷中にメディアにしわが寄るときは、テンションを高めるように設定を変 更します。設定値が大きくなるほどテンションが高くなります。
設定初期化		はい	[はい]を選択すると、設定した RIP 設定の内容をメーカー設定値に戻しま
		いいえ	9 <sub>0</sub>

### 1~30(メディア設定番号)

設定項目や設定値の\*は、以下を示しています。

\*1:SC-S70650、SC-S50650のみ対応 \*2:SC-S50650のみ対応 \*3:SC-S30650のみ対応 \*4:SC-S70650のみ 対応

設定項目	設定値	説明
設定名の登録		保存するメディア設定に、半角英数字・記号 22 文字以内で名前を付けられ ます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。

#### 操作パネルのメニューの使い方

	設	定項目	設定値	説明
プラテンギャップ設定 1.5		1.5	プラテンギャップ(プリントヘッドとメディアの間隔)を変更します。 通営け、15のまま使用します、印刷結果がこすれて汚れるときけ、20に設	
	2.0		2.0	通常は、1.5 のよる使用しより。印刷結本がとりれているときは、2.0 に設 定します。2.5 は、2.0 に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設
			2.5	定します。 むやみに設定すると、本機の内部がイングで汚れ口刷品員の低下 や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。
É	動メデ	ィア調整		本機が自動でパターンを印刷しながらセンサーで読み取り、[メディア送り 調整]と[ギャップ調整]を連続して行います。 実行手順 ∠��「自動メディア調整」78 ページ
X	ディア	調整		[自動メディア調整]を実行できないメディアの調整や、メディア設定を保 方後に印刷条件を亦更したときの両調整時に実行します
	メディ	ィア送り調整		「存在にい前来」「を受えてたことの行調…」「「たん」」のより。 本メニューでは、「メディア送り調整」と「ギャップ調整」を個別に行いま す
	É	動	印刷	9。 調整の種類と実行手順 △3 「メディア調整」79 ページ
	₹	≦動	印刷	
	ギャッ	ップ調整		
	橋	標準(自動)	印刷	
	標	標準(手動)	印刷	
		ブロックパター	手動(Uni-D)	
		)	手動(Bi-D)	
			手動(ヘッド間調整)* 1	
ヒーター/乾燥設定				
	Ľ−\$	ター温度設定	プリヒーター/プラテン ヒーター∶30℃~50℃ ア フ タ ー ヒ ー タ ー ∶ 30℃~55℃	プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターそれぞれに対して温度 設定ができます。
	パスさ	ごとの乾燥時間	0~10 秒	プリントヘッドの移動(パス)を停止させてインクの乾燥を補助するための 時間を 0.0~10.0 秒の範囲で設定します。インク濃度やメディアによっては、 インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが起 きるときは、乾燥時間を長めに設定してください。 時間を長く設定するほど、印刷時間が長くなります。
	印刷後	後の乾燥送り	モード1	印刷後、アフターヒーターの位置まで印刷終端部を送る([モード 1]、[モー
			モード2	ト2])/ 送らない([UFF]) を選択します。 [モード1] にすると、次の印刷ジョブを受け付けたとき、乾燥のために送っ
乾燥ファン設定			OFF	たメディアを巻き戻さずに印刷します。メディアをカット後、次の印刷をす るときに適しています。 [モード 2] にすると、次の印刷ジョブを受け付けたとき、乾燥のために送っ たメディアを自動的に巻き戻してから印刷しますので、不要な余白が入りま せん。順次、続けて印刷するときに適しています。
		ファン設定	ON	オプションの外付け乾燥ファンユニット(SC-S50650 は標準)を装着してい
			OFF	るここのの衣小ご1139。 オプションの外付け乾燥ファンユニット(SC-S50650 は標準)を動かす ([ON]) /停止([OFF])を選択します。本設定が [ON] になっていても、 ヒーターオフタイマーが働きヒーターが停止したときは、外付け乾燥ファン ユニットも連動して停止します。ヒーターが復帰すると、外付け乾燥ファン ユニットも復帰します。ヒーターオフタイマー △ 「プリンター設定メ ニュー」138 ページ

	設定項目	設定値	説明
高度な設定			通常は、メーカー設定値のままお使いください。 特殊なメディアを使用するときや、印刷結果にヘッドこすれやバンディング のような問題が見られるときなどに設定を変更します。
	メディアテンション	0~40	印刷中にメディアにしわが寄るときには、テンションを高めるように設定を 変更してください。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。
	吸着力	0~10	プラテン上でメディアが波打っているときには、[吸着力]を強くしてくだ さい。設定値を大きくするほど吸着力が強くなります。 薄いメディアや柔らかいメディアで、印刷結果に粒状感やピントのズレが見 られたり、正しくメディアが搬送できないと感じたりするときには[吸着 力]を弱くしてください。
	ヘッド移動量	データ幅 プリンター全幅	印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を設定できます。 [データ幅]は、印刷データ幅の範囲でプリントヘッドが移動します。プリ ントヘッドの移動範囲が狭くなるため、印刷速度が向上します。 [プリンター全幅]は、本機の最大メディア幅の範囲でプリントヘッドが移 動します。印刷品質が均一で、よりムラのない印刷品質をお求めのときは、 こちらに設定します。
	テンション測定	定期 1ページごと OFF	本機が自動的にメディアのテンションを測定して、メディア搬送動作を適正 に補正する([定期]、[1ページごと])/しない([OFF])を選択します。 通常は[定期]のまま使用します。 [1ページごと]を選択すると[テンション測定]の精度が向上して適切な 補正が行われますが、[定期]選択時よりも印刷時間が長くなります。 メディアによって、補正機能がうまく働かずにテンションが弛むなどして正 しく印刷できないときには、[OFF]を選択してください。ただし、[OFF] を選択すると、ページ間の余白が通常より大きくなります。また、メディア が終了しても印刷が停止せずに機内が汚れるおそれがあるので、以下の点を 守ってください。 ・ 印刷がロールの終端にかからない。
	重ね描き回数	OFF 2~8回	1 行あたりの重ね描き回数を設定できます。 バックライトフィルムなどで高濃度印刷したいときは、回数を増やしてくだ さい。
	印刷時のメディア送	自動	通常は[自動]のまま使用します。[自動]に設定していると、印刷パス数
	り速度	Lv1	に応じて最適な速度でメティアを送ります。 薄いメディアでしわが寄る、破れる、あるいはメディアが張り付いたりする
_		Lv2	とさは、 [Lv1] に設定します。   印刷速度を速くしたいときは、 [Lv2] に設定します。ただし、パス数が多   ときは速度は変わりません。
	ロール巻き仕様設定	印刷面外巻き	メディアをセットしたときの選択に従って設定されます。
		印刷面内巻き	
設定初期化         はい           いいえ		はい	[はい]を選択すると、選択したメディア設定の設定内容をメーカー設定値
		いいえ	に戻しまり。

### 設定内容の印刷

設定値	説明
印刷	メディア設定番号 1~30 に設定されている内容を全て印刷します。

# プリンター設定メニュー

はメーカー設定値です。

設定項目や設定値の\*は、以下を示しています。

\*1:SC-S70650、SC-S50650のみ対応 \*2:SC-S50650のみ対応 \*3:SC-S30650のみ対応 \*4:SC-S70650のみ 対応

設定項目	設定値	説明
サイドマージン(右)	3~25mm	本機にメディアをセットした状態での、メディア右端からの余白を設定しま す。余白はお使いの製品により異なります。詳細は以下をご覧ください。 ☞「印刷可能領域」84 ページ
サイドマージン(左)	3~25mm	本機にメディアをセットした状態での、メディア左端からの余白を設定しま す。余白はお使いの製品により異なります。詳細は以下をご覧ください。 ☞「印刷可能領域」84 ページ
印刷開始位置	0~800mm	メディア幅の中央よりに印刷したいなど、[サイドマージン(右)]の設定値 よりも左に寄せて印刷したいときなどに設定します。メディア右端から[印 刷開始位置]で設定した値が余白となります。[サイドマージン(右)]を設 定していると、そこからさらに[サイドマージン(右)]で設定した値が余 白となります。余白はお使いの製品により異なります。詳細は以下をご覧く ださい。
メディア幅検出	ON OFF	メディア幅を検出する([ON])/しない([OFF])を選択します。メディア を正しくセットしていても、[メディアサイズエラー]が表示されるときは [OFF] に設定して印刷してみてください。ただし、[OFF] で印刷するとメ ディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内 部がインクで汚れます。通常は [ON] で使用することをお勧めします。
メディア終端検出	ON OFF	メディア終端を検出する([ON])/しない([OFF])を選択します。メディ アを正しくセットしていても、[メディアなしエラー] が表示されるときは [OFF] に設定して印刷してみてください。通常は [ON] で使用することを お勧めします。
斜行エラー検出	ON	メディアが斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する(「ON1)/中止せずに続行する(「OFF1)を選択します。
	OFF	斜めにセットされると、メディア詰まりの原因となりますので、通常は[ON] で使用することをお勧めします。
メディア浮き検出*2		

138

設定項目		設定値	説明
	メディア浮き検出設定	OFF	印刷中にメディアが浮いているかを検出する([ON])/しない([OFF])を 選択します。 [ON] にすると印刷中メディアが浮くと印刷を停止して、プリントヘッドと のこすれを防ぎます。 印刷中に本機から目を離して作業をするときは、[ON] での使用をお勧めし ます。 以下の場合は、[ON] にしていても検出を行いません。印刷を開始する前に、 メディアが浮いていないことを目視で確認してください。 ・[メディア幅検出] を [OFF] に設定している。 ・[プラテンギャップ設定] を [2.5] に設定している。 ・自動メディア調整、メディア調整(メディア送り調整、ギャップ調整)、 ノズルチェック(自動・手動)のパターン印刷時。 ・ジョブ履歴、ステータスシート、ネットワーク設定の印刷時。 また、透明なフィルムや光沢が強いメディアを使用しているときは、[ON] にしていても正常にメディア浮きが検出できないことがあります。頻繁に ヘッドこすれが起きるときは、印刷を開始する前に目視で確認してくださ
	メディア浮き検出レベル 設定	1~5	い。 数値を大きくすると、少しのメディア浮き量で印刷を停止します。 印刷をなるべく停止させないで使用するには、数値を小さくします。
自	動ノズルチェック	1	1
	ノズルチェック頻度	OFF	[自動ノズルチェック] を行うタイミングを [OFF]、[1] ~ [10] ページご トから認定します「OFE] にするト 「白動ノブルチェック」は行われませ
		1~10 ページごと	ん。[1]~[10]ページごとのいずれかにすると、設定したページの先頭に

			ん。[1] ~ [10] ベーシととのにすれがにすると、設定したベーシの光頭に チェックパターンを印刷しながらセンサーで読み取り、自動的にノズルの目 詰まりチェックをします。 [自動ノズルチェック] は、全ての目詰まりを完全に検出できるものではあ りません。また、メディアの種類や環境によっては[自動ノズルチェック] を実行できません。 ☞ 「ノズルの目詰まりチェック」119 ページ
	目詰まり時の対応	印刷続行	   [自動ノズルチェック] の結果、ノズルの目詰まりが検出されたときの対応   を選択します。
		印刷停止	<ul> <li>[印刷続行]にすると、[ノズル目詰まり検出]とメッセージが表示されますが、そのまま印刷は続行されます。印刷結果を確認いただき、目詰まりの度合いが問題であれば、印刷を中止してヘッドクリーニングを行ってください。</li> <li>△ 「ヘッドクリーニング」120ページ</li> <li>[印刷停止]にすると、[ノズル目詰まり検出]とメッセージが表示され印刷が停止します。印刷結果を確認いただき、目詰まりの度合いに応じて、印刷続行と印刷中止を選択できます。</li> </ul>
ページ間ノズルチェック印刷		OFF 1~10 ページごと	定期的にチェックパターン印刷を行うタイミングを[OFF]、[1]~[10] ページごとから選択します。[OFF] にすると、定期チェックパターン印刷は 行われません。[1]~[10]ページごとのいずれかを選択すると、設定した ページの先頭にチェックパターンを印刷します。印刷終了後にチェックパ ターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にかすれや欠 けがないかを判断します。

定期クリーニング

弱	OFF	定期的にヘッドクリーニングをするタイミングと強さを選択します。[OFF]
中	1~240 时间按	にすると、定期クリーーノクは行われません。[1] ~ [240] 時間後のいずれかにすると、設定した時間が経過した時点でヘッドクリーニングが行われ
強		ます。ただし、印刷中に設定した時間に至ったときは、印刷か終了してから ヘッドクリーニングが行われます。
強力 <sup>*3</sup>		また、時間のカウントは以下のタイミングでリセットされます。 • 設定時間を変更したとき。
		•本設定で選択した強さ以上で全列クリーニングを行ったとき。

設定項目	設定値	説明
ページ間クリーニング	OFF	定期的にヘッドクリーニングを行うタイミングを [OFF]、[1] ~ [10] ペー
	1~10ページごと	シごとから選択します。[OFF] にすると、ページ間グリーニングは行われません。[1] ~ [10] ページごとのいずれかにすると、設定したページを印刷する前に自動的にヘッドクリーニングを行います。
ヒーターオフタイマー	15~240分	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信がない状態が続いたと き、全てのヒーターを自動的にオフにできます。本設定では、ヒーターがオ フになるまでの時間を設定します。 ヒーターオフタイマーと連動してスリープモードに移行します。スリープ モードになると、操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフに なり消費電力が抑えられます。オプションの外付け乾燥ファンユニット (SC-S50650は標準)を装着しているときは、乾燥ファンが止まります。 操作パネルのボタン操作(【0】ボタンを除く)をすると、操作パネルの画 面表示が復帰します。ただし、この状態でまた何も操作しないと約 30 秒後 に再び画面表示は消えます。完全にヒーターオフが解除され通常の状態に復 帰するのは、印刷ジョブを受信したり、メディアセットレバーを操作するな ど、ハードウェア動作を伴う操作をしたときです。
ヘッドモード <sup>*1</sup>	2 ヘッドモード	通常は [2 ヘッドモード] のまま使用します。 
	Head1	Aのクリントベットにノスルの日間よりが先生し、イットンラーニンジを 繰り返しても目詰まりが解消されないときなどに、目詰まりしていないプリ ントヘッドで印刷を継続できます。作業時間内は印刷を巾断せずに、作業時
	Head2	間後に[ヘッド洗浄]などのメンテナンスを行うときなどに便利です。 [ノズルチェック]で印刷したチェックパターンを確認して、目詰まりして いない方のプリントヘッドを選択します。
プリンター設定初期化	はい	[はい]を選択すると、[プリンター設定] メニューの各設定値をメーカー 設定値に戻します
	いいえ	

# メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューは、【『オ】ボタンを押して直接呼び出すことができます。

設定項目や設定値の\*は、以下を示しています。

\*1:SC-S70650、SC-S50650のみ対応 \*2:SC-S50650のみ対応 \*3:SC-S30650のみ対応 \*4:SC-S70650のみ 対応

	設定項目	設定値	説明
)	ズルチェック	印刷	チェックパターンが印刷されます。印刷されたチェックパターンを目視で確認し、かまれや欠けがあるとまけなッドクリーニングを行います。
	印刷位置(右)		認し、かられに欠けがめるときはベットクリーニングを打けなり。 △ア「チェックパターンの日刷方法」119ページ
	印刷位置(中央)		設定項目に表示されるメニューは、「メティア幅検出」の設定やセットしているメディア幅によって異なります。
	印刷位置(左)		
ク	リーニング		

設定項目	設定値	説明
全列クリーニング         Head1/Head2*2         Head1*2         Head2*2         クリーニングする列を選択	実行(弱)/実行 (中)/実行(強) 実行(弱)/実行 (中)/実行(強)	お使いの製品により、表示される項目が異なります。 チェックパターンでかすれや欠けがあるパターンの番号を確認し、全列また はその番号が含まれているノズル列を指定して、ヘッドクリーニングしま す。[全列クリーニング] は、SC-S70650 と SC-S30650 は全てのノズルに対 して、SC-S50650 は選択したヘッドの全てのノズルに対してヘッドクリーニ ングします。[クリーニングする列を選択] は、ノズル列を指定し、指定し たノズル列に対してのみヘッドクリーニングします。 ヘッドクリーニングのレベルを、[実行(弱)] [実行(中)] [実行(強)] か ら設定できます。最初は、[実行(弱)] を行ってください。[実行(弱)] を 行ってもチェックパターンにかすれや欠けがあるときは、[実行(中)] を行 います。[実行(中)] を行ってください。 ご実行(強)] を行ってください。 プ「ヘッドクリーニング」120ページ
ヘッドメンテナンス	ヘッド移動	プリントヘッドをメンテナンス位置に移動します。ワイパーやキャップ、プリントヘッドの清掃などを行うときは、必ずこのヘッド移動を行ってから清掃作業を行ってください。プリントヘッドを手で動かすと故障の原因となります。 
廃インクカウンタークリア -		操作パネルの画面に、廃インクボトルの交換時期を示すメッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、交換後に廃インクカウンタークリアを実行してください。
インク循環 <sup>*1</sup>		プリントヘッドやチューブ内で特色インクが沈降するのを防ぐために、循環 を行います。本機の自動インク循環機能による作業の中断を回避したいとき に実行してください。
インクリフレッシュ	全列、全列(MS/WH 以外) <sup>*4</sup> 、全列(WH 以外) <sup>*1</sup> 、MS/WH <sup>*</sup> <sup>4</sup> 、WH <sup>*1</sup>	印刷結果に濃淡ムラ(濃さが不均一な部分)が見られるときに実施してくだ さい。 表示されるメニューは、お使いの製品やカラーモードによって異なります。 ∠☞「インクリフレッシュ」122 ページ
ヘッド洗浄	XX/XX <sup>*3*4</sup> 、Head1 XX/XX <sup>*2</sup> 、Head2 XX/XX <sup>*2</sup> 、Head1全 列 <sup>*2</sup> 、Head2全列 <sup>*</sup> <sup>2</sup> 、全列 (XX にはインク色の 略号が表示されま す。)	ヘッドクリーニングやプリントヘッド周辺の清掃を行ってもノズルの目詰ま りが解消されないときに実施してください。 表示されるメニューはお使いの製品やモードによって異なります。詳細は、 以下をご覧ください。 ∠⑦「ヘッド洗浄」121 ページ
長期保管前メンテナンス	MS/WH <sup>*4</sup> WH <sup>*1</sup> 全列	本機を長期間使用しない(電源を切る)ときは、事前に必ず実施してください。保管期間が短いときは、特色インクに対してのみ実施することができます。 詳細は以下をご覧ください。 ♪ 「長期間保管するとき(事前メンテナンス)」123 ページ
 カラーモード切り替え <sup>*4</sup>	8 色(切替可能)、9 色、10 色	設定値に表示されるメニューは、お使いのモードによって異なります。 特色インクを使用する印刷を一定期間以上まったく行わないときに、特色インクをクリーニングカートリッジに切り替えてインクの消費を節約することができます。実行条件や手順など詳細は、以下をご覧ください。 プ「カラーモード切り替え(SC-S70650のみ)」124ページ
オレンジインク切り替え <sup>*4</sup>	-	オレンジインクの種類を変更するときに実行します。詳細は、以下をご覧く ださい。 ∠3 オレンジインクをお使いの方へ(PDF)



# 印刷履歴メニュー

消耗品の使用状況を管理するのにご活用ください。

設定項目	設定値	説明
ジョブ履歴の印刷	印刷	【OK】ボタンを押すと、履歴が印刷されます。 履歴に記載されるインク使用量については、以下の点にご留意くだ さい。 • インク使用量は簡易的な見積りのため、精度は保証しません。 • 実際のインク使用量は、以下のような要因により異なります。 使用ソフトウェア/ファームウェアバージョン/画像/印刷設定(メ ディアタイプなど)/使用頻度/設置環境(温度)/プリンターの個 体差/お客様の設定や使い方
		<ul> <li>交換されたインクカートリッジに使用しきれずに残るインクは使用量に含まれません。</li> <li>他のエプソン製ソフトウェアで確認したコストやインク使用量などは本記載と一致しないことがあります。</li> </ul>
総印刷面積表示	XXXXXXm <sup>2</sup>	総印刷面積(6 桁まで)を表示します。

# プリンターステータスメニュー

本機の使用状況や設定状況を管理するのにご活用ください。

設定項目	設定値	説明
プリンターステータスの印刷	白刷	現在の本機の設定状態や定期交換部品の状態を一覧で印刷します。 個々の情報を一括して確認でき、定期交換部品の交換時期の予測に も役立ちます。
EDM ステータス	未開始、無効、有効	本機では、この機能は利用できません。
	最終送信時刻∶(未送信)、YY/ MM/DD HH:MM GMT	
ファームウェアバージョン	XXXXXXX,X_XX,XXXX	本機のファームウェアバージョンを表示します。

# ネットワーク設定メニュー

はメーカー設定値です。

	設定項目	設定値	説明
IP	アドレス設定		
	自動	-	
	パネル	IP:XXX.XXX.XXX.XXX	([ハネル])を選択します。[ハネル] ごは、IPアトレス、サフネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。それぞれの値は、
		SM:XXX.XXX.XXX	システム管理者にお尋ねください。
		DG:XXX.XXX.XXX.XXX	
BONJOUR		ON	ネットワークインターフェイスが Bonjour を使用する([ON])/使用
		OFF	しない(LOFF」)を設定します。
ネットワーク設定の印刷		印刷	現在のネットワーク設定の一覧を印刷します。ネットワーク設定の 個々の情報を一括して確認できます。
ネ	ットワーク設定初期化	はい	[はい] を選択すると、ネットワーク設定メニューの各設定値をメー カージ完成にヨーキオ
		いいえ	

# 環境設定メニュー

はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
日時設定	年/月/日 時∶分	内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時間は、ジョブ履歴 やプリンターステータスの印刷時に使用されます。
表示言語/Language	日本語	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
	English	
	French	
	Italian	
	German	
	Portuguese	
	Spanish	
	Dutch	
	Russian	
	Korean	
	Chinese	
長さ単位	m	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を
	ft/in	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

設定項目	設定値	説明
温度単位	Ĉ	操作パネルの画面の表記で使用する温度の単位を設定します。
	F	
警告ブザー設定	ON	エラーが発生したときに、ブザー音を鳴らす([ON])/鳴らさない ([OFF])を設定します。
	OFF	
アラートランプ設定	ON	エラーが発生したときに、大型アラートランプを点灯する([ON]) 点灯しない([OFF])を設定します。
	OFF	

# 全設定の初期化メニュー

設定値	説明
はい	[はい]を選択すると、環境設定メニューの[日時設定]、[表示言語/Language]、[長さ単位]、[温
いいえ	度単位」を除く全ての設定をメーカー設定値に戻します。 
# 困ったときは

# メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
空の廃インクボトルを準備してください。	廃インクボトルの空き容量が残り少なくなりました。新しい廃インクボトルを用意 してください。 ∠☞「消耗品とオプション」158 ページ
インクカートリッジエラー 正しく認識できません。インクカートリッジ をセットし直すか、交換してください。	<ul> <li>インクカートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが 発生するときは、新しいインクカートリッジと交換してください(不良インクカー トリッジは取り付けないでください)。</li> </ul>
インクカートリッジエラー 正しく検出できません。インクカートリッジ をセットし直すか、交換してください。	<ul> <li>・代替カートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。</li> <li>エブソンサービスコールセンターの連絡生 ②「お問い会わせ先」169 ページ</li> </ul>
	△ 「交換方法」109ページ
	<ul> <li>・結露している可能性があります。4時間以上室温で放置してから装着し直してください。</li> </ul>
	⊿ኇ「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」23 ページ
	<ul> <li>異なる種類のオレンジインクに変更するときは、以下をご覧になり、オレンジインクの切り替え作業を行ってください。</li> </ul>
	△3 オレンジインクをお使いの方へ(PDF)
インクカートリッジエラー クリーニングカートリッジを交換してくださ い。	<ul> <li>クリーニングカートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、新しいクリーニングカートリッジと交換してください(不良クリーニングカートリッジは取り付けないでください)。</li> </ul>
	_☞「交換方法」109 ページ
	<ul> <li>結露している可能性があります。4時間以上室温で放置してから装着し直してください。</li> </ul>
インクが少なくなりました。	インクが残り少なくなりました。新しいインクカートリッジを用意してください。 ∠☞「消耗品とオプション」158 ページ
ウォーミングアップ中 OK で強制印刷をします。	ヒーターの温度が設定した温度に達していないため、ウォーミングアップしています。ヒーター温度が低くても印刷を開始するときは【OK】ボタンを押してください。
コマンドエラー RIP の設定を確認してください。	•【Ⅱ·⑩】ボタンを押して[ジョブキャンセル]を行います。インストールされてい るソフトウェア RIP が本機に適応しているか確認してください。
	<ul> <li>SC-S50650 で、[プラテンギャップ設定]を2.0 にしてホワイトインクを使った印刷をすると、このエラーが表示されることがあります。</li> </ul>
	【Ⅱ·⑪】ボタンを押し、[ジョブキャンセル]を選択して印刷を中止します。 続いて、[プラテンギャップ設定]を[1.5]にするか、RIP の設定を変更して印刷 してください。
印刷データエラー(MS) カラーモードを 9 色にしているときは、MS を含むデータは印刷できません。	カラーモードを9色にしているときに、メタリックシルバーを使う印刷データを送るとこのエラーが表示されます。メタリックシルバーを使用しない印刷データに変更するか、[カラーモード切り替え]を行ってカラーモードを10色に変更してください。 

メッセージ	対処方法
装置組み合わせエラー メディア搬送ユニットと巻取りユニットの組 み合わせが違います。 正しい組み合わせで装着して、電源を入れ直 してください。	標準メディア搬送ユニットと標準自動巻取りユニット、重量メディア搬送ユニット と重量自動巻取りユニットの組み合わせで装着します。組み合わせが間違っている ときは、本機の電源を切って、装着し直してください。 ∠☞ 『セットアップガイド』(冊子) ∠☞ 『重量メディアユニットセットアップガイド』(冊子)
ノズル目詰まり検出 クリーニングをお勧めします。	印刷結果を確認いただき、目詰まりの度合いが問題であれば、印刷を中止してヘッ ドクリーニングを行ってください。 ∠☞「ヘッドクリーニング」120 ページ
ファームウェア アップデート エラー アップデートに失敗しました。 電源を入れ直してください。	電源を切り、しばらくたってから電源を入れてください。 LFP リモートパネル 2 で、再びファームウェアをアップデートしてください。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコー ルセンターに連絡してください。
ヘッドの寿命が近づいています。	プリントヘッドの交換時期が近づきました。 お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。
巻取りユニットが停止しました。	自動巻取りユニットに正しくメディアが取り付けられていません。 【Ⅱ·⑪】ボタンを押して[ジョブキャンセル]を選択して印刷を中止してください。 自動巻取りユニットの Auto スイッチを一旦 Off にしてから、元の設定に戻して、自 動巻取りユニットにメディアを取り付けてください。 △3 「外巻きでの巻き取り方」63ページ △3 「内巻きでの巻き取り方」69ページ
メディアサイズエラー 正しいサイズのメディアをセットしてくださ い。	不適切な幅のメディアをセットしました。メディアセットレバーを上げて、メディアを取り除いてください。 本機で使用可能な最小メディア幅は 300mm (レイヤー印刷時は 508mm)です。それ以上の幅のメディアをセットしてください。 適切な幅のメディアをセットしているにもかかわらずエラーメッセージが表示されるときは、設定メニューの [メディア幅検出]を [OFF] にすると印刷を実行できることがあります。 _③「プリンター設定メニュー」138 ページ
メディア読み取りエラー メディアまたは印刷状態に問題があります。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	【Ⅱ・①】ボタンを押すと、エラーが解除されます。 メディア設定の[自動メディア調整]や[自動ノズルチェック]、[メディア調整] の自動メニューは、以下のメディアや設定、環境では実行できません。 ・透明や色のついたメディア、トレーシングペーパーを使用している。 ・メディア設定で[プラテンギャップ設定]を[2.5]に設定している。 ・直射日光が当たるなど外乱光の影響を受ける場所で本機を使用している。 このようなときは、手動メニューを実行してください。 [自動メディア調整]、[メディア調整]実行時: ②「メディア調整] 79ページ [自動ノズルチェック] 実行時: ③「チェックパターンの印刷方法] 119ページ 外乱光の影響を受けているときは、遮光して再度実行すると成功することがありま す。遮光しても実行できなかったときは、手動メニューを実行してください。 [自動メディア調整] や[メディア調整] の自動メニュー実行時で上記に該当しな いときは、ノズルが目詰まりして調整パターンが正しく印刷できていない可能性が あります。ヘッドクリーニングを行って再度実行してください。 ③「ヘッドクリーニング] 120ページ

メッセージ	対処方法
加圧ローラー位置不正エラー 加圧ローラー位置が不正です メディアセットレバーを解除し、ローラー位 置を再セットしてください。	加圧ローラーが以下のいずれかになっています。「印刷可能領域」を参照して、加圧 ローラーをセットし直してください。 ・黒いラベルの範囲内に加圧ローラーが1つもない ・黒いラベルの範囲内に加圧ローラーが1つしかセットされていない ・メディアの両端にセットされた加圧ローラーの種類が異なる (加圧ローラー(強)と加圧ローラー(弱)の組み合わせでセットされている) ・プリンター設定メニューの[メディア幅検出]が[ON]で、メディア幅外側の黒 いラベルの範囲内に加圧ローラーがセットされている ・1つの黒いラベルの範囲内に加圧ローラーが2つセットされている 235「印刷可能領域」84ページ
レイヤー印刷加圧ローラーエラー ローラー位置が不正です。 加圧ローラーの位置を再セットしてくださ い。	加圧ローラー(弱)が使用されています。レイヤー印刷時は加圧ローラー(強)を 使用してください。
ロール巻き仕様設定エラー メディアセットレバーをセットし直して、 ロール巻き仕様設定をメディアの仕様に合わ せて変更してください。	<ul> <li>メディアセット時に設定した[ロール巻き仕様設定]は、実際の巻き仕様と一致していますか?</li> <li>メディアセットレバーを上げるとエラーが解除されます。再度メディアセットレバーを下げ、本機の画面の指示に従って[ロール巻き仕様設定]を正しく設定し直してください。</li> </ul>
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	定期清掃を一定期間行わないと、このメッセージが表示されます。そのまま使い続けると、インクのボタ落ちやノズルの目詰まりが発生したり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。 ∠3 「清掃」94 ページ

# メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール 部品寿命間近/部品寿命到達 XXXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してくだ さい。連絡の際には、「XXXXXXXX」(メンテナンスコール番号)を必ず伝えてくださ い。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 『お問い合わせ先』169 ページ メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、 サービスコールが発生します。
サービスコール XXXX 系エラー XXXX 電源を入れ直しても復帰しないときは、上記 番号をサービスコールセンターに連絡してく ださい。	サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。 ・電源コードが正しく接続されていないとき ・解除できないエラーが発生したとき サービスコールが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電 源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機 の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のサービスコールが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエ プソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXX」(サー ビスコール番号)を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 △ 「お問い合わせ先」169 ページ

トラブルシューティング

印刷できない(プリンターが動 かない)

#### 電源が入らない

- 電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか?
  差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。
- 電源コンセントに問題がありませんか? ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するか どうか確かめてください。

#### プリンターとコンピューターの接続 に異常がある

ケーブルが外れていませんか? プリンター側のコネクターとコンピューター側のコネク ターにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか?
 インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
 「仕様一覧」165ページ

USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか?
 USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目のUSB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターのUSB ポートに USBケーブルを直接接続してください。

#### USB ハブが正しく認識されていますか? コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか 確認してください。正しく認識されている場合は、コン ピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外して から、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポー トに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関し ては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

#### ネットワーク環境下で印刷ができな い

ネットワークの設定は正しいですか?
 ネットワークの設定については、ネットワークの管理者
 にお問い合わせください。

本機とコンピューターを USB 接続して、 印刷してみてください。 USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの 環境に問題があります。システム管理者に相談するか、 お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接 続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧くだ さい。

#### プリンター側でエラーが発生してい る

# 操作パネルのランプ表示と画面のメッセージで確認します。 デ「操作パネル」17ページ 「メッセージが表示されたとき」145ページ

# プリンターは動くが印刷されな い

#### プリントヘッドは動くが印刷しない

# ■ 本機の動作確認をしてください。 チェックパターンを印刷してください。チェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できます。 ③「チェックパターンの印刷方法」119ページ チェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

操作パネルの画面に [モーター自動調整 中] というメッセージが表示されていませんか? 内部のモーターを調整していますので、電源を切らずに そのままお待ちください。

# 操作パネルの画面に「インク循環中」と表示されていませんか? プリントヘッドやチューブ内で特色インクが沈降するのを防ぐために、本機が自動インク循環を行っています。 画面左下に「中止」と表示されているときは、【II・⑪】ボタンを押すと循環をキャンセルできます。ただし、インク循環が不可欠なタイミングではキャンセルできません。 プ「特色インク使用時のご注意(SC-S70650、SC-

#### チェックパターンが正常に印刷でき ない

S50650)」24 ページ

# ヘッドクリーニングを行ってください。 ノズルが目詰まりしている可能性があります。ヘッドクリーニングを行ってから再度チェックパターンを印刷してください。

∠☞「ヘッドクリーニング」120ページ

# 本機を長期間使用していなかったのではありませんか? 本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。本機を長期間使用しなかったときの処置 28 「使用しないときのご注意」22 ページ

# 印刷品質/印刷結果のトラブル

# 印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い/粒状感が目立つ/色みが異なる

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか?
 プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。チェックパターンを印刷してみてください。
 デェックパターンの印刷方法」119ページ

# ギャップ調整をしてください。 ブリントヘッドとメディアの間には、わずかな距離があるため、温度や湿度、プリントヘッドの移動による慣性力、プリントヘッドの移動方向の違い(右から左と左から右)、2つのプリントヘッド使用(SC-S30650以外)などによって、各インクの着弾位置が合わなくなることがあります。その結果、粒状感が目立ったりピントのズレが生じたような印刷結果になることがあります。メディア設定の[メディア調整]-[ギャップ調整]を行って印刷時のプリントヘッドのズレを調整してください。 デギャップ調整]81ページ

#### メディア送り調整をしてください。 メディア送り量が大きくずれると、印刷結果にバンディ ング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が発生 します。メディア設定の[メディア調整] - [メディア 送り調整]を行って使用するメディアに応じた調整を

行ってください。 ∠☞「メディア送り調整」80 ページ

# インクカートリッジは推奨品(当社純正品)を使用していますか? 本機は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなったりして色合いが変わることがあります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

# 古くなったインクカートリッジを使用していませんか?

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質 が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換して ください。インクカートリッジは、個装箱に記載された 推奨使用期限か、インクカートリッジの袋を開封した日 から6ヵ月のうち早いほうの期限までに使い切ってくだ さい。

# ヒーターの温度は適切ですか? 印刷がにじんで汚れたり、インクがだまになったりするときは、ヒーターの温度を上げます。ただし、温度を高くしすぎると、メディアが縮んでしわが寄ったり、変質したりします。 なお、室温が低いとヒーターが設定温度まで達するのに時間がかかることがあります。また、ヒーターは温まっていても、メディアが冷えすぎているとヒーターの効果が出ないことがあります。メディアを室温になじませてから使用してください。

**メディア選択は正しいですか?** ソフトウェア RIP の設定または本機のメディア選択が実際に印刷するメディアと合っているか確認してください。

# 【ヘッド移動量】を【データ幅】に設定して印刷していませんか?

# ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか?

ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

•	印刷中にカバーを開けませんでしたか? 印刷中に前面カバーやメンテナンスカバーを開けると、 プリントヘッドが緊急停止するために濃淡ムラが発生し ます。印刷中はカバーを開けないでください。

操作パネルの画面に【インクが少なくなりました。】と表示されていませんか? インクが少なくなると、印刷品質に影響が出ることがあります。新しいインクカートリッジに交換することをお勧めします。インクカートリッジを交換しても色味が合わないときは、ヘッドクリーニングを数回実施してください。

インクカートリッジをかくはんしてください。 ホワイトおよびメタリックシルバーインクが沈降(成分が液の底に沈んでたまること)している可能性があります。インクカートリッジを取り出してよく振ってから、 [インク循環]を数回してください。 振り方 ふ「かくはんの方法」109ページ インク循環 ふ「メンテナンスメニュー」140ページ それでも改善されないときは、[インクリフレッシュ] を実施してください。 ふ「インクリフレッシュ」122ページ

オレンジインクの種類を変更しましたか? オレンジインク種類の変更前後で色みが変わったと感じるときは、お使いのオレンジインク種類専用のプロファイルを作成して、印刷データを作成し直してください。

## 印刷位置がずれる/はみ出す

メディアのセット位置やマージンの設定は 正しいですか? メディアを正しくセットしていないと印刷位置がずれた り、データの一部が印刷されなかったりします。また、 設定メニューの「サイドマージン」や「印刷開始位置」 の設定が適切かを確認してください。 ③「メディアのセット方法(SC-S70650、SC-S50650 の場合)」32ページ ③「メディアのセット方法(SC-S30650の場合)」45 ページ ③「ブリンター設定メニュー」138ページ

# メディアが斜行していませんか? 設定メニューの〔斜行エラー検出〕が〔OFF〕になって

#### 印刷データはメディア幅に納まっています か?

印刷イメージがメディア幅より大きい場合、通常は印刷 が停止しますが、設定メニューの[メディア幅検出]が [OFF] になっているとメディア幅を超えて印刷してし まいます。設定メニューで[メディア幅検出]を[ON] に設定してください。 \_③「プリンター設定メニュー」138 ページ

#### 罫線が左右にガタガタになる

■ メディアが波打っていませんか? メディアによっては使用環境(温度や湿度)により、本 機にセットしたままにしていると波打つことがありま す。メディアが波打ったときは、操作パネルの【▼】ボ タンを押してメディアを送り、波打っている部分を避け て印刷してください。メディアが波打つのを避けるため に、温度と湿度を下げることをお勧めします。

#### プリントヘッドにズレ(ギャップ)が生じ ていませんか?

プリントヘッドのズレ(ギャップ)により、罫線がずれ て印刷されることがあります。縦の罫線がずれるとき は、メディア設定の[メディア調整] - [ギャップ調整] を行って印刷時のプリントヘッドのズレを調整してくだ さい。

∠☞「ギャップ調整」81ページ

## 印刷面がこすれる/汚れる

メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか?
 本機で使用できる仕様のメディアかどうかを確認してく

本機で使用できる仕様のメティアかどうかを確認してく ださい。ソフトウェア RIP を使用して印刷するときのメ ディアの種類や適切な設定に関する情報は、RIP の製造 元にお問い合わせください。

#### メディアが波打っていませんか?

メディアによっては使用環境(温度や湿度)により、本 機にセットしたままにしていると波打つことがありま す。メディアが波打ったときは、操作パネルの【▼】ボ タンを押してメディアを送り、波打っている部分を避け て印刷してください。メディアが波打つのを避けるため に、温度と湿度を下げることをお勧めします。

 メディアにしわや折り目がありませんか?
 メディアにしわや折り目があると、プラテンから浮いた 状態になりプリントヘッドとこすれて汚れたり濃淡ムラ が生じます。

#### ワイパーやキャップ、プリントヘッドが汚 れていませんか?

ワイパーやキャップ、プリントヘッドの周りにインクの 固まりや毛羽ゴミ、ホコリが付いているとインクが垂れ て汚れることがあります。各部を清掃してください。 \_중 「清掃」 94 ページ

#### プリントヘッドが印刷面をこすっていませ んか? メディアの印刷面がこすれるときは、操作パネルの [メ ディア管理] - [メディア設定変更] で [プラテンギャッ プ設定]を使用しているメディアに応じて変更してくだ さい。 [プラテンギャップ設定]を変更してもこすれが解消さ れないときは、[メディアテンション]を大きな値に変 更すると改善することがあります。 △ ア「メディア設定変更」134ページ [プラテンギャップ設定]や[メディアテンション]を 変更したときは、[メディア調整]を再度行ってくださ い。 ∠3 「メディア調整」 79 ページ

#### 加圧ローラーで固定した箇所が汚れ る

加圧ローラーが汚れていませんか? 加圧ローラーを清掃してください。 △ 「内部の清掃(1週間から1ヵ月に1度)」103ペー ジ

# ノズルの目詰まりが解消しない



は、ワイパーやワイパークリーナーが摩耗・劣化してい る可能性があります。以下の状態になっているときは、 交換することをお勧めします。

- ワイパー: ワイパー部分をクリーンルーム用ワイパー で拭き取っても先端が滑らかにならない。または、ワ イパー部分にひび割れが見られる。
- ワイパークリーナー:吸収材の裏面にインクが固着し て、膜が張ったようになっている。

∠☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」111 ペー ÷ĵ

- フラッシング用吸収材:表面のインクが固まって毛羽 ゴミやホコリが取れない。
  - ∠중「フラッシング用吸収材の交換」113ページ

## インクのボタ落ち



メディアを適切に取り扱っていますか? メディア取り扱い時は以下の点を守らないと、メディア 表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、印刷結果にインク のボタ落ちが生じる原因となります。

- むき出しのままで直接メディアを床に置かない。
   メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に 包んで個装箱に入れて保管してください。
- ・衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。
   本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り
   扱ってください。

#### 水平方向のスジ/濃淡ムラ(バンディ ング)



#### 複数の原因が考えられます。

印刷結果が改善されるまで、以下の順番で対処方法を実施してください。

以下の問題があると、対処を行っても改善されません。 対処を行う前に確認してください。

- ノズルが目詰まりしている
   「ノズルの目詰まりチェック」119ページ

#### メディア押さえ板の取り付け方を確認

メディア押え板を正しく取り付けていないと、メ ディア送りが乱れる原因となります。以下をご覧に なり、メディア押さえ板を取り付け直してくださ い。

#### ∠ ア「メディアのセットと交換」29ページ

メディア押さえ板を正しく取り付けても改善されな いときは、次の対処を実施してください。

#### 2 インクの沈降解消

本機内部で、インクが沈降(成分が液の底に沈んで たまること)している可能性があります。[インク リフレッシュ]を行ってください。

∠☞「インクリフレッシュ」122 ページ

[インクリフレッシュ]を行っても改善されないと きは、次の対処を実施してください。

#### 3 メディア送り調整

メディア送り調整は、セットしているメディアに応 じて個別に行う必要があります。同じメディアでも ロール幅が異なれば、個別に行う必要があります。 [メディア調整]の[メディア送り調整]-[手 動]-[500mm パターン印刷]で調整を行ってくだ さい。

∠중「印刷途中に設定を変更する」82ページ

メディア送り調整を行っても改善されないときは、 次の対処を実施してください。

#### **4** インクの乾燥時差の解消

双方向印刷時に、プリントヘッドの移動によるイン クの乾燥時間の差が影響している可能性がありま す。まず、RIPから単方向印刷を行います。その印 刷結果が改善されていれば、[ヒーター温度設定] または [パスごとの乾燥時間]を変更し、双方向印 刷時もスジやムラが改善するように調整します。

#### ∠♂「ヒーター/乾燥設定」82ページ

まず、以下の通り [ヒーター温度設定] を行ってく ださい。

- プリヒーター、プラテンヒーター、アフター ヒーターの温度設定を、一旦通常の設定より も高い温度に設定する。
- 2) 双方向印刷をして印刷結果が改善されたか確認する。

3) 改善されないときは、プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターの温度設定を少し下げて設定する。

以降、印刷結果が改善されるまで 2)~3)を繰り 返します。

[ヒーター温度設定]を変更しても改善しないとき は、[パスごとの乾燥時間]を以下の通り調整しま す。

- 1) 設定値を [0.1] に設定する。
- 2) 双方向印刷をして印刷結果が改善されたか確 認する。
- 3) 改善されないときは、設定値をさらに上げて 設定する。

以降、印刷結果が改善されるまで 2)~3)を繰り 返します。

以上の対処を行っても改善されないときは、次の対 処を実施してください。

5 マイクロウィーブ(M/W)設定の確認

RIP のマイクロウィーブ(M/W)設定が適切でない 可能性があります。

当社で調査したマイクロウィーブ(M/W)設定値と バンディングの関連表を参照し、お使いのメディア に応じて設定値を変更し、改善されるか試してくだ さい。

当社で調査したマイクロウィーブ(M/W)設定値と バンディングの関連表 / デ「マイクロウィーブ(M/ W)設定値とバンディングの関連表」163 ページ

#### ヘッドこすれによる汚れが付く



印刷中にプリントヘッドとメディアがこすれています。

印刷結果が改善されるまで、以下の順番で対処方法を実施してください。

1 メディアのしわや波打ちのある部分はカットする

メディアは、保管状態が不適切だったり、本機に セットしたまま放置したりすると、しわや波打ちが 発生します。このような状態のメディアを使用する と、プリントヘッドとメディアの盛り上がった面が こすれて汚れが付きます。しわや波打ちの部分を カットしてお使いください。

また、メディアに付属のマニュアルに従って適切に 保管し、本機には印刷する直前にセットしてくださ い。

しわや波打ちのない部分に印刷しても改善されない ときは、次の対処を実施してください。

2 メディアを本機に正しくセットし、メディア設定 を適切に設定する

メディアのセット方法やヒーター温度設定、テンション、吸着力などの設定が適切でないと、メディアにしわや波打ちが生じます。セット方法や設定が正しくできているかを確認してください。 ∠3 「メディアのセットと交換」29 ページ 25 「設定を行うときのご注意」77 ページ

上記対処を行っても改善されないときは、次の対処 を実施してください。

#### 3 [ヒーター温度設定]を調整する

ヒーターの温度設定が高すぎる可能性があります。 以下の通り[ヒーター温度設定]を行ってください。

- 1) 各ヒーターの温度設定を、一旦以下の温度に 設定する。
   プリヒーター:[30]、プラテンヒーター:
   [30]、アフターヒーター:[40]
   △ア「ヒーター/乾燥設定」82ページ
- 2) 印刷をして波打ちが改善されたか確認する。
   メディアの波打ちが改善されていれば、これ
   までのヒーターの温度設定が高すぎたことに
   なります。
- プリヒーター、プラテンヒーター、アフター ヒーターの温度設定を徐々に上げながら、最 適な状態になるまでテスト印刷を繰り返しま す。

1)を行っても波打ちが改善されないときは、[ヒー ター温度設定]の設定値を元に戻して、次の対処を 実施してください。 4 【メディアテンション】を調整する

[メディアテンション]の調整は、使用するメディ アの種類により異なります。

#### 塩ビ/透明または乳白色のフィルム/キャンバ ス使用時

以下の通り [メディアテンション] を調整してくだ さい。

- 設定値を、一旦[2]に設定する。
   △ア「メディア設定変更」134ページ
- 2) 印刷をして印刷結果が改善されたか確認する。
- 3) 改善されないときは、設定値を1レベル上げ て設定する。

以降、設定値[5]までの範囲で印刷結果が改善されるまで、2)~3)を繰り返します。

- SC-S70650、SC-S50650 をお使いで、[メディア テンション]を調整しても改善されないときは、 次の対処を実施してください。
  - [印刷時のメディア送り速度]を [Lv1] に 設定する。
     △ア「メディア設定変更」134ページ
  - 2) [メディアテンション]の設定値を、一旦
     [2] に設定する。
  - 印刷をして印刷結果が改善されたか確認する。
  - 改善されないときは、設定値を1レベル上 げて設定する。

以降、設定値 [5] までの範囲で印刷結果が改善 されるまで、3)~4)を繰り返します。 上記対策を行っても改善されないときは、[メ ディアテンション]の設定値を元に戻して、次 の対処を実施してください。

SC-S30650をお使いで、[メディアテンション]
 を調整しても改善されないときは、[メディアテンション]の設定値を元に戻して、次の対処を
 実施してください。

#### ターポリン使用時

お使いの機種により、以下の通り[メディアテン ション]を調整してください。

- ・ SC-S70650、SC-S50650 をお使いのとき
  - 設定値を、一旦[2]に設定する。
     △ア「メディア設定変更」134ページ
  - 2) 印刷をして印刷結果が改善されたか確認する。

3) 改善されないときは、設定値を1レベル上 げて設定する。

以降、設定値[5]までの範囲で印刷結果が改善 されるまで、2)~3)を繰り返します。 [メディアテンション]を変更しても改善され ないときは、[メディアテンション]の設定値を 元に戻して、次の対処を実施してください。

- SC-S30650 をお使いのとき
  - 設定値を、[40] に設定する。
     △ア「メディア設定変更」134ページ
  - 2) 印刷をして印刷結果が改善されたか確認す る。

[メディアテンション]を変更しても改善され ないときは、[メディアテンション]の設定値を 元に戻して、次の対処を実施してください。

5 自動巻取りユニットにメディアが正しくセットされているか確認する

巻き取り紙管へのメディアの貼り付け方やカウン ターウェイトの取り付け方が不適切だと、巻き取り 時にメディアが蛇行し、しわや浮きが発生すること があります。

自動巻取りユニットへのメディアのセットやカウン ターウェイトの取り付けが正しくできているかを確 認してください。

∠중「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

上記対処を行っても改善されないときは、次の対処 を実施してください。

#### 6 [吸着力] を調整する

吸着力が弱いために、メディアが浮いている可能性 があります。

以下の通り [吸着力] を調整してください。

- 設定値を、一旦 [10] に設定する。
   △ア「メディア設定変更」134ページ
- 2) 印刷をしてしわが改善されたか確認する。
   メディアのしわが改善されていれば、これまでの吸着力が低すぎたことになります。
- 3) [吸着力]の設定を徐々に下げながら、最適 な状態になるまでテスト印刷を繰り返します。

# メディアのトラブル

#### メディアにしわが発生する

- 設定メニューの【メディアテンション】または【印刷時のメディア送り速度】の設定は適切ですか?
   印刷するメディアに応じて、適切に設定されていないと、印刷中にメディアにしわが寄ったり破れることがあります。
   プ「メディア設定変更」134 ページ
- ヒーターの温度が高すぎませんか?
   ヒーターは、メディアに適した温度設定にしてください。
- 設定メニューの【テンション測定】を [OFF] にしてみてください。
   メディアによってはテンションを適正に保つための自動 テンション測定機能がうまく働かずに弛むなどして正常 に印刷できないことがあります。
   (少) 「メディア設定変更」134ページ

## メディア詰まりが起きる

- メディアにカールや折れ、曲がり、しわ、 波打ちが見られませんか? カールやしわ、波打ち、折れ曲がった部分をカットし、 取り除いてお使いください。 プ「メディアのカット」58ページ
- メディアは、印刷直前にセットしました か?
   メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加 圧ローラーの跡が付いたり、メディアが波打ったり、 反ったりします。

> ソフトウェア RIP を使用して印刷するときの設定方法 は、RIP の製造元にお問い合わせください。

#### ■ 吸着力が強くないですか?

吸着力(メディア経路にメディアを吸着する力)を下げ てみてください。 ∠☞「メディア設定変更」134 ページ

#### メディアが終了しても印刷が停止し ない

#### 本機がメディア終了を検知する設定項目が [OFF] になっていませんか? メディア設定の[高度な設定] - [テンション測定] や プリンター設定メニューの[メディア終端検出]の設定 を [OFF] にしていると、メディアの終了を検知できま せん。 ② [メディア設定変更] 134 ページ ③ [プリンター設定メニュー] 138 ページ

## 詰まったメディアの取り除き方

以下の手順で詰まったメディアを取り除いてください。

⚠注意

前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意し てください。けがをするおそれがあります。

前面カバーを開けます。



2

#### 本機の電源を切ります。

画面にメッセージが表示され、電源が切れないとき は電源プラグを2つとも、コンセントから抜いてく ださい。

3 メディア押さえ板を退避させます。

#### !重要

メディア押さえ板が変形したときは、本機の使用を停止してください。メディア押さえ板が変形したまま使い続けると、加圧ローラーやプリントヘッドが損傷する原因となります。 お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。



# その他

#### [定期クリーニング]を[**OFF**]に しているのに自動クリーニングが行 われる

本機は、ノズルの目詰まりによるプリントヘッドの故障を防ぐために、自動メンテナンス機能によるヘッドクリーニングを行います。 [定期クリーニング]を[OFF]にしても、印刷後一定時間が経つと、自動メンテナンスは必ず行われます。

#### 自動的にヒーターが **OFF** になったり オプションの外付け乾燥ファンユニッ トが止まる

本機にエラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信が何も行われない状態が続いたときは、プリヒーター、ブラテンヒーター、アフターヒーターがオフになります。ヒーターをOFFに移行するまでの時間は、設定メニューの[ヒーターオフタイマー]で変更できます。
 「プリンター設定メニュー」138ページ
 印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとヒーターは復帰します。
 なお外付け乾燥ファンユニットは、SC-S50650には標準で装備しています。

#### 操作パネルの画面表示が消える

スリープモードになっていませんか? [ヒーターオフタイマー] により、ヒーターが OFF にな ると連動してスリープモードになります。ヒーターが OFF に移行する時間はプリンター設定メニューで変更で きます。

#### △ア「プリンター設定メニュー」138 ページ

印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操 作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとヒー ターが復帰し、連動してスリープモードも解除されま す。

#### 本体内部が赤く光っている

この状態は故障ではありません。
 プリンター内部のランプです。

#### 自動巻取りユニット側面に白い粉が ふいたような汚れが見られる

以下をご覧になり、清掃を行ってください。
 ご了「自動巻取りユニット側面の清掃(汚れているとき)」107ページ

# お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解 消できることがあります。

# エプソンのホームページの **Q&A**

エプソンのホームページ(http://www.epson.jp)では、 お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。 トラブルや疑問の解消にお役立てください。

# ファームウェアのバージョンアッ プ

エプソンのホームページ(http://www.epson.jp)では最 新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供して います。

ファームウェアのアップデートは LFP リモートパネル 2 で簡単に行えます。詳細は LFP リモートパネル 2 のヘル プをご覧ください。

## トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確 認をしても、トラブルが解消されないときは、本機の動 作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれの お問い合わせ先に連絡ください。

∠☞「サービス・サポートのご案内」167 ページ

付録

# 消耗品とオプション

本機で使用できる消耗品、オプションは以下の通りです。(2014年 11 月現在) 最新の情報は、エプソンのホームページ(http://www.epson.jp)をご覧ください。

#### インクカートリッジ\*1

プリンター型番	商品	品名	型番
SC-S70650	インクカートリッジ	ブラック	SC3BK70
		シアン	SC3C70
		マゼンタ	SC3M70
		イエロー	SC3Y70
		ライトシアン	SC3LC70
		ライトマゼンタ	SC3LM70
		グレー	SC3GY70
		オレンジ* <sup>2</sup>	SC3OR70
		オレンジプラス*2	SC3OR70HD
		ホワイト	SC3WW60
		メタリックシルバー	SC3MT35
SC-S50650	インクカートリッジ	ブラック	SC2BK70
		シアン	SC2C70
		マゼンタ	SC2M70
		イエロー	SC2Y70
		ホワイト	SC3WW60
SC-S30650	インクカートリッジ	ブラック	SC2BK70
		シアン	SC2C70
		マゼンタ	SC2M70
			SC2Y70

\*1 プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。 純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性 能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因 して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。 

#### その他

商品名	型番	備考
クリーニングカートリッジ	SC2CLL	ヘッド洗浄時、長期保管前メンテナンス時、ま たはカラーモード切り替えで8色(切替可能) または9色に切り替えるときに使用します。
メンテナンスキット	SC2MKIT	メンテナンス作業で必要となる、クリーニング 棒と手袋、ワイパー、ワイパークリーナー、フ ラッシング用吸収材、クリーニングワイパーの セットです。 _͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡
キャリッジ副軸用グリスキット	SC2GKIT	製品付属の注油キットと同等品です。 ∠☞「キャリッジ副軸用グリスの注油」125 ペー ジ
インククリーナー	SC2CLN	製品付属のインククリーナーと同等品です。 ∠3 「清掃」94 ページ
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
クリーンルーム用ワイパー	SC2CRW	製品付属のメンテナンスキットの各品目と同等 品です。
USB ケーブル*	USBCB2	Hi-Speed USB/USB に対応しています。
外付け乾燥ファンユニット	OPDFUN	ファンで風を送りインクの乾燥を補助します。 SC-S50650 は標準で装備しています。 ∠☞「ヒーター/乾燥設定」82 ページ
重量メディアユニット	HVMEUN	80kg までの重量メディアに対応した、メディア 搬送ユニットと自動巻取りユニットです。

\* USB 接続時に USB ハブ(複数の USB 機器を接続するための中継機)を使用するときは、コンピューターと直接接続 している 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いの USB ハブによっては動作が不安定になること があります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB ポートに USB ケーブルを直接接続してください。

# 使用可能なメディア

本機で使用できるメディアの仕様は、以下の通りです。 メディアの種類および品質は、印刷結果に大きく影響し ます。用途に合った適切なメディアをお使いください。 また、使用の際の注意事項はそのメディアに付属のマニュ アルをご覧になるか、メーカーに詳細をお問い合わせく ださい。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメ ディアに印刷したときの仕上がり具合を確認しておくこ とをお勧めします。

#### !重要

しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しな いでください。

#### 標準メディアユニット装着時

紙管サイズ(芯径)	2インチ、3インチ
ロール外径	最大 250mm
メディア幅	300*~1626mm(64インチ)
メディア厚さ	最大 1mm
ロール重量	最大 40kg

\*レイヤー印刷時は 508mm になります。

#### 重量メディアユニット装着時

紙管サイズ(芯径)	2インチ、3インチ
ロール外径	最大 300mm
メディア幅	300 <sup>*</sup> ~1626mm(64インチ)
メディア厚さ	最大 1mm
ロール重量	最大 80kg

\*レイヤー印刷時は 508mm になります。

# 移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明 します。

# 移動の方法

ここでは、段差のない同一フロア内を移動する方法を説 明します。別の階や建物に移動する方法は、以下をご覧 ください。

\_중 「輸送の方法」 161 ページ

#### ⚠注意

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでくだ さい。転倒などによる事故のおそれがあります。

#### !重要

インクカートリッジを取り外さないでください。プリントヘッ ドノズルが乾燥することがあります。

#### 移動の準備



本機の電源が切れていることを確認します。

- 廃インクボトルを取り外します。 2 △ 3 「廃インクボトルの交換」 111 ページ
- 3 電源コードなど、全ての配線を取り外します。
- メディア搬送ユニットと自動巻取りユニットから 4 メディアを取り外します。



#### スタンドのロックを解除します。

左右の脚部のキャスターのロックを外し、固定具を しっかり上げてください。





#### !重要

専用スタンドのキャスターは、室内の平らな床を短い 距離だけ移動するために使用します。輸送のためには、 使用できません。

#### 移動後の本機の設定

移動後は、次の手順に従い使用可能な状態にします。



セットアップ後には、必ず平行調整をやり直してく ださい。

∠☞『セットアップガイド』(冊子)

お手元に『セットアップガイド』がないときは、エ プソンのホームページ(http://www.epson.jp)から ダウンロードしてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れ ます。

∠☞『セットアップガイド』(冊子)

3 ノズルチェックを実行して、ノズルの目詰まりが ないか確認します。

∠중「チェックパターンの印刷方法」119ページ

4 メディア設定の[自動メディア調整]を実行して、印刷品質を確認します。

∠? 「自動メディア調整」78ページ

# 輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプ ソンインフォメーションセンターにご相談ください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 23 「お問い合 わせ先」169 ページ

# 主なメディアの推奨設定

メディア設定を登録する際は、下表を参考にしてください。

メディア設定の項目の値は、SC-S30650の<sup>\*2</sup>を除き、全てメーカー設定値のままお使いいただけます。

#### SC-S70650、SC-S50650

		糊付き塩ビ	透明フィルム/ 乳白色のフィルム	ターポリン	キャンバス
ブ	ラテンギャップ設定	1.5	1.5	1.5	1.5
Ŀ	ーター温度設定				
	プリヒーター	40	40	40	40
	プラテンヒーター	40	40	40	40
	アフターヒーター	50	50	50	50
高度な設定					
	吸着力	4	4	4	4
	メディアテンション	15	15	15	15
	加圧ローラー*1	弱		弱	弱
	カウンターウェイト* <sup>2</sup>	-	-	装着	-

\*1 パア「加圧ローラーとメディアのセット位置(SC-S70650、SC-S50650の場合)」30 ページ

\*2 カウンターウェイトの装着方法 ∠중「自動巻取りユニットの使い方」61ページ

#### SC-S30650

		糊付き塩ビ	透明フィルム/ 乳白色のフィルム	ターポリン	キャンバス
プ	ラテンギャップ設定	1.5	1.5	1.5	1.5
Ŀ	ーター温度設定				
	プリヒーター	40	40	40	40
	プラテンヒーター	40	40	40	40
	アフターヒーター	50	50	50	50
「「「」」「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」					
	吸着力	4	4	4	4
	メディアテンション	15	15	30* <sup>2</sup>	15
	カウンターウェイト*1	-	-	装着	-

\*1 カウンターウェイトの装着方法 🧷 「自動巻取りユニットの使い方」61 ページ

\*2 メーカー設定値から変更してください。

マイクロウィーブ(M/W)設定値とバンディングの関連 表

下表は ONYX Graphics 社のソフトウェア RIP の設定例です。効果に記載されたバンディングの状態は、下図を参照して ください。

スジ状バンディング例





解像度 (dpi)	パス数	M/W レベル	効果	推奨	
ターポリン	ターポリン				
720×720		1	スジ状バンディングが出にくい		
/20×/20	0	2	濃淡ムラが出にくい	0	
塩ビ					
	<720 8	3	スジ状バンディングが出にくい		
720~720		4	濃淡ムラは出にくいが、スジ状バンディングが出やすい		
/20×/20		5	スジ状バンディングが出にくい	0	
		6	濃淡ムラは出にくいが、スジ状バンディングが出やすい		
全メディア(ターポリン・塩ビ含む)					
720×1440	10 10	3	スジ状バンディングが出にくい	0	
720×1440	12	4	濃淡ムラが出にくい		

#### SC-S50650

解像度 (dpi)	パス数	M/W レベル	効果	推奨
ターポリン	ターポリン			
		1	スジ状バンディングが出にくい	
720720	4	2	濃淡ムラは出にくいが、スジ状バンディングが出やすい	
720×720	4	3	スジ状バンディングが出にくい	0
		4	濃淡ムラは出にくいが、スジ状バンディングが出やすい	
塩ビ				
720×1440	G	0	スジ状バンディングが出にくい	0
720×1440	0	1	濃淡ムラは出にくいが、スジ状バンディングが出やすい	
全メディア(ターポリン・塩ビ含む)				

解像度(dpi)	パス数	M/W レベル	効果	推奨
720×1440	8	2	スジ状バンディングが出にくい	
720×1440		3	濃淡ムラが出にくい	0

上表の設定でバンディング・ムラが解消されないときは、印字モードで HQ1 モードを選択してください。スジ状バンディング・濃淡ムラともに出にくくなります。

HQ1 モードにしてもバンディング・ムラが解消されないと感じるときは、HQ2 モードを選択してください。ただし、HQ1 モードと比べて粒状感が目立つことがあります。

HQ1/HQ2モードにすると、同じパス数の他の印字モードより印字速度は低下します。

以下に印字モードの表示例を記載します。お使いの RIP により、項目名は異なります。

- 720×720 4pass (HQ1) / 720×720 4pass (HQ2)
- 720×1440 6pass (HQ1) / 720×1440 6pass (HQ2)
- 720×1440 8pass (HQ1) / 720×1440 8pass (HQ2)

#### 参考

お使いのソフトウェア RIP によっては、上記の印字モードに対応していません。

#### SC-S30650

解像度(dpi)	パス数	M/W レベル	効果	推奨	
ターポリン	ターポリン				
720×720	4	2	濃淡ムラが出にくい		
/20×/20		3	スジ状バンディングが出にくい	0	
720×1440	1440 6	0	濃淡ムラが出にくい		
720×1440		1	スジ状バンディングが出にくい	0	
全メディア(ターポリン・塩ビ含む)					
720×1440	8	3	濃淡ムラが出にくい		
720×1440		4	スジ状バンディングが出にくい	0	

# システム条件

ご使用のソフトウェア RIP のマニュアルでご確認ください。

# 仕様一覧

本体仕様				
印字方式	オンデマンドインクジェット方式			
ノズル配列	SC-S70650: 360 ノズル×2列×10 色(メタ リックシルバー、グレー、ブラッ ク、シアン、マゼンタ、イエ ロー、オレンジ/オレンジプラス、 ライトシアン、ライトマゼンタ、 ホワイト)			
	SC-S50650: 360 ノズル×2×2 列×5 色(ホワ イト、ブラック、シアン、マゼン タ、イエロー)			
	SC-S30650: 360 ノズル×2 列×4 色(ブラッ ク、シアン、マゼンタ、イエ ロー)			
解像度(最大)	1440×1440dpi			
コントロールコード	ESC/P ラスター(コマンドは非公 開)			
紙送り方式	フリクションフィード			
内蔵メモリー	メイン用 512MB ネットワーク用 128MB			
インターフェイス	High Speed USB 100Base-TX/1000Base-T <sup>*1</sup>			
定格電圧 (#1、#2、#3 <sup>*2</sup> )	AC100-120V AC200-240V			
定格周波数 (#1、#2、#3 <sup>*2</sup> )	50-60Hz			
定格電流(#1、#2)	10A (AC100-120V) 5A (AC200-240V)			
定格電流(#3 <sup>*2</sup> )	1A (AC100-120V) 0.5A (AC200-240V)			



本体仕様		
質量*3	SC-S70650∶約 229kg SC-S50650∶約 238kg SC-S30650∶約 219kg	

\*1 シールドツイストペアケーブル(カテゴリー 5 以上)を使用 してください。

\*2 SC-S50650 に付属の外付け乾燥ファンユニット

\*3標準メディアユニット装着時、インクカートリッジ含まず

	インク仕様
形態	専用インクカートリッジ
顔料インク	SC-S70650 メタリックシルバー、グレー、ブラッ ク、シアン、マゼンタ、イエロー、オ レンジ、オレンジプラス、ライトシア ン、ライトマゼンタ、ホワイト
	SC-S50650: ホワイト、ブラック、シアン、マゼン 夕、イエロー
	SC-S30650: ブラック、シアン、マゼンタ、イエ ロー
有効期限	個装箱、カートリッジに記載された期 限(常温で保管)
印刷品質保証期限	6 ヵ月(インクカートリッジの袋を開 封した日から)
保管温度	梱包保管時: -20~40℃(40℃の場合1ヵ月以内) 本体装着時: -10~40℃(40℃の場合4日以内) 梱包輸送時: -20~60℃(40℃の場合1ヵ月以内、 60℃の場合72時間以内)
カートリッジ外形寸 法	幅 40×長さ 305×高さ 110mm
容量	ホワイト:600ml メタリックシルバー:350ml その他の色:700ml

#### !重要

インクを詰め替えないでください。

サービス・サポートのご案内

# 各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。 ∠☞「お問い合わせ先」169 ページ

#### 保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。 ∠☞「困ったときは」145 ページ

付録

#### 保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載 事項をよくお読みください。 保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった 場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。 保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

#### 補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。 改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

#### 保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込 みは、次のいずれかで承ります。

- •お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター
   「お問い合わせ先」169ページ

#### 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買 い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- ・交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
   年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。(お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります。)
- 本機は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	<ul> <li>製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。</li> <li>修理のつど発生する修理代・部品代*は無償になるため予算化ができて便利です。</li> <li>定期点検(別途料金)で、故障を未然に防ぐことができます。</li> </ul>	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		<ul> <li>お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。</li> <li>故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</li> </ul>	無償	出張料+技術料+部 品代 修理完了後そのつど お支払いください。

\* 消耗品(インクカートリッジ、トナー、用紙など)は、保守対象外となります。

#### !重要

エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

#### エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間(3年、4年、5年)、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応:スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心:万ートラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- •手続きが簡単:エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- ・維持費の予算化:エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。
- エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

# お問い合わせ先

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp 各種製品情報ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。 109-321 エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。 FAQ http://www.epson.jp/faq/
●エプソンサービスコールセンター 修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先
050-3155-8600
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。
●エプソンインフォメーションセンター  製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
050-3155-8066
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。
●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。
050-3155-8100
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。
上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。 上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各©印の電話番号に おかけくださいますようお願いいたします。
●ショールーム *諸細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/ エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F 【開館時間】月曜日~金曜日 10:00~17:00(祝日、弊社指定休日を除く) ● <b>MyEPSON</b> エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にビッタリの おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。
インターネットでアクセス! http://myepson.jp/ DJダンな質問に含えて 会員登録。
●消耗品のご購入 お近くのエブソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。
本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 最新の情報はエプソンのホームページ(http://www.epson.jp/support/)にてご確認ください。
<b>てプリン販売株式会社</b> 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(インク)2014.09

# 製品に関する諸注意と適合 規格

#### 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、 本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの 対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承くだ さい。また、日本国外ではその国の法律または規制によ り、本製品を使用できないことがあります。このような 国では、本製品を運用した結果罰せられることがありま すが、当社といたしましては一切責任を負いかねますの でご了承ください。

#### 本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品(添付のソフトウェア等も含みます)の不 具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そ のことから生じた付随的な損害(本製品を使用するため に要した諸費用、および本製品を使用することにより得 られたであろう利益の損失等)は、補償致しかねます。

#### 本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接 関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精 度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途 に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性お よび安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の 措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮い ただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいた します。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子 力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性 が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、 これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分 ご確認の上、ご判断ください。

#### 液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在 する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラ が生じることがありますが、故障ではありません。

#### プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者 に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してく ださい。

ー般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自 治体の指示に従って廃棄してください。

#### 複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印 刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられま す。

(関連法律)刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券 を複製すること(見本印があっても不可)
- •日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきな どを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複 製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期
   券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

#### 著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プ ログラムなどの著作権物は、個人(家庭内その他これに 準ずる限られた範囲内)で使用するために複製する以外 は著作権者の承認が必要です。

#### 電波障害自主規制

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家 庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがありま す。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求 されることがあります。

#### VCCI-A

#### 瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都 合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策と しては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧 めします。(社団法人電子情報技術産業協会(社団法人日 本電子工業振興協会)のパーソナルコンピューターの瞬 時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

#### 電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

#### Info-ZIP copyright and license

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/ license.html indefinitely and a copy at http:// www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

- 1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
- 2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

- 3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
- Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "P ocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

#### Bonjour

This printer product includes the open source software programs which apply the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version ("Bonjour Programs").

We provide the source code of the Bonjour Programs pursuant to the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version until five (5) years after the discontinuation of same model of this printer product. If you desire to receive the source code of the Bonjour Programs, please see the "Contacting Customer Support" in Appendix or Printing Guide of this User's Guide, and contact the customer support of your region.

You can redistribute Bonjour Programs and/or modify it under the terms of the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version

These Bonjour Programs are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

The Apple Public Source License Version1.2 is as follows. You also can see the Apple Public Source License Version1.2 at

http://www.opensource.apple.com/apsl/.

APPLE PUBLIC SOURCE LICENSE Version 2.0 - August 6, 2003 1. General; Definitions. This License applies to any program or other work which Apple Computer, Inc. ("Apple") makes publicly available and which contains a notice placed by Apple identifying such program or work as "Original Code" and stating that it is subject to the terms of this Apple Public Source License version 2.0 ("License"). As used in this License:

1.1 "Applicable Patent Rights" mean: (a) in the case where Apple is the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to Apple and (ii) that cover subject matter contained in the Original Code, but only to the extent necessary to use, reproduce and/or distribute the Original Code without infringement; and (b) in the case where You are the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to You and (ii) that cover subject matter in Your Modifications, taken alone or in combination with Original Code.

1.2 "Contributor" means any person or entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.3 "Covered Code" means the Original Code, Modifications, the combination of Original Code and any Modifications, and/or any respective portions thereof.

1.4 "Externally Deploy" means: (a) to sublicense, distribute or otherwise make Covered Code available, directly or indirectly, to anyone other than You; and/or (b) to use Covered Code, alone or as part of a Larger Work, in any way to provide a service, including but not limited to delivery of content, through electronic communication with a client other than You.

1.5 "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.6 "Modifications" mean any addition to, deletion from, and/or change to, the substance and/or structure of the Original Code, any previous Modifications, the combination of Original Code and any previous Modifications, and/or any respective portions thereof. When code is released as a series of files, a Modification is: (a) any addition to or deletion from the contents of a file containing Covered Code; and/or (b) any new file or other representation of computer program statements that contains any part of Covered Code. 1.7 "Original Code" means (a) the Source Code of a program or other work as originally made available by Apple under this License, including the Source Code of any updates or upgrades to such programs or works made available by Apple under this License, and that has been expressly identified by Apple as such in the header file(s) of such work; and (b) the object code compiled from such Source Code and originally made available by Apple under this License

1.8 "Source Code" means the human readable form of a program or other work that is suitable for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an executable (object code).

1.9 "You" or "Your" means an individual or a legal entity exercising rights under this License. For legal entities, "You" or "Your" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with, You, where "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Permitted Uses; Conditions & Restrictions. Subject to the terms and conditions of this License, Apple hereby grants You, effective on the date You accept this License and download the Original Code, a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, to the extent of Apple's Applicable Patent Rights and copyrights covering the Original Code, to do the following:

2.1 Unmodified Code. You may use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy verbatim, unmodified copies of the Original Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance:

(a) You must retain and reproduce in all copies of Original Code the copyright and other proprietary notices and disclaimers of Apple as they appear in the Original Code, and keep intact all notices in the Original Code that refer to this License; and

(b) You must include a copy of this License with every copy of Source Code of Covered Code and documentation You distribute or Externally Deploy, and You may not offer or impose any terms on such Source Code that alter or restrict this License or the recipients' rights hereunder, except as permitted under Section 6. 2.2 Modified Code. You may modify Covered Code and use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy Your Modifications and Covered Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance You also meet all of these conditions:

(a) You must satisfy all the conditions of Section 2.1 with respect to the Source Code of the Covered Code;

(b) You must duplicate, to the extent it does not already exist, the notice in Exhibit A in each file of the Source Code of all Your Modifications, and cause the modified files to carry prominent notices stating that You changed the files and the date of any change; and

(c) If You Externally Deploy Your Modifications, You must make Source Code of all Your Externally Deployed Modifications either available to those to whom You have Externally Deployed Your Modifications, or publicly available. Source Code of Your Externally Deployed Modifications must be released under the terms set forth in this License, including the license grants set forth in Section 3 below, for as long as you Externally Deploy the Covered Code or twelve (12) months from the date of initial External Deployment, whichever is longer. You should preferably distribute the Source Code of Your Externally Deployed Modifications electronically (e.g. download from a web site).

2.3 Distribution of Executable Versions. In addition, if You Externally Deploy Covered Code (Original Code and/or Modifications) in object code, executable form only, You must include a prominent notice, in the code itself as well as in related documentation, stating that Source Code of the Covered Code is available under the terms of this License with information on how and where to obtain such Source Code.

2.4 Third Party Rights. You expressly acknowledge and agree that although Apple and each Contributor grants the licenses to their respective portions of the Covered Code set forth herein, no assurances are provided by Apple or any Contributor that the Covered Code does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Apple and each Contributor disclaim any liability to You for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, You hereby assume sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow You to distribute the Covered Code, it is Your responsibility to acquire that license before distributing the Covered Code.

3. Your Grants. In consideration of, and as a condition to, the licenses granted to You under this License, You hereby grant to any person or entity receiving or distributing Covered Code under this License a non-exclusive, royalty-free, perpetual, irrevocable license, under Your Applicable Patent Rights and other intellectual property rights (other than patent) owned or controlled by You, to use, reproduce, display, perform, modify, sublicense, distribute and Externally Deploy Your Modifications of the same scope and extent as Apple's licenses under Sections 2.1 and 2.2 above.

4. Larger Works. You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In each such instance, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code or any portion thereof.

5. Limitations on Patent License. Except as expressly stated in Section 2, no other patent rights, express or implied, are granted by Apple herein. Modifications and/ or Larger Works may require additional patent licenses from Apple which Apple may grant in its sole discretion.

6. Additional Terms. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations and/or other rights consistent with the scope of the license granted herein ("Additional Terms") to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf and as Your sole responsibility, and not on behalf of Apple or any Contributor. You must obtain the recipient's agreement that any such Additional Terms are offered by You alone, and You hereby agree to indemnify, defend and hold Apple and every Contributor harmless for any liability incurred by or claims asserted against Apple or such Contributor by reason of any such Additional Terms.

7. Versions of the License. Apple may publish revised and/ or new versions of this License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number. Once Original Code has been published under a particular version of this License, You may continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Original Code under the terms of any subsequent version of this License published by Apple. No one other than Apple has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License. 付録

8. NO WARRANTY OR SUPPORT. The Covered Code may contain in whole or in part pre-release, untested, or not fully tested works. The Covered Code may contain errors that could cause failures or loss of data, and may be incomplete or contain inaccuracies. You expressly acknowledge and agree that use of the Covered Code, or any portion thereof, is at Your sole and entire risk. THE COVERED CODE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT WARRANTY, UPGRADES OR SUPPORT OF ANY KIND AND APPLE AND APPLE'S LICENSOR(S) (COLLECTIVELY REFERRED TO AS "APPLE" FOR THE PURPOSES OF SECTIONS 8 AND 9) AND ALL CONTRIBUTORS EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES AND/OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES AND/OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, OF SATISFACTORY QUALITY, OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OF ACCURACY, OF QUIET ENJOYMENT, AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. APPLE AND EACH CONTRIBUTOR DOES NOT WARRANT AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE COVERED CODE, THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN THE COVERED CODE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS, THAT THE OPERATION OF THE COVERED CODE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE, OR THAT DEFECTS IN THE COVERED CODE WILL BE CORRECTED. NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY APPLE, AN APPLE AUTHORIZED REPRESENTATIVE OR ANY CONTRIBUTOR SHALL CREATE A WARRANTY. You acknowledge that the Covered Code is not intended for use in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation, communication systems, or air traffic control machines in which case the failure of the Covered Code could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage.

9. LIMITATION OF LIABILITY. TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT SHALL APPLE OR ANY CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF OR RELATING TO THIS LICENSE OR YOUR USE OR INABILITY TO USE THE COVERED CODE, OR ANY PORTION THEREOF, WHETHER UNDER A THEORY OF CONTRACT, WARRANTY, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), PRODUCTS LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE OR SUCH CONTRIBUTOR HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES AND NOTWITHSTANDING THE FAILURE OF ESSENTIAL PURPOSE OF ANY REMEDY. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE LIMITATION OF LIABILITY OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU. In no event shall Apple's total liability to You for all damages (other than as may be required by applicable law) under this License exceed the amount of fifty dollars (\$50.00).

10. Trademarks. This License does not grant any rights to use the trademarks or trade names "Apple", "Apple Computer", "Mac", "Mac OS", "QuickTime", "QuickTime Streaming Server" or any other trademarks, service marks, logos or trade names belonging to Apple (collectively "Apple Marks") or to any trademark, service mark, logo or trade name belonging to any Contributor. You agree not to use any Apple Marks in or as part of the name of products derived from the Original Code or to endorse or promote products derived from the Original Code other than as expressly permitted by and in strict compliance at all times with Apple's third party trademark usage guidelines which are posted at http:// www.apple.com/legal/guidelinesfor3rdparties.html.

11. Ownership. Subject to the licenses granted under this License, each Contributor retains all rights, title and interest in and to any Modifications made by such Contributor. Apple retains all rights, title and interest in and to the Original Code and any Modifications made by or on behalf of Apple ("Apple Modifications"), and such Apple Modifications will not be automatically subject to this License. Apple may, at its sole discretion, choose to license such Apple Modifications under this License, or on different terms from those contained in this License or may choose not to license them at all.

12. Termination.

12.1 Termination. This License and the rights granted hereunder will terminate:

(a) automatically without notice from Apple if You fail to comply with any term(s) of this License and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of such breach;

(b) immediately in the event of the circumstances described in Section 13.5(b); or

(c) automatically without notice from Apple if You, at any time during the term of this License, commence an action for patent infringement against Apple; provided that Apple did not first commence an action for patent infringement against You in that instance.

12.2 Effect of Termination. Upon termination, You agree to immediately stop any further use, reproduction, modification, sublicensing and distribution of the Covered Code. All sublicenses to the Covered Code which have been properly granted prior to termination shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, should remain in effect beyond the termination of this License shall survive, including but not limited to Sections 3, 5, 8, 9, 10, 11, 12.2 and 13. No party will be liable to any other for compensation, indemnity or damages of any sort solely as a result of termination of this License will be without prejudice to any other right or remedy of any party.

#### 13. Miscellaneous.

13.1 Government End Users. The Covered Code is a "commercial item" as defined in FAR 2.101. Government software and technical data rights in the Covered Code include only those rights customarily provided to the public as defined in this License. This customary commercial license in technical data and software is provided in accordance with FAR 12.211 (Technical Data) and 12.212 (Computer Software) and, for Department of Defense purchases, DFAR 252.227-7015 (Technical Data -- Commercial Items) and 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation). Accordingly, all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

13.2 Relationship of Parties. This License will not be construed as creating an agency, partnership, joint venture or any other form of legal association between or among You, Apple or any Contributor, and You will not represent to the contrary, whether expressly, by implication, appearance or otherwise. 13.3 Independent Development. Nothing in this License will impair Apple's right to acquire, license, develop, have others develop for it, market and/or distribute technology or products that perform the same or similar functions as, or otherwise compete with, Modifications, Larger Works, technology or products that You may develop, produce, market or distribute.

13.4 Waiver; Construction. Failure by Apple or any Contributor to enforce any provision of this License will not be deemed a waiver of future enforcement of that or any other provision. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter will not apply to this License.

13.5 Severability. (a) If for any reason a court of competent jurisdiction finds any provision of this License, or portion thereof, to be unenforceable, that provision of the License will be enforced to the maximum extent permissible so as to effect the economic benefits and intent of the parties, and the remainder of this License will continue in full force and effect. (b) Notwithstanding the foregoing, if applicable law prohibits or restricts You from fully and/or specifically complying with Sections 2 and/or 3 or prevents the enforceability of either of those Sections, this License will immediately terminate and You must immediately discontinue any use of the Covered Code and destroy all copies of it that are in your possession or control.

13.6 Dispute Resolution. Any litigation or other dispute resolution between You and Apple relating to this License shall take place in the Northern District of California, and You and Apple hereby consent to the personal jurisdiction of, and venue in, the state and federal courts within that District with respect to this License. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded.

13.7 Entire Agreement; Governing Law. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the subject matter hereof. This License shall be governed by the laws of the United States and the State of California, except that body of California law concerning conflicts of law.

Where You are located in the province of Quebec, Canada, the following clause applies: The parties hereby confirm that they have requested that this License and all related documents be drafted in English.

Les parties ont exigé que le présent contrat et tous les documents connexes soient rédigés en anglais.

EXHIBIT A.

"Portions Copyright (c) 1999-2003 Apple Computer, Inc. All Rights Reserved.

This file contains Original Code and/or Modifications of Original Code as defined in and that are subject to the Apple Public Source License Version 2.0 (the 'License'). You may not use this file except in compliance with the License. Please obtain a copy of the License at http:// www.opensource.apple.com/apsl/ and read it before using this file.

The Original Code and all software distributed under the License are distributed on an 'AS IS' basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, AND APPLE HEREBY DISCLAIMS ALL SUCH WARRANTIES, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, QUIET ENJOYMENT OR NON-INFRINGEMENT. Please see the License for the specific language governing rights and limitations under the License."